

第四十二 一時金廢兵恩給法改正即行ニ關スル請願

第四十三 軍人傷痍記章令中改正ノ請願

會議

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ書記官ヲシテ諸般ノ報告ヲ致サセマス
〔瀬古書記官朗讀〕

昨十八日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

鐵道營業法中改正法律案

關稅定率法中改正法律案

大正十三年法律第二十四號中改正法律案

製鹽地整理ニ關スル法律案

救護法案

同日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

賠償金特別會計法中改正法律案可決報告書

會計檢査院法中改正法律案可決報告書

同盟及聯合國ト獨逸國及其ノ同盟國トノ戰爭ニ因リ損害ヲ被リタル帝國

臣民ノ追加救恤ニ關スル法律案可決報告書

取引所法中改正法律案可決報告書

信託業法中改正法律案可決報告書

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、日程第一、酒造組合法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

酒造組合法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
昭和四年三月十五日

衆議院議長 川原茂輔

貴族院議長公爵徳川家達殿

酒造組合法中改正法律案

酒造組合法中左ノ通改正ス
第三條中「協同一致シテ」ノ下ニ「酒類製造業ノ改良發達ヲ圖リ」ヲ加フ

第五條ノ二 酒造組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ其ノ組合員ニ對シ經費ヲ分

賦シ及過怠金ヲ徵收スルコトヲ得

前項ノ經費及過怠金ヲ滯納スル者アル場合ニ於テ組合長ノ請求アルトキ
ハ市町村ハ市町村稅ノ例ニ依リ之ヲ處分ス此ノ場合ニ於テ組合ハ其ノ徵
收金額ノ百分ノ四ヲ市町村ニ交付スヘシ

前項ニ規定スル徵收金ノ先取特權ノ順位ハ市町村ノ徵收金ニ次キ其ノ時
效ニ付テハ市町村稅ノ例ニ依ル

經費ノ分賦又ハ過怠金ノ徵收ニ關シテハ勅令ノ定ムル所ニ依リ異議ノ申

立、訴願及行政訴訟ヲ爲スコトヲ得

第六條第一項中「酒造組合聯合會」ノ上ニ「道府縣ヲ一區域トスル」ヲ加
ヘ同條第二項ヲ削ル

第六條ノ二 酒造組合聯合會ヲ設置セムトスルトキハ其ノ區域内ニ於ケル
酒造組合三分ノ二以上ノ同意ヲ得創立總會ヲ開キ定款ヲ議定シ政府ノ認

可ヲ受クヘシ

第六條ノ三 酒造組合聯合會設置ノ認可アリタルトキハ其ノ區域内ニ於ケ
ル酒造組合ハ當然其ノ會員ト爲ル

第六條ノ四 酒造組合聯合會ハ聯合會相互ノ氣脈ヲ通シ其ノ目的ヲ達スル
爲本法施行地域ヲ通シテ一箇ノ酒造組合中央會ヲ設置スルコトヲ得此ノ

場合ニ於テ酒造組合聯合會ナキ道府縣ニ付テハ道府縣ヲ一區域トスル酒
造組合ヲ以テ酒造組合聯合會ト看做ス

第六條ノ五 酒造組合中央會ヲ設置セムトスルトキハ酒造組合聯合會及前
條ノ酒造組合三分ノ二以上ノ同意ヲ得創立總會ヲ開キ定款ヲ議定シ政府
ノ認可ヲ受クヘシ

第六條ノ六 酒造組合中央會設置ノ認可アリタルトキハ酒造組合聯合會及
第六條ノ四ノ酒造組合ハ當然其ノ會員ト爲ル

第六條ノ七 第五條ノ二第一項及第四項ノ規定ハ酒造組合聯合會及酒造組
合中央會ニ之ヲ準用ス

第七條中「酒造組合及酒造組合聯合會」ヲ「酒造組合、酒造組合聯合會及
酒造組合中央會」ニ改ム

第八條及第九條中「酒造組合又ハ酒造組合聯合會」ヲ「酒造組合、酒造組合聯合會及酒造組合中央會」ニ改ム

第九條ノ二 政府ハ酒造組合、酒造組合聯合會又ハ酒造組合中央會ニ對シ

業務ニ關スル報告ヲ爲サシメ、業務ノ執行又ハ財產ノ狀況ヲ検査シ、經費ノ豫算又ハ其ノ徵收方法ノ變更ヲ命シ其ノ他監督上必要ナル命令又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第十條中「酒造組合又ハ酒造組合聯合會」ヲ「酒造組合、酒造組合聯合會又ハ酒造組合中央會」ニ、組合若ハ聯合會」ヲ「組合、聯合會若ハ中央會」ニ改ム

第十一條中「酒造組合及酒造組合聯合會」ヲ「酒造組合、酒造組合聯合會及酒造組合中央會」ニ改ム

附 則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本法施行前酒造組合法ニ依リ設置シタル道府縣ヲ一區域トスル酒造組合聯合會ニシテ本法施行ノ際現ニ其ノ區域内ニ於ケル酒造組合三分ノ二以上ヨリ成ルモノハ本法ニ依リ設置シタルモノト看做シ其ノ區域内ニ於ケル酒造組合ハ本法施行ノ日ヨリ當然其ノ會員ト爲ル

第五條ノ二第二項乃至第四項及第六條ノ七ノ規定ハ本法施行前ニ分賦シタル經費及本法施行前ニ生シタル原因ニ基ク過怠金ニ之ヲ適用セス

〔政府委員大口喜六君演壇ニ登ル〕

○政府委員(大口喜六君) 酒造組合法中改正法律案ニ付キマシテ御説明ヲ申上ゲタイト存ジマス、本案ハ制度上全國ニ一箇ノ酒造組合中央會ノ設置ヲ認メマシテ、酒造組合聯合會ノ區域及加入ニ關シマスル規定ヲ改メ、又酒造組合ノ經費等ヲ滯納イタシマシタル者ニ對シマシテ強制徵收ノ途ヲ開カムト致シマスル等、現在各地方ニ分立イタシテ居リマスル酒造組合及酒造組合聯合會ノ統制ヲ確實ニ致シマシテ、且ツ之ガ基礎ヲ鞏固ナラシメ、以テ酒造業ノ改良發達ヲ圖ル爲ニ必要ナル事項ニ關シマシテ、改良ヲ行ハムトスルモノデアリマス、何卒御審議ノ上御協賛アラムコトヲ希望イタシマス

○男爵阪谷芳郎君 簡單デゴザイマスカラ……チヨット政府ニ御尋ね致シマスガ、法案ヲ見マスト云フト、納付金ヲ怠タ時ニハ強制徵收ヲスルト云フヤウナ規定ガ見エマスルガ、現在滯納處分ト云フコトハ國稅若クハ地方稅デハ、是ハ止ムヲ得ヌデアリマセウガ、斯ウ云フマア謂ハバ私ノ會ニ會費ヲ納メルノマデモ滯納處分ヲスルト云フコトハ少シ酷過ギルヤウニ考ヘルノデア

リマス、先年政友會ノ内閣ノ時分ニ、商業會議所ノ中ノ矢張リ會費ヲ納メルノニ滯納處分法ニ依ルト云フコトヲ削除セラレタノデアリマシテ、其當時ノ原君ノ議論ガ矢張リサウ云フ譯デアッタ、然ルニ商業會議所ト云フモノハ餘程モウ公法人ニ近イカラト云フノデ、又近年其滯納處分ヲ許スコトニナツタヤウデアリマスガ、此酒造組合ノ如キモノニ許スト云フコトニナルト云フト、私共ガ會長ヲ致シテ居ル會ガ澤山アルノデアリマスガ、サウ云フモノマデ悉ウナラバ元ノ政友會ノ議論ノヤウニ現狀ノ方ガ寧ロ宜イト、斯ウ考ヘルノデアリマスガ、此度酒造組合ニ此滯納處分ヲ認メルト云フノハ、ドウ云フ全體御趣意デアリマスカ、政府ノ御方針ノアル所ヲ伺テ見タイト存ジマス

〔政府委員大口喜六君演壇ニ登ル〕

○政府委員(大口喜六君) 只今阪谷男爵ノ御質問デアリマスガ、私共政府ノ者ト致シマシテモ、斯ノ如キモノハ成ルベク此強制徵收ヲ致サナイ方ガ宜イト考ヘテ居ルノデアリマス、併ナガラ段々此世ノ中ノ事情已ムヲ得ザルコトニナリマスレバ、致方ナインモノニ對シマシテハ之ヲ許サネバナラヌト考ヘルノデアリマス、成程此商業會議所ニ付キマシテハ只今男爵ヨリ御申述ノ如クデアリマシテ、一時ハ多分此強制徵收ヲ止シタル考ヘマスルガ、又現在ニ於キマシテハ已ムヲ得ヌ事情ニナリマシテ、強制徵收ヲ許シテ居ル次第デアルト考ヘマス、又御承知ノ如ク農會ノ如キモノモ、矢張リ是モ法律ヲ以チマシテ已ムヲ得ズ強制徵收ノコトニ相成ツテ居ルモノト考ヘテ居ルノデアリマス、ソコデ只今政府ニ於キマシテハ、大體ノ目安ヲ何處ニ置クカト申シマスト、法律ヲ以テ國ガ組合ヲ許シテ居リマスモノニ對シマシテハ、已ムヲ得ザル事情デアレバ強制徵收モ許サネバナリマスマイカト考ヘテ居リマス、是モ出来マス限りハ、サウ致サセタクナイノデアリマスルガ、色々ノ事情ヲ斟酌イタシマシテ、其組合ノ發達ヲ圖リマスコトガ、斯業ノ向上發展ノ上ニ非常ニ利益ニナルコトデアリマシテ、サウシテ其事柄ガ延イテ、矢張リ此國ノ仕事ノ上ニ影響ヲシマスル場合、即チ法律ヲ以チマシテ組合等ヲ許シテアリマスルモノニ對シマシテハ、事情ノ許ス程度ニ於キマシテ之ヲ認メネバナリマスマイカト考ヘマス、大體此趣意ヲ申述ベタイト存ジマス

○江木翼君 只今政府委員ノ述べラル、所ヲ聞キマスルト、如何ニモ範圍ガ

廣クナルヤウニ思ハル、ノデアリマス、國稅徵收法ニ依ツテ徵收ヲスルト全
ク同ジク、公法的ノ關係ニ依ツテ、謂ハバ徵收スルト云フヤウナコトニナリ
マシテ、餘程是ハ理由ガナクテハナラヌト思フノデアリマス、其關係ガ全ク
公法的ノ關係デアル場合ニ於テノミ強制徵收ト云フモノガ許サルベキモノデ
アルト思フノデアリマス、見マスル所、酒造組合ニモ強制徵收ガ許サレル、
又後程、議案ガ日程ニ上ボリマスル所ノ保險組合、我ゝカラ見マスレバ、全
ク私法的關係トモ思ハレルヤウナ、保險組合ニモ強制徵收ガ許サレル、斯様
ニナリマスルト殆ドモウ私法關係、公法關係トノ區別モナシニ、ドシノ、國
稅徵收法ニ依ヅテ滯納處分ガ出來ルト云フコトニナリマシタ場合ニハ、私ハ餘
程濫ニ流レルト思フノデアリマス、只今ノ御話デアリマスル、法律ニ依ツテ
認メタ組合デアルト云フコトニナリマスルト、モウソレハ非常ニ範圍ガ廣ク
ナルヤウニ思ヒマスガ、何カモウ少シ標準ガナクテハナルマイカト思フノデ
アリマスルガ、唯ダ法律デ認メタ組合デアレバ、例ヘバ共濟組合ノ如キモノ
デアラウト、其關係ガ全ク私法的ノモノデアラウトモ、總テ強制徵收ヲ許ス
ト云フ御趣旨デアリマセウカ、其邊ヲモウ一度確メテ見タイト思フノデアリ

〔政府委員大口喜六君演壇ニ登ル〕

○政府委員(大口臺六君)只今江本君ヨリノ御質問デアリマスガ、先刻申述べマシタ通り、政府ニ於キマシテハ、法律ニ依リマシテ許シマシタル組合ノ中ニ付キマシテ、色々事實ヲ研究イタシマシテ、已ムヲ得ザルト信ズルモノニ付キマシテ強制徵收ヲ許スヨリ外ニ仕方ガナイモノト考ヘテ居ルコトヲ申述ベタノデアリマスガ、範圍ハ成ルベク之ヲ縮メル考ヘデアリマシテ、殊ニ此強制加入ヲ國ガ法律ヲ以テ定メテ居リマスルモノ、範圍ニ限リタイト考ヘテ居リマス、同ジ法律デ定メマシタル組合デアリマシテモ、會員ニ對シマシテ強制加入ヲ命ジテ居リマセヌヤウナモノニハ、此強制徵收ノ法律ヲ用ヒマスコトハ、ドウモ宜シクナイト考ヘテ居リマス、出來マス限りハ、成ルベク此範圍ヲ縮メタイト考ヘテ居リマス、此組合ノ發達ヲ致サセマスルコトガ、世ノ中ノ爲デアルト考ヘマスルコトニ付キマシテ、ドウシテモ此強制徵收ヲ許スノデナケレバ圓滿ニ行カナイ事情ガアルト認メマスル、餘儀ナイモノニ對シテ、之ヲ許シタイト考ヘマス、殊ニ只今モ申シマシタ通り、強制加入ヲ國ガ命ジテ居リマスモノ、範圍ニ限リタイト考ヘテ居リマス、御答イタシマス

○江木翼君 強制加入ヲ許シテ居ルモノダケニ御限リニナルト云フコトデアリマスルト、幾ラカ茲ニ限度ガ出來テ參ルト思フノデアリマス、サリナガラ強制加入ヲ許シテ居リマスル組合ト雖モ、中々澤山アルト私ハ思フノデアリマス、例ヘバ重要物產同業組合ノ如キ、或ハ畜產組合ノ如キハ既ニ許シテ居ルカ知レマセヌガ、畜產組合ノ如キ、斯様ナ種類ノモノト雖モ、亦非常ニ多イノデアリマス、成程強制徵收ノ先取特權ハ國稅ナリ、又ハ市町村稅ニ次ギマスル先取特權ヲ有スルノデアリマスルガ故ニ、多少ハ緩ヤカナ點ハアルトハ雖モ、斯様ナ強制徵收ヲ許サレルト云フト、國稅ナリ、市町村稅ナリノ稅源ヲ枯ラスト云フコトニナルノデアリマス、是ハ内務省ニ於テモ、大藏省ニ於テモ非常ニ御研究ニナラナケレバナラヌ事柄デアルト思ヒマス、一旦斯様ナモノヲ許サル、場合ニ於キマシテハ、他ノ組合ガドシヽ皆強制徵收權ヲ得ルト云フコトニナリ、國稅滯納處分法ニ依ツテ處分セラレ、恰モ國稅、市町村稅ト同様ナ形ニ於テ、市町村長ガ徵收スルト云フガ如キコトニナルノデアリマスカラ、ソレヲ受ケル方ニ於キマシテハ、國稅、市町村稅デアラウト、將又斯様ナ組合ノ經費、費用、會費デアルトヲ問ハズ、總テ強制的ノ處分ヲ受ケルノデアリマス、受ケル方カラ見マスルト、國稅、市町村稅ト全クト同ジニナルノデアリマス、國稅、市町村稅ト同ジニナルト云フコトハ、取りモ直サズ國稅、市町村稅ノ稅源トナル所ノ負擔力ト云フモノヲ枯ラシテ行クト云フ結果ニナルノデアリマスカラ、是ハ大藏省ナリ、内務省ナリニ於キマシテハ、非常ナル御考ニナルベキコトデアラウト思フ、從來ソレガ爲ニ内務省ニ於キマシテモ、中々ヤカマシイ議論ガアッタ、殊ニ貴族院トシマシテハ、此問題ニ付キマシテハ殆ド半々ノ議論ニ分レル位ニ何時モナツテ居ル傳統ニナツテ居ルノデアリマス、只今斯ウ云フモノヲ御開キニナリ、又保險組合ニモ御開キニナリ、續イテ他ノ同業組合ナリ、畜產組合ナリ、其他各種ノ強制加入ヲシテ所ハナイ、此產業組合マデニ及ボスト云フコトニナラウカト思フノデアリマス、隨分此產業組合ナドニモ其要求ガアルラシク聞イテ居ルノデアリマス、法律デ定メラレタル組合、例ヘバ產業組合、全國町村到ル處ニ一ツ二ツナイン所ハナイ、此產業組合マデニ及ボスト云フコトニナラウカト思フノデアリマス、隨分此產業組合ナドニモ其要求ガアルラシク聞イテ居ルノデアリマス、

ニナツテ御置キニナリマセヌト、他日是ガ國稅ナリ、町村稅ナリノ稅源ヲ枯ラ
スト云フ憂ヘニナルト思フノデアリマスガ、何カモウ少シ能イ標準ヲ御定メ
ニナルコトハ出來ナイノデアリマセウカ、更ニ伺ツテ置キタイト思ヒマス

〔政府委員大口喜六君演壇ニ登ル〕

○政府委員(大口喜六君) 只今御述ベニナリマシタ御趣意ハ、全ク私共モ實
ハ御同感ニ存ジテ居ルノデアリマス、出來マスナラバ、斯様ナコトヲ致サズ
ニ、圓滿ニ參ルコトヲ希望イタシテ居ルノデアリマスガ、已ムヲ得ザル事情
デ先刻カラ御話ガアリマシタ通り、商業會議所、農會、並ニ只今御話ニナリ
マシタ此畜產組合モ、既ニ只今強制徵收ニナツテ居ルノデアリマスガ、サウ云
フコトガ段々出來テ參ルノデアリマス、ソレ故ニ趣意ガサウ云フ考ヘデアリ
マスカラ、只今申述ベマシタ程度ニ於キマシテ考ヘテ居リマスケレドモ、御
趣旨ノアリマス所ハ能ク體シマシテ、私共出來マス限リ範圍ヲ狹ク致シタイ
ト考ヘル次第デアリマス、今回提案イタシマシタノハ、只今ノ理由ニ依リマ
シテ出シマシタモノデアリマシテ、將來ニ對シマシテハ餘程是ハ尙ホ一層注
意スベキモノデアルト、斯ウ考ヘテ居リマスコトヲ申述ベマシテ、御答ニ致
シタイト存ジマス

○男爵阪谷芳郎君 ドウモモウ一應政府ニ御考ヲ願ヒタイガ、一體稅ト云フ
モノハ憲法ニ依ツテ臣民ハ納稅義務ヲ有スルト云フコトガアル、ソレ故ニ滯納
處分ト云フコトガ已ムヲ得ズ出ルノデアリマスガ、隨分滯納處分ト云フコト
ハ政府ヲ不人望ニスルモノデアル、大變ニ滯納處分ヲ受ケル者ハ政府ヲ恨
ム、ソレ故ニ滯納處分ト云フコトハ憲法ガ命ジテ臣民ノ義務ヲ果スト云フコ
トカラ生ジテ居ル、稅ニアラザルモノニ無暗ニ法律ヲ以テ滯納處分ヲ強ヒル
ト云フコトニナルト、其結果ガ益國稅地方稅ヲ不人望ニナラシムル、政府
ニ於テハ若シモ此際、政府委員ハ御同感々々ト頻リニ仰シヤルノデアリマ
スカラ、先ヅ此法案ヲ初メトシテ總テ一齊ニ國稅地方稅以外ノモノハ、皆止
メテシマフト云フヤウナ御考デモアリマセヌデセウカ、寧ロ其方ガサッパリ
綺麗ナヤウニ考ヘル、今一應政府ニ於テハ非常ニ嫌ダ嫌ダト云フ御説明デア
ツテ見レバ、嫌ナラバ寧ロ此際殖ヤサナイ、而シテ尙ホ既往ノ分モ止メテシ
マフ、斯ウ云フ御決心ヲ御執リニナツタ方ガ宜クハナイカト思ヒマス

〔政府委員大口喜六君演壇ニ登ル〕

○政府委員(大口喜六君) 再應ノ御質問デアリマスガ、私共實ハ斯ウ考ヘテ

居リマス、市町村ニ致シマシテモ、府縣ニ致シマシテモ、或ハ國稅ニ致シマ
シテモ、滯納ト云フコトガナイコトヲ希望スルノデアリマシテ、國稅ニ致シ
マシテモ全體國民ガ、真ニ此納稅ノ義務ヲ了解ヲ致シマシテ、總テ制度ノ宜
シキヲ得マスレバ、滯納ト云フモノハナイガ本當デアラウカト考ヘルノデア
リマスガ、誠ニ私共不肖デアリマスガ、嘗テ地方自治體ナドニハ全ク滯納ハナイト申
居リマシタ頃モ、私ノ當ツテ居リマシタ自治體ナドニハ全ク滯納ハナイト申
シテ宜カツタノデアリマス、小サナ市ノ私ノ市長ヲシテ居リマシタ長イ間ニ
一年ニ三百何十圓カ滯納ガアツタ年ガ一一番多カツタノデアリマス、所ガ此頃ヲ
見マスルト誠ニ驚クベキ滯納ヲ生ジテ居ルノデアリマス、サウシテ私共ノヤ
ツテ居リマス時ニハ滯納處分ナント云フコトハ、殆ド致シタコトガアリマセ
ヌデ、偶僅カナ者ニ對シテ督促令狀ヲ出シマスレバ之ヲ受ケマシタ者ガ非
常ナ恥ノヤウニ考ヘマシテ、直ニ納メタヤウナ次第デアリマス、所ガ近頃ハ
段々慣レマシテ、滯納ノ督促令狀位ハ一向平氣デ居リマシテ、甚ダ言葉ガ
過ギルカハ存ジマセヌガ、先ヅ督促令狀ヲ發送ナレマシタ手數料位出シマシ
テモ、遲レタ方ガ宜イト云フヤウニ考ヘテ居ル者モアルノデハナイカト疑ハ
レルヤウナ狀況デアルノデアリマス、斯ノ如ク段々世ノ中ガナツテ參ツタノハ
其罪ガ何處ニアリマスカハ此處デ能ク申述ベルコトハ出來マセヌガ、誠ニ悲
シムベキコトデアルト私ハ考ヘマス、ソコデ商業會議所ニ致シマシテモ、農
會ニ致シマシテモ、畜產組合ニ致シマシテモ、今回ノ酒造組合ニ致シマシテ
モ、斯ノ如キ團體ハ御說ノ如クデス、モウ滯納處分ナドヲ致シマセヌデ納マ
ルベキモノデアル、又納マラネバナラナイト考ヘルノデアリマスガ、如何セ
ン今日ノ一般ノ社會狀態カラ參リマスト、之ヲ放任イタシテ置キマシタノデ
モ、好イ事ニ致シテ滯納ヲスル者ガ益殖エル傾向ガアルノデハナイカト虞
ル、ノデアリマス、又實際上左様ナ事ヲ目擊イタシマスノデ、已ムヲ得ズ茲
ニ此滯納者ニ對シマシテ滯納處分ヲ致スヤウナ法令ヲ設ケラレルコトト考ヘ
マス、是ハ誠ニ世ノ中ノ上ニ於テ悲ムベキ事デアリマスケレドモガ、現狀ニ
於キマシテ已ムヲ得ズ斯ノ如クナツテ居ルノデアリマスカラ、只今申上ゲマ
ス通リ、私ガ御同感ト申上ゲマシタコトガ甚ダ宜シクナイヤウデアリマス
ガ、私共精神ニ於キマシテハ其通リ考ヘルノデアリマス、實際上之ヲ取扱ツテ
其仕事ヲ物ニシテ行キマス上ニハ、矢張リ金ヲ取ラナケレバナラヌ、ソレガ出

トカ致サネバナラナイト云フ茲ニ問題ガ起リマスノデ、遂ニ斯ノ如キ例ガ開
カレ、只今行ハレテ居ルモノト考ヘマスカラ、只今行ハレテ居リマスルモノ

ヲ直ニ御趣意ガ宜シイト考ヘマシテモ、實際ノ上カラ研究ヲ致サネバナリマ
セヌカラ、直ニ之ヲ撤廢イタスト云フコトハ御答ヲ致シ兼ネルノデアリマス
ガ、將來ニ對シマシテハ出來得ル限り私共ノ方ハ、成ルベクスウ云フ事ヲ少
ク致シタイト全ク考ヘテ居リマスカラ、是ダケヲ御答スル次第デアリマス
○議長（公爵徳川家達君） 本案ノ特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀イタサ
セマス

〔長書記官朗讀〕

酒造組合法中改正法律案特別委員

侯爵	松平	康莊君	子爵	織田	信恒君	子爵	舟橋	清賢君	
土方	寧君	男爵	北河原	公平君	市來	乙彥君	瀬川彌右衛門君	八馬	兼介君
高廣	次平君								

○議長（公爵徳川家達君） 日程第二、陪審法中改正法律案、政府提出、衆議
院送付、第一讀會

陪審法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
昭和四年三月十五日

衆議院議長 川原茂輔

○議長（公爵徳川家達君） 日程第二、陪審法中改正法律案、政府提出、衆議
院送付、第一讀會

陪審法中改正法律案特別委員

侯爵	鍋島	直映君	伯爵	堀田	正恒君	大島	健一君
富谷	鉢太郎君	鈴木	喜三郎君	志水	小一郎君	石渡	敏一君
男爵	渡邊修二君						

陪審法中改正法律案
陪審法中左ノ通改正ス
第四條第四號ヲ第五號トシ第三號ヲ第四號トシ同條第二號ノ次ニ左ノ一號
ヲ加フ

三 治安維持法ノ罪

附 則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本法ハ本法施行前ニ生シタル事件ニ付亦之ヲ適用ス

〔國務大臣原嘉道君演壇ニ登ル〕

○國務大臣（原嘉道君） 陪審法中改正法律案ノ提出ノ理由ヲ御説明申上グマ
ス、治安維持法ノ罪ハ、陪審法第四條ニ列記シテアリマスル刑法第二編第一
章乃至第四章、第八章ノ罪、即チ内亂罪、外患罪、騒擾罪、竝ニ法令ニ依ル
公選ニ關シ犯シタル罪等ト齊シク、其本質上及實際上ニ於キマシテ、陪審員
ノ公平的確ナル評決ヲ得ルニ適セナイモノデアルノデアリマス、陪審法ニ於
テヲ陪審手續ヨリ除外イタシマセナカッタノハ、陪審法制定當時ニ於キマシ
テ未ダ治安維持法ノ制定ガナカッタ爲デアルコトガ明カデアルト考ヘルノデ
アリマス、是ガ、政府ハ現行陪審法ノ精神ニ鑑ミマシテ、治安維持法ノ罪ヲ
陪審法第四條ニ認メタ除外例ニ加ヘマシテ、陪審制度ノ運用上ノ支障ナカラ
シメムコトヲ期シマシテ本案ヲ提出イタシマシタ所以デアリマス、何卒速ニ
御協賛ヲ與ヘラレムコトヲ希望イタシマス

○議長（公爵徳川家達君） 本案ハ昭和三年勅令第百二十九號ノ承諾ヲ求ムル
件ノ同一委員ニ付託イタシマス

陪審法中改正法律案特別委員

侯爵	鍋島	直映君	伯爵	堀田	正恒君	大島	健一君
富谷	鉢太郎君	鈴木	喜三郎君	志水	小一郎君	石渡	敏一君
男爵	渡邊修二君						

○議長（公爵徳川家達君） 日程第三、船舶職員法中改正法律案、政府提出、
衆議院送付、第一讀會

船舶職員法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
昭和四年三月十五日

衆議院議長 川原茂輔

貴族院議長公爵徳川家達殿

船舶職員法中改正法律案

船舶職員法中左ノ通改正ス

第一條第二項中「二等運轉士、機關長及一等機關士」ヲ「二等運轉士、三

等運轉士、機關長、一等機關士、二等機關士及三等機關士」ニ改ム

第五條第一項中「試験ヲ受ケ」ヲ「體格検査及學術試験ヲ受ケ」ニ、同條第二

項中「商船學校全科卒業證書ヲ有シ遞信大臣ニ於テ試験規程ニ合格スト認

ムル者ニハ試験ヲ用キシテ」ヲ「船舶ノ運航若ハ機關ノ運轉ニ關スル學

術ヲ教授スル學校ノ所定ノ課程及練習ヲ卒リ遞信大臣ニ於テ學術試験ニ合

格スト認ムル者ニハ學術試験ヲ行ハスシテ」ニ改メ同條ニ左ノ一項ヲ加フ

小形船舶ニ乘組ム船舶職員ノ有スヘキ海技免狀ハ遞信大臣ノ定ムル所ニ

依リ學術試験ヲ行ハスシテ之ヲ授與スルコトヲ得

第六條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ船舶職員タルコトヲ得ス又前條ノ體

格検査及學術試験ヲ受クルコトヲ得ス

一 六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者

二 六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレ刑ノ執行ヲ終リ又ハ其ノ執

行ヲ受クルコトナキニ至ル迄ノ者

三 瘋癲、白痴、身體不具其ノ他精神又ハ身體ニ缺陷ヲ有シ執職ニ不適

當ナル者
四 海技免狀ノ行使ヲ禁止セラレタル者
五 海技免狀ノ行使停止中ノ者
六 破產者ニシテ復權ヲ得サル者

遞信大臣ハ海技免狀受有者ニシテ前項第三號ニ該當スルノ疑アルモノニ就キ管海官廳ヲシテ體格検査ヲ執行セシムルコトヲ得

第九條第一項中「刑法ノ數罪俱發」ヲ「刑法併合罪」ニ改ム

第九條ノ三 朝鮮總督又ハ臺灣總督ノ授與シタル海技免狀ニシテ遞信大臣ニ於テ第五條ノ規定ニ依リ授與シタルモノト同等ト認メタルモノハ之ヲ

第五條ノ規定ニ依リ遞信大臣ノ授與シタル海技免狀ト看做ス
第一號表ヲ左ノ如ク改ム

第一號表

(其ノ一) 船長及運轉士定員表

水平	航路	船舶種類	總噸數	船舶職員	免狀種類	定員
汽船	五百噸未滿	船長	乙種二等運轉士免狀	一千五百噸未滿	一	一
船長	乙種一等運轉士免狀	一	一千五百噸未滿	船長	五百噸未滿	一

區一第一路航海近							路航海沿				路航			
帆船		汽船					帆船	汽船			千五百噸以上	一千噸未滿	船長	船長
三千噸未滿ノ	二百噸以上	五百噸以上	五千噸未滿	二千噸未滿	一千噸未滿	五百噸未滿	五百噸未滿	一千噸未滿	一千噸未滿	一千噸未滿	船長	船長	船長	船長
船長	一等運轉士	船長	船長	一等運轉士	一等運轉士	一等運轉士	甲種船長免狀	乙種船長免狀	丙種船長免狀	丙種船長免狀	甲種船長免狀	乙種船長免狀	丙種船長免狀	乙種船長免狀
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

三千馬力未満

一等機關士

一等機關士免狀

セマス

〔瀬古書記官朗讀〕

船舶職員法中改正法律案特別委員

侯爵鍋島直映君

子爵大久保立君

子爵岩城隆徳君

若林賛藏君

男爵赤松範一君

澤山精八郎君

大城兼義君

松本勝太郎君

鳴海周次郎君

三千馬力未満		一等機關士		一等機關士免狀	
五千馬力未満ノ旅	客船	一等機關士	機關長免狀	一等機關士免狀	一等機關士免狀
客船又ハ三千馬力以上ノ非旅客船		二等機關士	機關長免狀	一等機關士免狀	一等機關士免狀
五千馬力以上ノ旅	客船	三等機關士	機關長免狀	二等機關士免狀	二等機關士免狀
一等機關士	機	機關長	機關長免狀	機關長免狀	機關長免狀
二等機關士	機	機關長	機關長免狀	機關長免狀	機關長免狀
三等機關士	機	機關長	機關長免狀	機關長免狀	機關長免狀
一等機關士免狀	一等機關士免狀	一等機關士免狀	一等機關士免狀	一等機關士免狀	一等機關士免狀
一等機關士免狀	一等機關士免狀	一等機關士免狀	一等機關士免狀	一等機關士免狀	一等機關士免狀
一等機關士免狀	一等機關士免狀	一等機關士免狀	一等機關士免狀	一等機關士免狀	一等機關士免狀
一等機關士免狀	一等機關士免狀	一等機關士免狀	一等機關士免狀	一等機關士免狀	一等機關士免狀

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法施行ノ際現ニ船舶職員トシテ就職中ノ者ハ遞信大臣ノ定ムル所ニ依リ

本法施行後引續キ同一ノ船舶ニ於テ同一ノ職ヲ執ル期間内ニ限り仍從前ノ

例ニ依リ就職スルコトヲ得

本法ノ適用ニ付テハ舊刑法ノ重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ之ヲ六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ト看做ス

〔國務大臣久原房之助君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(久原房之助君) 船舶職員法中改正法律案提出ノ理由ヲ申上ゲマス、現行法ハ明治二十九年ニ制定セラレマシテ、其後僅ニ三十八年ニ一部ノ改正ガ加ヘラレマシタニ過ギナイノデアリマス、然ルニ海運界ハ非常ニ進歩ヲ遂ゲマシテ、御承知ノ如ク全ク隔世ノ感ガアルノデゴザイマス、デ其狀態ニ適應サセマスルガ爲ニ茲ニ此改正案ヲ提出イタシマシタ次第アリマス、是ハ何レモ關係者ヨリノ陳情、建議ノ趣意等モ參酌按排シマシテ、現今ノ海運狀態ニ適應セシメムトスルニ外ナラヌ次第アリマス、ドウゾ宜シク御審議下ナルコトヲ御願致シマス

○議長(公爵德川家達君) 本案ノ特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀イタサ

貴族院議事速記錄第三十號

昭和四年三月十九日

無線電信法中改正法律案

第一議會

貴族院議長公爵德川家達殿

衆議院議長川原茂輔

○議長(公爵德川家達君) 日程第四、無線電信法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和四年三月十五日

無線電信法中改正法律案

第三條中「私設ノ無線電信ノ通信」ヲ「私設ノ無線電信又ハ無線電話ノ通信」ニ改メ「資格」ノ下ニ「及配置定員」ヲ加フ

第七條中「設備ノ變更ヲ命スルコトヲ得」ヲ「設備ノ變更、使用ノ制限若ハ使用ノ停止ヲ命スルコトヲ得無線電信、無線電話ノ混信防遏ノ爲必要ト認ムルトキ亦同シ」ニ改ム

第八條ノ二 無線電信又ハ無線電話ニ依ル通信公安ヲ妨害シ又ハ風俗ヲ壞亂スルモノト認ムルトキハ主務大臣ノ指定シタル電信官署又ハ電話官署ニ於テ之ヲ停止シ又ハ當該無線電信、無線電話ノ施設者若ハ當該通信ヲ發スル者ニ對シ其ノ通信ノ停止ヲ命スルコトヲ得

第十三條ノ二 主務大臣ハ私設ノ無線電信又ハ無線電話ノ機器、其ノ裝置又ハ運用ニ關シ監督上必要ト認ムルトキハ當該官吏ヲシテ其ノ施設ノ場所ニ立入り機器工作物及關係書類ノ検査ヲ爲サシムルコトヲ得

第十三條ノ三 前二條ノ規定ニ依リ當該官吏無線電信又ハ無線電話ノ施設ノ場所ニ立入ル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ證明スヘキ證票ヲ携帶スヘシ

第十五條中「船舶遭難」ノ下ニ「航行ノ安全」ヲ加フ

第二十條ノ二 無線電信又ハ無線電話ニ依リ知得タル前條ニ該當セサル無線電信又ハ無線電話ノ通信ノ祕密ヲ漏泄シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ罪ハ告訴ヲ待テ之ヲ論ス

第二十二條ノ二 無線電信又ハ無線電話ニ依リ公安ヲ妨害シ又ハ風俗ヲ壞亂スル通信ヲ發シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

無線電信又ハ無線電話ノ事務ニ從事スル者前項ノ行爲ヲ爲シタルトキハ五年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十六條中「前十條」ヲ「第十六條乃至第二十五條」ニ改ム

第二十七條中「第十三條」ノ下ニ「若ハ第十三條ノニ」ヲ加フ

第二十八條中「第五條」ヲ削ル

第二十八條ノ二 無線電信又ハ無線電話ニ非スト雖高周波電流ヲ使用シ通報信號ヲ爲スモノニ關シテハ命令ノ定ムル所ニ依リ本法ノ規定ヲ準用ス

第二十八條ノ三 主務大臣ハ無線電信又ハ無線電話ニ依ル公衆通信又ハ軍事上必要ナル通信ニ及ホス障碍ヲ防止スル爲必要ト認ムルトキハ高周波電流ヲ發生スル設備ニシテ無線電信、無線電話又ハ前條ノ通報信號施設ニ非サルモノニ關シ其ノ施設者ニ對シ設備ノ變更又ハ特殊ノ設備ニ要シタル費用ハ

命令ノ定ムル所ニ依リ政府之ヲ補償ス

前項ノ規定ニ依ル補償ニ關スル決定ニ對シ不服アル者ハ其ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三月内ニ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔國務大臣久原房之助君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(久原房之助君) 無線電信法中改正法律案提出ノ趣意ヲ申上ゲマス、一昨年十月ヨリ十一月ニ瓦リマシテ、米國華盛頓ニ開催セラレマシタ、國際無線電信會議ニ於キマシテ、帝國委員ガ各國委員ト共ニ調印イタシマシタル所ノ改正國際無線電信條約ハ、曩ニ御批准ヲ經マシテ昨年ノ末ニ公布セラレ、本年一月一日ヨリ實施セラレタノデゴザイマス、此條約ノ實施ニ伴ヒ

マシテ、國內ノ法規ニモ改正ヲ必要トスルモノガ生ジテ參ッタノデアリマスルガ、尙ホ我國ニ於キマスル無線電信、無線電話ノ普及發達ノ狀況ニ鑑ミマシテ、廣ク電波ノ統制竝ニ通信ノ取締ニ付キマシテモ、又新タニ規定スルノ必要ヲ見ルニ至ツタ次第テゴザイマス、斯様ナ次第デアリマシテ、茲ニ無線電信法ノ一部ノ改正ヲ致シマス法律案ヲ提出イタシマシタ次第デアリマス、何卒御審議ノ上御協賛ヲ與ヘラレムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀イタサセマス

〔瀬戸書記官朗讀〕

無線電信法中改正法律案特別委員

侯爵 中山 輔 親君 伯爵 酒井 忠正君 子爵 朽木 綱貞君

内田 嘉吉君 男爵 三須精一君 鍋島 桂次郎君

森 廣三郎君

若尾 章八君

森田 福市君

○議長(公爵德川家達君) 日程第五、大禮紀念帝室博物館復興翼賛會事業ノ補助ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

〔大禮紀念帝室博物館復興翼賛會事業費ノ補助ニ關スル法律案〕

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和四年三月十六日

衆議院議長 川原茂輔

貴族院議長公爵德川家達殿

〔政府委員大口喜六君演壇ニ登ル〕

大禮紀念帝室博物館復興翼賛會事業費ノ補助ニ關スル法律案

昭和四年度ニ於テ〔大禮紀念〕帝室博物館復興翼賛會ノ事業費ニ對スル補助金ニ充用スル爲造幣局資金ノ内三百五十万圓ヲ限リ一般會計ニ繰入ルコトヲ得

○政府委員(大口喜六君) 大禮紀念帝室博物館復興翼賛會事業費ノ補助ニ關スル法律案ニ付キマシテ提案ノ理由ヲ御説明イタシタ伊ムシテ、今上陛下御即位ノ大禮ヲ記念イタシマスル爲ニ、東京帝室博物館ヲ復興イタシマシテ、之ヲ帝室ニ獻上シテ帝室ノ文化的御事業ヲ翼賛シ奉リマスル爲ニ、先般大禮紀念帝室博物館復興翼賛會ガ組織セラレタノデアリマス、而シテ其復興

ニ要シマスル經費ハ八百五十万圓ノ見込デアリマシテ、内五百万圓ハ之ヲ全

國有志者ノ寄附ニ待チマシテ、三百五十万圓ハ之ヲ政府ノ補助ニ依リマシテ、該事業ノ達成ヲ期セントスルノ計畫デアリマス、是ハ最モ時宜ニ適セルモノ

ト認メマス、民間ニ於ケル寄附ハ確實ノ見込デアリマスカラ、前記補助金額ヲ昭和四年度追加豫算トシテ今回提出イタシマシタ、而シテ其財源ハ之ヲ造

幣局資金ニ屬シテ居リマスル現金ヲ以テ充當スルコト、致シ、右資金ヲ一般

會計ニ繰入レルノ途ヲ開クノ必要ガアリマシテ、本法律案ヲ提出イタシマシタ次第デアリマス、何卒御協贊アラムコトヲ切望イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀ヲ致セマス

〔瀬古書記官朗讀〕

紀念帝室博物館復興翼賛會事業ノ補助ニ關スル法律案特別委員

侯爵徳川 賴貞君 伯爵川村 鐵太郎君 子爵前田 利定君
男爵沖 貞男君 原 保太郎君 岡崎 邦輔君
大橋 新太郎君 太田 清藏君 八木 春樹君

○議長(公爵徳川家達君) 日程第六、第七、第八、第九、第一讀會

地方鐵道法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
昭和四年三月十六日

貴族院議長公爵徳川家達殿

衆議院議長 川原茂輔

地方鐵道法中改正法律案

地方鐵道法中左ノ通改正ス

第一條中「軌道條例」ヲ「軌道法」ニ改ム

第三條ニ左ノ一項ヲ加フ

前項ノ軌間ノ制限ハ命令ヲ以テ定ムル特殊ノ地方鐵道ニ付テハ之ヲ適用

セス

第六條ノ二 地方鐵道會社ハ線路延長ノ費用ニ充ツル爲其ノ資本ヲ増加スル場合ニ限リ監督官廳ノ認可ヲ受ケ利益配當ニ關シ一定ノ期間内普通株

ニ劣ル株式(後配株)ヲ發行スルコトヲ得

第六條ノ三 後配株ヲ發行スル場合ニ於テハ其ノ旨ヲ定款ニ記載シ且株式申込證ニ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一 後配株ノ種類及其ノ各種ノ株式ノ數

二 後配株ノ利益配當ニ關スル事項

三 延長線ノ工事ノ大要殊ニ其ノ開業豫定時期

第六條ノ四 後配株ノ發行ニ依リテ得タル資金ハ當該線路延長ノ費用以外ニ之ヲ充ツルコトヲ得ス

會社カ後配株ヲ發行シタル場合ニ於テ定款又ハ株式申込證ニ記載シタル事項ニ付特ニ後配株主ニ不利益ナル變更ヲ爲サムトスルトキハ後配株主總會ノ決議ヲ經ルコトヲ要ス但シ已ムコトヲ得サル事由アル場合ニ於テ裁判所ノ許可アルトキハ此ノ限ニ在ラス

後配株主總會ニハ株主總會ニ關スル規定ヲ準用ス

第六條ノ五 商法第百九十七條但書、第二百十二條ノ三第二項、第二百十七條第一項第四號及第二百十八條第二項ノ規定ハ後配株ニ付之ヲ準用ス

第七條第一項ヲ削リ同條中「社債ハ」ヲ「地方鐵道會社ノ社債ハ」ニ改ム

第八條第二項ヲ削ル

第九條 削除

第二十二條第一項中「發著時刻及度數」ヲ「運轉速度及度數」ニ、同條第二項中「發著時刻及度數」ヲ「運轉速度、度數及發著時刻」ニ改ム

第三十條 政府カ公益上ノ必要ニ因リ地方鐵道(工事中ノ線路ヲ含ム)ノ全部又ハ一部及其ノ附屬物件ヲ買收セムトスルトキハ地方鐵道業者ハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

前項ノ規定ニ依リテ一部買收セラレタル爲殘存線路ノミニ付營業ヲ繼續スルコト能ハサルニ至リタルトキハ地方鐵道業者ハ殘存開業線路及其ノ

附屬物件ノ買收ヲ申請スルコトヲ得

第三十一條 買收價額ハ左ニ掲クルモノトス

一 最近ノ營業年度末迄ニ運輸開始後三年ヲ經過シタル線路ヲ含ム開業

線路ニ付テハ其ノ營業年度末ヨリ遡リ既往三年間ニ於ケル開業線建設

費ニ對スル益金ノ平均割合ヲ買收ノ日ニ於ケル開業線建設費ニ乘シタル額ヲ二十倍シタル額

二 最近ノ營業年度末迄ニ運輸開始後三年ヲ經過シタル線路ヲ含マサル開業線路ニ付テハ買收ノ日ニ於ケル開業線建設費ヲ時價ニ依リテ國債券面金額ニ換算シタル金額以内ニ於テ協定シタル金額

三 工事中ノ線路及買收ノ日迄ニ未タ使用開始ニ至ラサル改良施設ニ付

テハ買收ノ日ニ於ケル建設費ヲ時價ニ依リテ國債券面金額ニ換算シタル金額以內ニ於テ協定シタル金額

ル金額以內ニ於テ協定シタル金額

前項第一號ノ規定ニ依ル金額カ買收ノ日ニ於ケル建設費ヲ時價ニ依リテ國債券面金額ニ換算シタル金額ニ達セサルトキハ其ノ換算シタル金額以内ニ於テ協定シタル金額ヲ以テ買收價額トス

第三十二條

政府ハ買收鐵道ノ營業ノ狀況ニ基キ前條第一項第一號若ハ第二號又ハ同條第二項ノ規定ニ依ル買收價額ニ其ノ百分ノ五以内ノ金額ヲ加算スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リテ金額ヲ加算スヘキ場合及其ノ割合ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十三條 第三十條ノ規定ニ於テ益金トハ營業收入ヨリ營業費及賞與金ヲ控除シタルモノヲ謂ヒ益金ノ平均割合トハ三年間ニ於ケル毎營業年度末ノ開業線建設費ノ合計ヲ以テ同期間ニ於ケル益金ノ合計ヲ除シタルモノニ一年間ニ於ケル營業年度ノ數ヲ乘シタルモノヲ謂フ

建設費、營業收入及營業費ハ命令ノ定ムル所ニ依リテ算出シタル金額ニ依ル

第三十三條ノ二 政府ノ買收スル鐵道又ハ其ノ附屬物件ニ付買收ノ日ニ於テ補修ヲ要スルモノアルトキハ之ニ要スル金額ヲ時價ニ依リテ國債券面金額ニ換算シ買收價額ヨリ控除ス

最近ノ營業年度末迄ニ爲スヘキ補修ヲ其ノ營業年度末迄ニ爲ササリシトキハ前項ノ規定ニ依ルノ外之ニ要スル金額ヲ買收價額計算上ノ營業費ニ加算ス

第三十五條ノ二 政府ハ買收ノ日ヨリ買收代價交付ノ日ニ至ル迄買收代價トシテ交付スヘキ國債ノ利子ニ相當スル金額ヲ概算ヲ以テ從前ノ決算期毎ニ買收セラレタル者ニ交付スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リテ交付シタル金額ハ清算中ト雖主務大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ株主ニ配當スルコトヲ得

第三十五條ノ三 第三十條第一項ノ規定ニ依リテ一部買收セラレタル爲殘存線路ノミニ付營業ヲ繼續スルコト能ハサルニ至リタルトキハ地方鐵道業者ハ未タ運輸開始ニ至ラサル殘存線路ニ付其ノ營業廢止ニ因リテ生スル損失ノ補償ヲ申請スルコトヲ得

第三十六條第二項及第三項ヲ削リ同條ニ左ノ一項ヲ加フ

前項ノ規定ハ未タ運輸開始ニ至ラサル線路ニ付之ヲ準用ス

第三十六條ノ二ヲ第三十六條ノ三トシ同條第三項中「第三十一條第三項ノ規定ハ前二項ノ益金」ヲ「第三十三條ノ規定ハ前二項ノ益金、建設費」ニ改ム

第三十六條ノ二

前二條ノ補償金額ハ第三十一條乃至第三十三條ノ二ノ規定ニ準シテ算出シタル金額ヨリ殘存物件ノ價額ヲ時價ニ依リテ國債券面金額ニ換算シタル金額ヲ控除シタル殘額以内ニ於テ政府之ヲ定ム

未タ工事ニ著手セサル線路ニ對スル補償金額ハ測量其ノ他ノ費用ヨリ殘存物件ノ價額ヲ控除シタル殘額ヲ時價ニ依リテ國債券面金額ニ換算シタル金額以内ニ於テ政府之ヲ定ム

第三十五條及第三十五條ノ二ノ規定ハ前二項ノ補償金ノ支拂ニ付之ヲ準用ス

第三十六條ノ四 主務大臣ハ地方鐵道ノ買收又ハ補償ニ關シ必要アリト認可ヲ受ケシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リテ認可ヲ受クヘキ場合ニ於テ之ヲ受ケサルモノニ付テハ政府ハ其ノ額ヲ査定スルコトヲ得

第三十六條ノ五 第三十一條、第三十三條ノ二及第三十六條ノ二ノ國債時價ハ大藏大臣ノ定ムル所ニ依ル

第三十九條第一項ニ左ノ一號ヲ加フ

五六第六條ノ四第一項ノ規定ニ違反シタルトキ又ハ同條第二項ノ規定ニ違反シテ後配株主ニ不利益ヲ及ホシタルトキ

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

鐵道營業法中改正法律案

鐵道營業法中左ノ通改正ス

第十一條 旅客又ハ荷送人ハ手荷物又ハ運送品託送ノ際鐵道運輸規程ノ定ムル所ニ依リ表示料ヲ支拂ヒ要償額ヲ表示スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル表示額カ託送手荷物又ハ運送品ノ引渡期間末日ニ於ケル到達地ノ價格及引渡ナキ場合ニ於テ旅客又ハ荷送人カ受クヘキ其ノ他ノ損害ノ合計額ヲ超ユルトキハ其ノ超過部分ニ付テハ其ノ表示ハ之ヲ無效トス

第十一條ノ二 要償額ノ表示アル託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因ル損害ニ付賠償ノ責ニ任スル場合ニ於テハ鐵道ハ表示額ヲ限度トシテ

一切ノ損害ヲ賠償スル責ニ任ス此ノ場合ニ於テ鐵道ハ損害額カ左ノ額ニ達セサルコトヲ證明スルニ非サレハ左ノ額ノ支拂ヲ免ルルコトヲ得ス

一部滅失ノ場合ニ於テハ表示額

一部滅失又ハ毀損ノ場合ニ於テハ引渡アリタル日（延著シタルトキハ引渡期間末日）ニ於ケル到達地ノ價格ニ依リ計算シタル價格ノ減少割合ヲ表示額ニ乘シタル額

託送手荷物、高價品又ハ動物ニ付テハ託送ノ際旅客又ハ荷送人カ要償額ノ表示ヲ爲ササル場合ニ於テハ鐵道ハ鐵道運輸規程ノ定ムル最高金額ヲ

超工其ノ滅失又ハ毀損ニ因ル損害ヲ賠償スル責ニ任セス

前二項ノ賠償額ノ制限ハ託送手荷物又ハ運送品カ鐵道ノ惡意又ハ重大ナル過失ニ因リテ滅失又ハ毀損シタル場合ニハ之ヲ適用セス

第十二條 引渡期間満了後託送手荷物又ハ運送品ノ引渡ヲ爲シタル場合ニ於テハ延著トス
引渡期間ハ鐵道運輸規程ノ定ムル所ニ依ル

延著ニ因ル損害ニ付賠償ノ責ニ任スル場合ニ於テハ鐵道ハ左ノ額ヲ限度トシテ鐵道運輸規程ノ定ムル所ニ依リ一切ノ損害ヲ賠償スル責ニ任ス

一 要償額ノ表示アルトキハ其ノ表示額
二 要償額ノ表示ナキトキハ其ノ運賃額
前項ノ賠償額ノ制限ハ託送手荷物又ハ運送品カ鐵道ノ惡意又ハ重大ナル過失ニ因リテ延著シタル場合ニハ之ヲ適用セス

第十三條 鐵道カ引渡期間満了後一月ヲ經過スルモ託送手荷物又ハ運送品マス、其改正ノ要點ハ四ツデゴザイマシテ、第一點ハ特殊ノ地方鐵道ニ對シ

ノ引渡ヲ爲ササル場合ニ於テハ旅客又ハ貨主ハ滅失ニ因ル損害賠償ヲ請求スルコトヲ得但シ鐵道ノ責ニ歸スヘカラサル事由ニ因リ引渡ヲ爲ササル場合ハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ニ依リ賠償ヲ受ケタル者ハ其ノ請求ノ際留保ヲ爲シタルトキハ到達ノ通知ヲ受ケタル後一月内ニ限リ賠償金ヲ返還シテ託送手荷物又ハ運送品ノ引渡ヲ受ケルコトヲ得

第十八條ノ二 第三條、第六條乃至第十三條、第十四條、第十五條及第十八條ノ規定ハ鐵道ト通シ運送ヲ爲ス場合ニ於ケル船舶、軌道、自動車又ハ索道ニ依ル運送ニ付之ヲ準用ス

第十八條ノ三 鐵道ト船舶ト通シ運送ヲ爲ス場合ノ運送ニ付テハ請求ニ因リ荷送人ハ全運送ニ對シ運送狀ヲ交付スルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テハ荷送人ノ請求ニ因リ全運送ニ對シ、貨物引換證ヲ交付スルコトヲ要ス

前二項ノ運送狀又ハ貨物引換證ニ付テハ鐵道運送ニ於ケル運送狀又ハ貨物引換證ニ關スル規定ヲ準用ス

第十八條ノ四 前二條ノ規定ノ適用ヲ受クヘキ船舶ニ依ル運送ハ其ノ運送ノ狀態ニ於テ鐵道運送ニ附屬シタルモノニ限リ其ノ航路及之カ運送業者ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十七條 削除

第三十條 託送手荷物又ハ運送品ノ種類又ハ性質ヲ詐稱シタル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス記名乗車券ヲ買求ムル際氏名ヲ詐稱シタル者亦同シ

第四十三條 削除

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔國務大臣小川平吉君演壇ニ登ル〕

○國務大臣（小川平吉君） 地方鐵道法中改正法律案並ニ軌道法中改正法律案ノ提出ノ理由ヲ説明イタシマス、地方鐵道法ハ大正八年ニ實施セラレマシタガ、其後ノ實績ニ鑑ミマシテ一部改正ヲ爲スノ必要ヲ認メマシタノデゴザイマス、其改正ノ要點ハ四ツデゴザイマシテ、第一點ハ特殊ノ地方鐵道ニ對シ

テ軌間ノ制限ヲ緩和イタシマスルコトデゴザイマス、第三點ハ地方鐵道會社ニ對シテ後配株ノ發行ヲ認メマシタコトデゴザイマス、是ハ優先株ニ反対ノ後ニ配當ヲ致シマスルノデ、後配株ト名ヲ付ケマシタノデアリマス、第三ハ事務簡捷ノ趣旨ニ基キマシテ、私設鐵道會社ヨリ認可ノ事項ヲ削減ヲ致シタ、第四ハ買收補償ニ關スル規定ヲ少シ改廢ヲ致シマシタ、又軌道法中改正法律案ハ前述ノ地方鐵道法中改正ニ伴ヒマシテ、軌道法ニ於テモ同様ノ改正ヲ致シタイト考ヘテ居ルノデゴザイマス、何卒御審議上ノ御協賛ヲ與ヘラレムコトヲ希望イタシマス、次ニ鐵道營業法中改正法律案ニ付テ説明ヲ申上ダマス、現行ノ鐵道營業法ハ明治三十三年ノ制定ニ係リマシテ、爾來約三十年間ヲ經過イタシテ居リマス、其間、一方ニハ鐵道其他ノ交通機關ガ長足ノ進歩ヲ遂ゲマシテ、他方ニ又之ヲ利用スル社會經濟ノ方面ニ付キマシテモ著シク發達イタシテ參リマシタ爲ニ、同法ハ今日ノ狀態ニ適合シナイ嫌ガアリマスルノデ、今回其中ノ一部分ノ改正ヲ施スノ必要ヲ認メマシテ、此法案ヲ提出イタシマシタ次第デゴザイマス、而シテ其主要ナル點ヲ大略申上ダマスト、先ヅ損害ノ要價額ノ表示ノ制度ヲ設ケマシテ商取引ノ實際ニ適合セシメマスルト共ニ、損害賠償ヲ迅速簡單ニ處理セシムルノ方法ヲ講ジマシタノガ第一デアリマス、次ニハ又貨物引渡ノ期間ヲ定メマシテ、鐵道輸送ノ期間ヲ保證シマスルト同時ニ、延著等ノ場合ニ於ケル損害賠償ノ關係ヲ明確ニ致シマシタ、更ニ又鐵道ト他ノ運送機關トノ連絡運送ヲ圓滑ナラシメマシテ、殊ニ鐵道ト船舶ノ間ニ別々ニナツテ居リマシタ所ノ此運送ニ對シ、一ノ貨物引換證ヲ發行シテ輸送ノ便利ヲ圖リタイト云フコトデゴザイマス、大體右様ナ點ニ於テ改正ヲ施シタイト考ヘテ居ルノデアリマス、何卒御審議ノ上御協賛ヲ與ヘラレムコトヲ希望イタシマス、非訟事件手續法ノコトニ付キマシテハ只今司法大臣ヨリ御説明申上ダマス

〔國務大臣原嘉道君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(原嘉道君) 日程第八ノ非訟事件手續法中改正法律案提案ノ理由ヲ御説明申上ダマス、只今日程第六、第七トシテ上ボッテ居リマスル地方鐵道法中改正法律案及軌道法中改正法律案ニ於キマシテ、地方鐵道會社及軌道會社ガ一定ノ條件ノ下ニ後配株ヲ發行スルコトニ許ヌコトニナツテ居リマス、併シ此後配株ヲ發行イタシマシタ場合ニ於キマシテ、定款又ハ株式申込書ニ記載サレタ事項ニ付テ、殊ニ後配株主ノ不利益ナル變更ヲ爲サント致シマスル

時ニハ、後配株主ノ總會ノ決議ヲ經ルコトニナツテ居リマスガ、已ムヲ得ザル理由ガアリマスル場合ニハ、其變更ハ同株主總會ノ決議ヲ經ルコトナク、裁判所ノ許可アルヲ以テ足ルト云フコトニナシテ居リマス、之ガ爲ニ、裁判所ニ於ケル是ガ申請手續キニ關シテ規定ヲ設クル必要ガアリマシタ爲ニ、本案ヲ提出イタシマシタ次第デアリマス、何卒御協賛アラムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 日程第六ニ青木君ノ質疑ノ通告ガゴザイマスカラ、同君ニ發言ヲ許シマス

〔青木周三君演壇ニ登ル〕

○青木周三君 只今上程セラレマシタ地方鐵道法ノ改正法律案ハ、是ハ多年鐵道業者ガ要望シテ居ツタ點ヲ取入レテ提出セラレタモノデアリマシテ、是ハ數年前ヨリ屢々鐵道省ニ於テ立案セラレテ、帝國議會ニ提出セントシマシタケレドモ、或ハ會期ガ切迫スルトカ、或ハ他ノ省トノ協定ガ出來ナイ爲ニ、遂ニ其運ビニ至ラナイノデ、今回初メテ本院マデ出テ來ルト云フヤウナ程度ニ運ンデ行ッタコトハ、私共頗ル喜ブ所デゴザイマスルガ、此處ニ改正セラレル所ノ主要ナ點ハ、只今鐵道大臣ガ述ベラレタ通リニ、主トシテ買收及補償ニ關シテ色々從來ノ法律ノ缺點ヲ補フテ行ッタモノデアリマシテ、或ハ從來カラ段々ニ成績ノ良クナリツ、アル所ノ會社ヲ強制買收ヲスル、サウ云フ爲ニ單純ニ過去三年間ノ利益ヲ標準トシテ、買收價格ヲ決定スルト云フコトニスルト云フコトハ、折角利益ノ上ラントシテ居ル所ノ會社ヲ、過去ノ成績ニ依テ買收價格ヲ決定スルト云フヤウナコトニナレバ、甚シク會社ノ利益ヲ損スルト云フヤウナ點ヲ救濟スルトカ、或ハ色々ナ弊ガアリマス、斯ウ云フ風ナ關係カラシテ、是ガ買收價格ヲ決定スル爲ニ非常ニ差異ヲ生ズルノデアリマス、然ルニ政府ハ今度十四會社ノ鐵道ヲ買收スル所ノ法律案ヲ出サレマシテ、其方ガ一週間若クハ十日以上モ早ク議會ニ提出セラレテ、サウンシテ衆議院ニ於テハソレガ審議ヲシテ居ル途中ニ、突然トシテ此法律案ガ出マシタ爲ニ、衆議院ニ於テハ頗ル驚愕感ジタノデアリマス、斯ノ如キ鐵道ヲ買收スルコトヲ審議シツ、アル時ニ、突然トシテ其買收價格ガ二百万圓トカ三百万圓トカノ增加ヲ來ス所ノ法律案ガ後カラ出テ來ルト云フコトニ付テ、衆議院ニ於テハ頗ル驚キト疑惑ヲ感ジタノデアリマス、ソレニ對シテ政府ガ説明セラレル所

ヲ聞キマスレバ、是ハ司法省ニモ關係シ、大藏省ニモ關係シ、色々ノ省ニ關係スル爲ニ、買收ニ關スル公債ノ發行法律案ノヤウナ簡單ナモノデナイ爲ニ、提出ガ遲レタノデアルト云フコトヲ辯明セラレテ居リマス、ソレハ其通りデアラウト思ッテ居ルノデアリマスルケレドモ、併ナガラソレハ了承スルト云フダケデアリマシテ、全體ソレハ政府ノ部内ノ關係デアリマス、大藏省ニ關係シ、法制局ニ關係シ、司法省ニ關係スルト云フコトハ法律ノ性質上數年前カラ明カナコトデアリマシテ、尙ホ此法律案ハ前ニモ申シマシタ通リニ、屢々鐵道省ニ於テ立案セラレタモノデアリマシテ、今度提出セラレタモノヲ拜見イタシマシテモ大ナル變化ハナイノデアリマス、然ルニ斯ウ云フモノガ買收ニ關スル法律案ト非常ニ遲レテ提出セラレタト云フコトハ何トシテモ政府ノ責任ヲ免レナイデアラウト思フノデアリマス、デ私共ハソレニ疑惑モ感ジマセヌガ、驚キモ感ジマセヌガ、併ナガラ私共ガ一員トナツテ居リマス所ノ敷設法改正法律案ノ特別委員會ニ於テ、十四鐵道ノ買收ノ案ヲ議スルニ當ツテ、少カラズ是ガ遲レル爲ニ不便ヲ感ジタコトハ少カラザルモノデアルノデアリマスル、是ガ爲ニ審議ガ遲レルト云フコトハ、ドウシテモ政府ガ其責任ヲ取ラナクチヤナラヌコトダト私ハ思ッテ居ルノデアリマスル、此點ハ私共ガ疑惑ヤ誤解ハ致シマセヌケレドモガ、何故モウ少シ早ク此政府部内ノ議ヲ纏メラレテ、殊ニ有力ナル鐵道大臣ヲ持ツテ居ル所ノ此内閣ニ於キマシテ、何故ニ斯様ニ遲レテ此法律ヲ出サレタカト云フコトヲ、一應鐵道大臣ニ伺ヒタイト思フノデアリマスル、ソレカラ小サナ事デアリマスルケレドモガ、此法律案ノ中ニ事務簡捷ノ爲ト云フテ、鐵道會社ガ兼業ヲスルコトヲ……主務大臣ノ認可ヲ受ケナケレバ他ノ事業ヲ營ムコトガ出來ナイト云フ規定ガ削ッテアリマスルガ、是ハ事務ノ簡捷ト云フ性質ノモノデハナイヤウニ考ヘルノデアリマス、此點ハ司法大臣ニ一應伺ヒタイト思フノデアリマスル、小サナ點デアリマスルカラシテ、委員會デ伺ッテモ然ルベキデアリマスルガ、委員會ニ司法大臣ノ御出席ヲ煩スト云フコトモ億劫デアリマスルカラ、幸ヒ此席ニオ出デニナリマスルカラ伺ヒタイノデアリマスルガ、地方鐵道會社ト云フモノハ、色々ノ特典ヲ受ケテ居ルノデアリマシテハ、會社ノ設立ノ爲ニ拂込ハ十分ノ一ノ拂込ヲスレバ會社ハ設立スルコトガ出來ル、或ハ四分ノ一ノ拂込ガ

アレバ社債ヲ募集スルコトガ出來ルノデアリマス、種々様ノ商法ニ對スル例外ガアリマシテ、特典ガアルノデアル、其特典ガアルノニ兼業ヲスルト云フ時ニ何等ノ制限ナシニ、兼業スルト云フコトハ、例ヘバ鐵道ガ「ホテル」ヲ營ムト云フ場合ニ、鐵道會社ガ「ホテル」ヲ營メバ「ホテル」ノ株式ノ拂込ハ十分ノ一デ濟ムケレドモ、「ホテル」會社ガスレバ、株式ハ四分ノ一ノ拂込ヲシナケレバナラヌト云フ、斯ウ云フ風ナコトニナルノデアリマスカラシテ、ドウシテモ兼業ト云フモノハ單ニ事務簡捷ノ爲ニ、之ヲ削ルトカ削ラヌトカ云フ性質ノモノデナクシテ、主務大臣ガ是ハ世間ノ信用上差支ガナイトカアルトカ、サウ云フコトヲ審査シタ上デ兼業ヲ許可スベキモノデアル、是ハ軌道法ノ規定ニ無イト云フコトガ理由ニナツテ居リマスルケレドモガ、軌道法ニ無カツタコトハ私ハ其當時局ニ當ツテ居リマセヌカラ知リマセヌケレドモガ、軌道法ト云フモノハ、モト軌道條例ト云フテ、極ク簡単ナ法律ガアッタノデアリマス、其法律ノ中ニハ勿論今申シマシタ通リナ、地方鐵道ニ與ヘタ所ノ特典ト云フヤウナモノハ、軌道會社ニ與ヘテナカツタノデアル、ソレハ不便デアルカラ、鐵道ト同ジヤウナ性質ノモノデアルカラ軌道會社ニ對シテモ、鐵道ノ拂込ハ十分ノ一デ宜イトカ或ハ社債ノ發行ニ對スル特典トカ云フヤウナモノガ與ヘテアル、ソレヲ與ヘル時ニ此兼業ヲ認可ヲスベキコトヲ落シタノデヤナリカ知ラヌト思フノデアリマス、此點ハ能ク調ベタ上デ伺ハウト思ヒマヌノデ、甚ダ不調ベナコトヲ伺ッテ相濟ミマセヌケレドモガ、司法省デ御調ベニナツタコトガアルナラバ其點ヲ伺ヒタイノデアリマス、現ニ今回買收セムトスル所ノ新潟臨港鐵道株式會社ノ如キハ鐵道ノ哩數ハ二哩半デアリマス、サウシテ鐵道ノ建設費ハ僅ニ八十萬圓バカリデアリマスケレドモガ、會社ノ資本金ハ二百万圓全額ノ拂込デアリマシテ、其上ニ二百万圓ノ借入金ヲシテ、サウシテ二百數十万圓ノ兼業ヲ營ンデ居ルノデアリマス、斯様ナコトハ是ハ株式ハ全額拂込ンデアリマスルカラシテ仔細ハアリマセヌケレドモガ、斯様ナ大キナ兼業ヲ營ム所ノ地方鐵道會社ガアルノデアリマス、然ルニ之ヲ會社ノ仕事ニ委スト云フコトハ、何トナク商法ノ例外トシテ、餘リニ大キナ例外デ、又不必要ナ例外ノヤウニ考ヘルノデアリマスルガ、司法大臣ノ御意見ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、以上ハ地方鐵道法ニ關スル所ノ直接ニ關係ノ

アル所ノコトヲ、鐵道大臣、司法大臣ニ伺ヒマシタノデアリマスルガ、次ニ大藏大臣ニ少シバカリ伺ヒタイコトガアルノデアリマス、ソレハ交付公債ノ問題デアリマスル、交付公債ト申シマスルノハ現金ニ代ヘテ公債ヲ發行スルノスル所ノ山口縣營軌道ニ對スル所ノ辨償金ニ代ヘテ公債ヲ出ストカ、或ハ鐵道買收ヲスル際ニ、株券ノ代リニ……鐵道ヲ買收スル代金ノ代リニ、公債ヲ發行シテ渡スト云フヤウナ公債デアリマスルガ、此公債ガ非常ナ勢デ増加シテ來ル所ノ傾向ヲ示シテ居ル、是ハ昨日江木君カラモ伺ハレタコトデアリマスルガ、唯單純ニ段々殖エテ來ルト云フ意味デナシニ、現内閣ノ執ラレル所ノ政策ニ依ッテ、政策上此公債ガ非常ニ殖エテ來ル、斯ウ云フコトヲ近頃ニナツテ氣付キマシタカラシテ、此交付公債ニ關スル所ノ大藏大臣ノ政策ヲ伺ヒタイノデアリマスル、私ハ先達テ兩稅委讓ノ法律案ガ上程セラレタ際ニ、主トシテ此公債政策ニ關シテ質問ヲ致シマシタノデアリマスケレドモガ、大藏大臣ノ答辯ハ稍、公債政策ニ關シテ抱懷セラレル所ノ意見ガ、現在ヤッテ居ル所トハ多少矛盾スル所ガアルノデアルガ、ソレハ兩稅委讓ト云フヤウナ大切ナ大キナ仕事ガアル爲ニ公債政策ノ方へハ手ガ廻ラナカッタノデアルト云フヤウナ御説明ヲセラレテ居ル、又減債基金ノ繰入レ……鐵道ノ減債基金ノ繰入レノ如キハ公債政策ト云フヨリハ、寧ロ鐵道大臣以下ノ鐵道ノ官僚ガ、國家ノ經濟ヲ度外視シテ、自分ノ技術上ノ功名心ヲ満足セシメムガ爲ニ、不急不要ノ仕事ヲスルノ防歟スル爲ノ制度デアル、ト云フヤウナ答辯ヲセラレマシタ、鐵道大臣ト隣合セニ坐ツテ、鐵道大臣ヲ目ノアタリ罵ッタト云フコトヲ、或ハ痛快ニ感ズル人ガアルカモ知レマセヌガ、鐵道ノ二十万ノ同僚ガ營々孜々トシテ國家ヲ念トシテ勤イテ居ルノニ、其長官ガ目ノアタリ自分及同僚ニ是程ノ侮辱ヲ加ヘラレテ、一言ノ辯解モゼズニ、黙過セラル、ト云フコトハ、私共遂ニ二年前ノ同僚ノ爲ニ痛憤ニ堪ヘナイノデアリマスル、併シ是ハ現在ノ長官ガ満足シテ居ラレルコトデアリマスルカラ、私共ハ彼此語言フテモ仕方ノナイコトデアリマス、此政黨政治ガ官僚政治ヲ倒シタ餘勢ガ、官僚ヲ墮落サシテ、官僚ハ喪家ノ狗ノ如ク政黨政治ニ驅使セラレテ居ルト云フコトハ、是ハ誠ニ私共政黨政治ヲ呪フ者デハアリマセヌケレドモガ、嚴格自尊心ノアル所ノ官僚ガ内ニアツテコソ政黨政治ト云フモノハ完全ニ行ハレルノデアル、斯ノ如ク閑僚ガ官僚ニ對シテ、此壇上デ以テ罵詈ヲ加ヘルト

云フコトハ、ソレデモマダ黙ッテ居ラナクチャナラヌト云フコトハ、國家ノ將來ニ對シテ私共憂ヲ抱イテ居ルモノデアル、併ナガラ只今ハ此官僚侮辱問題ニ對シテ議論ヲスルノデハアリマセヌデ、又減債基金トシテ繰入レタ所ノ千八百万圓ソコノノ金ガ、果シテ年額歲入歲出ヲ合計シテ十二億ト云フ鐵道ノ會計ニ、ドレ程ノ利キ目ガアルカト云フコトモ甚ダ疑ヒナキヲ得ナイノデアリマスガ、併シ今此公募公債ガ八千万圓、交付公債ガ五千万圓、是ガ此年度ノ昭和四年度ダケデ八千万圓ト五千万圓、合計一億三千万圓ニ對シテ、僅カニ二千万圓足ラズノ減債基金ヲ入レルト云フノデアリマスカラ、其差引昭ルノデアリマス、サウ云フ風ニナリマシテ、其爲ニ此兩稅委讓ノ財源ヲ拵ヘテ、官僚ハ唯叱ラレ損ニナツタダケデテリマシテ、公債政策トシテハ何等ノ利キ目モナイ、唯サウ云フコトヲシテ官僚ガ叱ラレ損ニナツタト云フ結果ヲ生ジテ居ルノデアリマス、併ナガラ私ハ今日此鐵道大臣ノ不信任論ノ清算ヲスル考デハアリマセヌ、ソレハ他日相當ノ機會ガアリマスカラシテ其時ニ伺フノノ政策ガナクチヤナラヌト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス、此現内閣ハ出來テカラシテ、鐵道政策ニ關シテ、ニツノ非常ナル處ノ變化ヲ發見スルノデアリマスガ、今日ハ其交付公債ト云フモノニ關スル所ノ大藏大臣ニ何等カアリマス、是ハ明カニハッキリ從來ノ傳統ヲ破ッタ處ノニツノモノガアルノデアリマス、其ニツハ私設鐵道ノ買收ノ方針ト、モウ一ツハ私設鐵道ノ免許ノ方針ト此ニツガ此交付公債ニ非常ニ關係ノアルコトデアリマシテ、サウシテソレガ而モ從來ノ傳統ヲ明カニ破ッタ所ノヤリ方デアリ、政策デアルノデアリマス、是ハ實ハ交付公債ニ關シテハ、私設鐵道ノ買收ノ方針ト、私設鐵道免許ノ方針ト云フモノハ、交付公債ニ關スル限りハ同ジテアリマスケレドモガ、ソレガ而モ從來ノ傳統ヲ明カニ破ッタ所ノヤリ方デアリ、政策デアルノデアリマス、是ハ實ハ交付公債ニ關スルカラシテニツニ分ケテ、私ノ交付公債ニ關スル所ノ質問ノ趣旨ヲ申上ゲタイト思フノデアリマス、私ハ先日ノ本會議ニ鐵道大臣ニ向テ、私設鐵道買收ノ方針竝ニ標準ヲ示サレムコトヲ求メタノデアリマスケレドモガ、方針ニ關シテハ稍明瞭ニ説明セラレマシタケレドモガ、標準ト云フモノニ對シテハ、ハツキリシタ御答辯ガナイノデアル、方針ガ即チ標準デアルト云フヤウナ御説明ニ過ギナカッタノデアリマス、ソレデ委員會等ニ於テ屢々對シテ御答辯ガナイノデアル、大ナル價質疑應答ヲ重ネマシタ結果、私ガ此標準ヲ知ラムト欲シタコトハ、大ナル價

值ノナカッタコトヲ悟ッタノデアリマス、鐵道大臣ノ買收ノ御方針ハ、言葉ヲ換ヘテ申シマスルト云フト、地方鐵道ノ有ラム限リヲ買收スルト云フノガ御方針ノヤウデアリマス、從テ此現在ノ地方鐵道ト云フモノハ、全部國有ニシナクチヤナラヌモノデアルト云フ所ノ大方針カラ出發シテ、悉ク地方鐵道ヲ買收スルト云フノガ大體ノ御方針デアルヤウニ伺ッタノデアリマス、サウナリマスルト云フト、甲ノ鐵道ト乙ノ鐵道ヲ選ブ所ノ標準ト云フモノハ大ナル價値ハナイノデアリマス、從テ何デ以テ此地方鐵道ノ買收ト云フモノヲ決メルカト云フコトニナルト云フト、サウ云フ方針ニナリマスルト、交付公債、サウシテ其鐵道ノ分布、何處ニ……北海道ニ一ツトカ、九州ニ一ツトカ、信州ニ一ツトカ云フヤウニ、分布ト交付公債、此二ツノモノガ此鐵道大臣ノ買收ノ方針ヲ制限スル所ノ標準ニナルノデアリマス、デアリマスカラシテ茲ニ交付公債ノ御方針ヲ大藏大臣ニ伺ッテ置カナクチヤナラヌト云フ必要ヲ生ズルノハ其所以デアリマス、鐵道大臣ハソレニ附加ヘテ鐵道省ノ懷口合ヒデアルスケレドモ、是ハ鐵道大臣モ大ナル值打ヲ置イテオ出デニナラヌヤウナ様子デアリマスケレドモ、是ハ全ク大ナル制限デナイノデアリマス、其事ハ後ニ申上ゲル機會ガアラウト思フノデアリマス、從來ノ傳統、是ハ西園寺内閣ノ時ニ鐵道國有法ヲ出サレタ時以來ノ傳統デアリマシテ、地方交通ヲ目的トル所ノ小サナ鐵道ハ、是ハ實ハ小運送ニ類スルモノデアッテ、或ハ荷馬車トカ、今カラ申シマスレバ自動車デアルトカ云フモノ、代リヲスル所ノ交通デアルカラシテ、是ハ私營ニ委シテ置イテモ差支ナイ、國家ノ幹線トナルベキモノハ國家ガ所有經營スルト云フ所ノ主義デアッタノデアリマス、地方交通ノ目的ノモノガ初メハ地方交通ノ目的デカケタ、例ヘバ水戸鐵道ノ如キモノハ、水戸カラシテ常陸ノ山ノ方ニ行ク所ノ小サナ鐵道デアッテ、是ハ全ク地方ノ交通、今申シマシタル所ノ荷馬車デアルトカ、自動車、自動車ハ其時分ニハアリマセヌデシタケレドモ、今デ申シマスレバ自動車ト云フヤウナモノノ代リニナル所ノ小運送ノ發達シタモノトシテ、地方交通トシテ許サレテ居ッタ所ノ地方鐵道デアリマシテ、ソレガ段々ニ常陸ノ方カラシテ、今申シマスル大子ノ方ニ行ク所ノ鐵道ガ完成シテ、即チ水戸鐵道ト繋ッテ、兩方ガ國有鐵道ニ挿マレテ來テ、地方交通ノ目的デナクナッテ、其上ニ鐵道省ノ幹線ガ敷カレルト云フ狀態ニ至ッタ時ニ、初メテ其鐵道ヲ買收スル、是ハ鐵道ノ性質ガ變ッテ來

タノデアルカラシテソレヲ買收スル、斯ウ云フ趣旨ニナツテ居ッタノデアリマス、ソレデアリマスルカラシテ、從來是ハ例外ノナイ所ノ傳統デアッタノデアリマス、或ハ時ノ内閣ノ都合デ色ムナ事情モアリマセウガ、必シモ斯様ナモノデナイモノヲ買收スルコトガアリマシタ、一二ノ例ハアリマシタ、ケレドモガ其内閣ハ何時デモ是ハサウ云フ所ノ理窟ニコヂツケナリデハ置カナカッタ、何等カノ理由ヲコヂツケテ只今申シマスル通リノ傳統ニ引付ケテ、何等カノコヂツケノ理由ヲ付ケテ買收ヲシテ居ッタノデアリマス、然ルニ現在ノ内閣ニ於キマシテハ其コヂツケルコトハ御止メニナツテ、地方鐵道ト云フモノハ、地方ノ開發ヲ目的トスルノデアッテ、運賃ガ高イシ、又運轉ノ方法モ良クナイ、デアリマスカラ是ハ地方デハ是非國有鐵道トシテ買收ヲシテ欲シイ、サウシナケレバ地方ノ開發ガ出來ヌ、斯ウ云ウ意味デ以テ買收ヲセラレルノデアリマシテ、結局サウ致シマスルト地方鐵道デ運賃ノ安イ、設備ノ良イト云フノハナイノデアリマス、デアリマスカラシテ此地方ノ利己的 requirementsヲ取入レテ何等ノ制限モナクシテ買收ヲサレルト云フコトニナリマスト云フト、地方鐵道ノ存在スル限り之ヲ買收シナクチヤナラヌト云フ主義デアリマス、デサウ云フ主義デアリマスカルラシテ、私共ハ其主義デアリマスルト云フト、中今出サレタ所ノ十四位ノ鐵道デハ治マルマイガ、ドウ云フ風ニシテ買收セラレルノカト云フコトヲ伺ヒマシタ所ガ、段々速記ヲ止メタ所ノ懇談會ニ於テ伺ヒマシタ所ノ鐵道ト致シマシテモ、其哩數ガ……鐵道ノ名前ヲ悉ク伺ヒマシタノデアリマスルケレドモガ、是ハ世間ニ發表スルコトヲ憚リマスルカラ申上ゲマセヌケレドモガ、其哩數ガ六百八十哩モアリマス、之ヲザット私ガ勘定シマシテ見テモ、二億万圓以上ノ交付公債ガ要ルノデアリマス、左様ニナリマスルト云フト、是ハ何トシテモ、此現内閣ノ方針トシテ斯ウ云フ方針ヲ執ラレル以上ハ、今年ハ僅ニ五千万圓デアリマスルケレドモガ、明年モ亦五千万圓トカ或ハ八千万圓トカ、再來年モト云フヤウニナリマシテ、二億數千万圓餘ノモノト云フモノハ、此内閣ノ續ク限リハ買收セラレルコトデアラウト思フノデアリマス、ソレノミナラズ、茲ニ伺ヒマシタ所ノ鐵道ト云フモノハ、此懇談會ノ席デ伺ヒマシタ所ノ鐵道ハ、中ニハ今回提出セラレルコトデアラルノデアリマスルカラ、尙更是ハ明年度、或ハ明々年度ニハ、此内閣ニ於テ十四ノ鐵道ヨリハ、我ムガ見テモ先キニ買收シナクチヤナラヌ所ノ鐵道ガアラ必ズヤ買收セラレルデアリマセウ、其上ニ尙ホ今ノ鐵道大臣ノ主義ヲ押

シテ行キマスルト云フト、左様ナ我ムガ見テモ明カナルモノデナクッテモ、モツト澤山ノ鐵道ヲ買收シナケレバ、此主義政策ヲ貫クコトガ出來ナイノデス、デアリマスルカラシテドウシテモ、此現内閣ノ政策……此鐵道政策ヲ御行ヒニナル爲ニハ、ドウシテモ此交付公債ニ關スル所ノ何等カノ主義政策、或ハ計畫ト云フモノガナクチヤナラヌノデアリマス、鐵道大臣ハ、先程モ申シマシタ通リニ左様ナ分布トカ、或ハ交付公債ノ額トカ云フヤウナモノノ外ニ、尙ホ國防デアルトカ、鐵道ノ懷ロ合トカ云フヤウナモノヲモ考ヘテ決スルヤウニ仰シヤリマスルケレドモガ、國防ナント云フヤウナコトヲ仰シヤルノハ何ノ意味デ言ハレルノカ私共ハ了解ニ苦シムノデアリマス、現在アル所ノ鐵道ガ私設鐵道デアリマシテ、國防上私設鐵道デアツテハ妨ゲニナルト云フヤウナコトハ、現在ノ時代ニ、現在ノ國內ニ於テハ考ヘラレナイコトデアリマス、成程明治三十九年頃ニハ、鐵道株ガ外國人ニ買ハレテ、鐵道會社ガ外國人ノ手ニ依ツテ支配セラレルヤウナコトガアツテハ國防上由々シイ所ノ大事デアルト云フヤウナコトヲ杞憂セラレタコトガアリマスル、其當時ニ於テハ尤モデアリマスルケレドモガ、現在ニ於テソソナ心配ヲスルヤウナ人ハ恐ラクハ此世ノ中ニ一人モアリマスマイト思フノデアリマス、鐵道大臣ガ何デ此國防ト云フコトヲ言ハレルカト云フコトヲ伺ツテ見マスルト云フト、博多灣鐵道會社ガ海軍ノ國有炭礦カラ出ル所ノ炭ヲ運ブカラシテ、是ガ國防上私設鐵道會社デアツテハ困ルト云フヤウナコトヲ仰シヤッタコトガアルノデアリマス、恐ラクハ其外ニハ國防ニ關係スルモノハ、今度ノ買收ノ中ニハアルマイト思フノデアリマスルガ、博多灣鐵道ガ海軍ノ炭ヲ運ンデ居ルコトハモウ十數年以來ノ事デアリマシテ、其間ニ戰爭モアリマシタシ、何等ノ差支ガナカッタノデアリマスル、殊ニ現在ノ軍艦ノ如キハ皆油ヲ焚イテ居ツテ、石炭ハ重要ナル艦船ニハ使ツテ居ラヌノデアリマス、サウ云フ所ノ石炭ヲ運ブカラシテ是ガ國防上ニ必要デアルト云フヤウナコトヲ仰シヤルコトハ、誠ニ子供騙シノコトデアリマス、若シ果シテ國防上何等カ國家ノ一大事ノ時ニ、博多灣鐵道ガ炭ヲ運ブコトニ付テ愚圖々スルト云フコトガアツタナラバ、其時コソ腕ヲ捺チ上ゲテ取上ゲラレタ所ガ一向差支ノナイコトデアリマス、左様ナコトヲ今頃此買收ニ附加ヘテ言ハレルト云フコトハ、鬼面人ヲ嚇スト云フヤウナ言葉ガアリマスケレドモ、面ヲ被ル程ノコトデナクテ、丸デ竹ノ先ニ下手ナ幽靈ノ繪ヲ懸ケテ、ソレデオ化ケガ出タト言ツテ嚇ス位ノ利目ニモナラナイト思ツテ居ルノ

デアリマス、又鐵道ノ懷ロ合ト云フヤウナコトヲ言ハレマスルケレドモガ、現在ノ鐵道ヲ買收スル今度出サレタモノデモ、建設費……株券ガ二十五圓トカ三十圓ニ下ツタ所ノ鐵道會社ヲ五十圓現金デ拂フ、五十圓券面額デ公債ヲ渡スノデナクテ、現金デ五十圓拂フ、其三十五圓トカ二十圓ノ株ニ對シ現金デ五十圓拂フト云フ様ニ、法律ヲ改正セラレテ、サウシテ買收ヲセラレルノデアリマスル、サウ云フノガ、何デ鐵道ノ懷ロ合ニナリマセウ、左様ナコトハ誠ニ皆大シタ取留メタ理由トナルモノデナクテ、實ハ唯此鐵道大臣ノ買收ノ理由ト云フモノハ、先程カラ申シマスル通リニ全部ノ運貨ノ高イ、設備ノ惡イ所ノ私設鐵道ハ全部買收スルト、斯ウ云フ主義デアルコトハ鐵道大臣自カラモ言ハレルシ、我ムガ屢々伺ツタ所ニ依ツテ見テモ、何等ノ差異ガナイ、ソレデ又鐵道大臣ハ、之ヲ制限スルモノハ交付公債、本年度ハ五千万圓財政當局ハ奮發シテ吳レタカラ是ダケノ鐵道ヲ買ツタノデアル、斯ウ言ハレルノデアリマスルカラシテ、此交付公債ノ發行金額トソレカラ分布、即チ北海道ニ一ツトカ長野ニ一ツトカ云フヤウナ分布ノ外ニハ、何等ノ之ヲ制限スルモノハナイノデアリマス、其分布ノコトニ付テ私共ガ委員會ニ於テ、北海道鐵道ノヤウナ全ク地方鐵道デアツテモ而モ利益ノ率モ一分ニモ廻ラヌ所ノ鐵道ヲ何故御買ヒニナリマスカト云フ理由ヲ質シマスルト云フト、是ハ運貨ガ高クテ設備ガ惡クテ北海道ノ開發ニナラヌ、斯ウ言ハレル、サウ云フモノハ澤山アルデヤナイカト云フテ質問イタシマスルト、五千万圓ノ範圍デ分布ヲ考ヘテ見ルト云フト北海道ニハ外ニ買フ鐵道ガナイカラ此鐵道ヲ買フノダ、斯ウ云フ風ニ説明セラレルノデアリマス、サウ致シマスト云フト、全ク此鐵道買收ノ制限ヲスル所ノモノハ分布ト交付公債デアリマス、其ニツノ外ニハナイノデアリマス、併シ分布ト云フモノハ是ハ全ク地理的ノ關係デアリマスカラシテ、是ハサウ大シタ問題ニハナラナイ、結局交付公債ト金額ト云フモノガ問題ニナツテ、我ムガ將來此内閣ノ鐵道政策ニ關シテ何等カノ審議ヲシ、何等カノ批評ヲシ、何等カノ監督……ト申シマスルト口幅ツタイケレドモガ、議員トシテ行政監督ヲシャウト云フノニハ、此交付公債ト云フノニハ、此交付公債ト云フモノヲ如何ニシテドレ位ノ範圍デ以テ御出シニナル御積リデアリマスカ、今ラシ、何等カノ監督……ト申シマスルト云フコトガハツキリ致シテ居リマスルケレドモガ、議員トシテ行

アリマス、私共デサへ此如何ナル鐵道ヲ將來買收爲サル御積リデゴザイマス
カト云フコトヲ伺ッタ時ニモ、名前ヲ舉ゲテ伺ッタノデアリマス、デアリマスカラシテ大藏大臣ハ我ヨリモット立入ッテ御相談ヲ御受ケニナッタコトデアラウト思フノデアリマス、ソレノ中カラシテ五千万圓ト云フ金額ヲ御定メニナッタコトハ、ドウシテモ何等カノ將來ノ計畫ガナクチヤナラヌト私ハ考ヘルノデアリマス、デソレニ付テ私ハ其御政策ヲ伺ヒタイノデアリマスル、ソレデ交付公債ハ、只今申シマスル通リニ補償ニヤルトカ、買收會社ノ株券ニ換ヘテ交付公債ヲ發行スルト云フヤウナモノデアリマスルカラシテ、事實此金融市場ニ直接ノ壓迫ヲ加ヘルコトハナイノデアリマス、頗ル容易デアルノデアリマスルケレドモガ、其容易ニ發行ガ出來ルト云フ所ニ、非常ナ問題ガ潛ンデ居ルト思フノデアリマス、近來ハ今申シマスル通リニ、此豫算ニ掲ゲテアル所ノ鐵道……豫算ニ掲ゲテ新線ニ當ツテ居ル所ノ、既ニ買收ヲシナクチヤナラヌト云フコトガ明カニナッテ居ル所ノ鐵道ガ、マダ買收ニ……明年度ニ御出シニナッタ中ニモマダ買收ニナッテ居ナイモノガ澤山アルノデアリマスルカラ、何トシテモ此數年ニ亘ル所ノ公債計畫ガナクチヤナラヌ、其コトハ私共鐵道大臣ニ伺ヒマシタ、伺ヒマシタ所ガ、鐵道大臣ハ是ハ當局デアリマセヌ故デアリマセウケレドモガ、此點ニ付テハ明瞭ナル御答辯ガナイ、明瞭ナル御答辯ガナイバカリデヤナイ、此交付公債ノ金額ト云フモノハ、其時ニ打突ツテ初メテ定メルモノデアツテ、今年度ハ財政當局ガ非常ニ奮發ヲシテ五千万圓吳レタノデアルト、斯ウ云フ御答辯デアルノデアリマスルケレドモガ、是ハ從來ノ傳統、幹線ガ兩方カラク付イテ來テ、中ニハ其私設鐵道ノ中ノ運轉……鐵道ノ列車ガ通ツテ居ッタリ何カシテ居ル場合ニ於テモ、マダ買收ヲシナカッタノデアリマス、愈々行詰ツテ何トモ是ハ國有ニシナクチヤナラヌト云フ場合ニ至ツテ、初メテ買收シテ居ッタノデアリマスルカラシテ、其時ニ打突ツテ初メテ交付公債ノ金額ヲ幾ラニスルカト云フコトヲ定メテサヘナカッタ、所ガ今度ノハモウ既ニ現在ノ鐵道ノ、私設鐵道ノ存在ガ鐵道大臣ノ鐵道政策ニ反スルノデアリマス、理想ニ反スルノデアリマス、地方ガ高イ運賃ヲ拂ツテ行カナクチヤナラヌカラ、地方ノ交通ノ發展ニ阻害ヲ及ボスト云フノデアルカラシテ、ドウシテモ將來此鐵道ヲ全部買收シナクチヤナラナイ、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、

スカラ、此交付公債ニ關シテハドウシテモ主義方策ト云フモノヲ大藏當局ニ於テ立テ、居ラレナクチヤナラナイ、斯ウ云フコトデソレヲ伺ヒタイノデアリマス、先程ニツアルト申シマシタ一方ノ私設鐵道ノ免許ニ關スル所ノ傳統ヲ破ツタコトモ亦同ジコトナンデアリマス、從來私設鐵道ノ免許ヲ致シマスル場合ニ於テハ、是ハ雙方永久ニ其鐵道會社ガ地方ノ交通ヲ目的トシテ營業ヲスルト云フ、營業ヲサセルト云フ所ノ觀念ノ外ニハ、何モノモナカッタノデアリマス、從來ノ此私設鐵道免許ニハ、決シテソレガ將來鐵道ノ幹線ニナルト云フ考ヘハ薄ムハアツタケレドモガ、ソレヲ將來鐵道ノ幹線ニスルト云フ考ヘデ以テ、私設鐵道ニ免許ヲシタ場合ハナカッタ、唯ソレガ永久ニ私設鐵道會社ノ營業デアルト云フコトデ免許シテ居ッタ、所ガ近來現内閣ニ至ツテカラハ、此私設鐵道ノ免許ヲスル場合ニ於テ、國有鐵道ヲ敷設スル爲ニハ或ハ議會ノ障害ガアリ或ハ公債ノ募集ノ障害ガアリ、色ムノ障害ガアツテ、今年度ノ如キデモ、鐵道大臣ハ、一億万圓以上モ公債ヲ發行シテ、鐵道ヲ架ケタイノデアルケレドモガ、金融市場ノ制限ノ爲ニ八千万圓ニ制限セラレタト言ハレル如ク、ドウシテモ色ムノ制限ガアル、ソレデハ此現在ノ鐵道ガ、現在ノ日本ノ鐵道ガ發展ガ急速ニ行カヌカラシテ、國ノ營造物ヲ私設鐵道會社ヲシテ代行セシメテ、サウシテ國有鐵道ヲ延バシテ行クト云フ所ノ觀念ガ強烈ニ現レテ來タノデアリマス、例ヘバ青森縣ノ大間、大畠間ノ鐵道ノ如キ、或ハ伊勢四日市カラ阿下喜ト云フ所ニ行ク鐵道ノ如キ、是ハ帝國議會ノ協贊ヲ經テ敷設スルコトニ豫算ガ成立シテ居ッタノデアリマス、然ルニ現在ノ内閣ニ於キマシテハ、此二ツノ豫算ヲ削ツテ、サウシテ之ヲ私設鐵道會社ヘ持ツテ行ツテ免許ヲシテ、國有鐵道ノ建設ノ代行ヲセシメル政府ノ方針デアルト思ハレマス、從テ是ガ出來マスルト云フト、直ニ買收セラレルコトハ明カナルコトナシテアリマシテ、是ハ鐵道大臣モ明言シテ居ラレルノデアリマス、サウ云フ風デアリマスカラシテ、又其外ニ近來許可セラレル所ノ鐵道ニ於キマシテモ、ドウシテモ國有鐵道ニ持ツテ行カナクチヤナラヌト云フヤウナ鐵道ガアルノデアリマス、是モ恐ラクハ會社ニ明示若クハ默示ノ買收約束ハシテ居ラレマスマイケレドモガ、營業ヲスル人ハ、必ズヤ政府ガ買收シテ吳レルモンダテ考ヘテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ風ナモノガ澤山アルノデアリマスカラシテ、其上ニ持ツテ行ツテ是ハ買收セラレル時ニハ、何ボ株ガ下ツテ居ッテモ五十圓株ハ五十圓デ買收セラレルト云フコトニナリマスカラ、私設鐵道ヲヤル者

モ非常ニウマイ譯デアリマスル、是ハ先達テ私ガ質問ヲ致シマシタ時ニ、建設費五分以上ニ利益ノ廻ラナイ所ノ鐵道ヲ買收スル時ニハ、協定ニ依ッテ建設費以下デ買フベキ筈デアル、斯ウ云フコトヲ申上ゲマシタ所ガ、ソレハ法律ハサウナッテ居ルケレドモガ、實際ニ於テハソレヲ建設費以下デ賣ル人ハナイカラ、結局建設費デ買フヤウニナッテ居ルト、斯ウ云フ風ニ仰シヤル位デアリマスカラ、之ヲ經營スル人ハ頗ルウマイモノデアリマスカラ、豫定線ヲ狙テハ鐵額省ニ出願スル、鐵道省デハサウ云フ風ニ此國有鐵道ノ發展ヲ希望セラレル爲ニ、ドンヽ御許シニナルト云フヤウナ傾向ガ明カニナッテ來タノデアリマス、私ハ此鐵道大臣及ビ此鐵道大臣ヲ支持スル人ガ、セメテ此伊太利、歐羅巴ニ於テ最モ貧弱ナ鐵道ヲ有スル所ノ伊太利位マデ遮ニ無ニ日本ノ鐵道ヲ同様ノ比率マデニ建設シャウト云フ說ニハ贊成スルコトガ出來ナイモノデアリマスル、歐羅巴ハ十九世紀ノ鐵道熱ニ非常ニ毒セラレテ、頗ル今デハ窮シテ居ルノニ、我國ガソコマデ行カナクテ濟ンデ居ッタモノヲ、態其處マデ持ッテ行カウト云フノニ贊成スルコト出來マセヌケレドモガ、左様ナコトヲ今茲デ論ズルノデアリマセヌ、又五十圓拂込ノ株ガ二十圓三十圓ニナツテ居ル所ノ鐵道ヲ、五十圓ノ現金デ……現金拂デ買フト云フコトガ宜イトカ惡イトカ云フコトヲ論ズルノデアリマセヌケレドモガ、一方ニ建設費ヲ一年間八千万圓ト定メテ置イテ、尙一方ニハ私有資本ヲ以テ私設鐵道ヲ建設サシテ、ソレヲ交付公債デ買フ、斯ウ云フ政策ヲ現政府ガ政策トシテ採用シテ居ル上ハ、ドウシテモ其交付公債ト云フモノニ關スル何等カ政策ヲ設ケテ御置キニナラナケレバ、將來我ムガ實ハ何ボカノ不安ニ襲ハレテ居ルノデアリマスル、ソレデアリマスルカラシテ、此交付公債ニ付テハ大藏當局ガ抱懷セラレル所ノ政策ノ一端ヲ、此處デ御示シニナッテ置クコトガ、我ムガ此鐵道ニ關スル所謂諸法律ニ協賛ヲ與ヘル上ニ於テ非常ニ必要ナコトデアラウト思フノデアリマス、鐵道大臣ノ言ハレル通リニ、私ハ此事ニ付テ、明年度以降大藏省ノ計畫ヲ聞カナイデ御置キニナッテハ、色ムナ我慢ガ出來ルモノモアリマスレドモガ、我慢出來ナイデ、明年度カ明後年度ニ買ハナケレバナラヌモノガアルヂヤアリマセヌカ、ソレニ對シテノ政策ハドウナサルノデアルカト云フコトヲ承ッタ所ガ、ソレハ大藏當局ガサウ云フ時ニ於テハ、決シテ交付公債ノ發行ヲ拒ムモノデハナイ、唯、大藏當局ハ急激ニ交付公債ノ……急激ニ國債ノ殖エルコトヲ心配シテ、五千万圓トシタノデアルカラシテ、左様ナコト

ヲ其時ニ至ッテ拒ムコトハナイト云フヤウナ、稍岡田海軍大臣ト同ジヤウナ御答辯ヲセラレマシタケレドモガ、私共ガ此議案ニ協賛スル時ニ於テハ、左様ナコトデハ誠ニ安心シテ協賛スルコトハ出來ナイノデアリマスカラシテ、リマスカラ、之ヲ經營スル人ハ頗ルウマイモノデアリマスカラ、豫定線ヲ狙テハ鐵額省ニ出願スル、鐵道省デハサウ云フ風ニ此國有鐵道ノ發展ヲ希望セラレル爲ニ、ドンヽ御許シニナルト云フヤウナ傾向ガ明カニナッテ來タノデアリマス、私ハ此鐵道大臣及ビ此鐵道大臣ヲ支持スル人ガ、セメテ此伊太利、歐羅巴ニ於テ最モ貧弱ナ鐵道ヲ有スル所ノ伊太利位マデ遮ニ無ニ日本ノ鐵道ヲ同様ノ比率マデニ建設シャウト云フ說ニハ贊成スルコトガ出來ナイモノデアリマスル、歐羅巴ハ十九世紀ノ鐵道熱ニ非常ニ毒セラレテ、頗ル今デハ窮シテ居ルノニ、我國ガソコマデ行カナクテ濟ンデ居ッタモノヲ、態其處マデ持ッテ行カウト云フノニ贊成スルコト出來マセヌケレドモガ、左様ナコトヲ今茲デ論ズルノデアリマセヌ、又五十圓拂込ノ株ガ二十圓三十圓ニナツテ居ル所ノ鐵道ヲ、五十圓ノ現金デ……現金拂デ買フト云フコトガ宜イトカ惡イトカ云フコトヲ論ズルノデアリマセヌケレドモガ、一方ニ建設費ヲ一年間八千万圓ト定メテ置イテ、尙一方ニハ私有資本ヲ以テ私設鐵道ヲ建設サシテ、ソレヲ交付公債デ買フ、斯ウ云フ政策ヲ現政府ガ政策トシテ採用シテ居ル上ハ、ドウシテモ其交付公債ト云フモノニ關スル何等カ政策ヲ設ケテ御置キニナラナケレバ、將來我ムガ實ハ何ボカノ不安ニ襲ハレテ居ルノデアリマスル、ソレデアリマスルカラシテ、此交付公債ニ付テハ大藏當局ガ抱懷セラレル所ノ政策ノ一端ヲ、此處デ御示シニナッテ置クコトガ、我ムガ此鐵道ニ關スル所謂諸法律ニ協賛ヲ與ヘル上ニ於テ非常ニ必要ナコトデアラウト思フノデアリマス、鐵道大臣ノ言ハレル通リニ、私ハ此事ニ付テ、明年度以降大藏省ノ計畫ヲ聞カナイデ御置キニナッテハ、色ムナ我慢ガ出來ルモノモアリマスレドモガ、我慢出來ナイデ、明年度カ明後年度ニ買ハナケレバナラヌモノガアルヂヤアリマセヌカ、ソレニ對シテノ政策ハドウナサルノデアルカト云フコトヲ承ッタ所ガ、ソレハ大藏當局ガサウ云フ時ニ於テハ、決シテ交付公債ノ發行ヲ拒ムモノデハナイ、唯、大藏當局ハ急激ニ交付公債ノ……急激ニ國債ノ殖エルコトヲ心配シテ、五千万圓トシタノデアルカラシテ、左様ナコト

○國務大臣(小川平吉君) 青木サンノ御質問ニ御答イタシマス、今日ノ此地方鐵道法中改正法律案ノ議會ニ提出スル日ガ、先般御審議ヲ願ヒマシタ買收鐵道ノ法律案ヨリモ後レタノハドウ云フ譯カト云フ御尋デゴザイマシタ、之ニ付テハ青木君モ既ニ御自身ハ其理由ヲ御了承下サレタト云フコトヲ御述ベニナリマシタ、其通リデアリマス、此地方鐵道法中改正法律案ハ大藏省、司法省等ニ關係シテ居リマス爲ニ、中々鐵道當局タル我ムノ希望スル如ク早く運びマセヌノデ、私自身ガ遂ニハ法制局等ニモ嚴重ナ催促ヲ致シマシテ、漸ク議會ニ提出スルコトガ出來タト云フ次第デアリマシテ、何等此間ニ於テ此鐵道ノ法律案ノ提出ヲ態、遲ラシタトカ、又ハ怠慢ノ爲ニ遲ラシタト云フコトハナインデアリマス、此法律ハ又青木君ノ御話ニナリマス通リ多年ノ懸案デアリマス、併ナガラ確定ヲ致シマシタノハ、近頃ニ至ッテ確定イタシタノデ、私自身ガ部下ノ者ト共ニ研究シテ、近頃ニ至ッテ決定シタ點ガ、矢張リ相當ニアルノデアリマス、例ヘバ後配株ト云フヤウナ名前ニシテモ、以前ハ劣後株ト云フモノヲ使ッテ居ッタ、ソレヲ後配株ト改メルト云フコトデアッテ、矢張リ先年カラ確定イタシタモノデハナインデアリマス、近頃段々研究ヲシタ結果、今日ノ案ガ出來マシテ、サウシテ議會ガ近ヅクニ從ッテ、取ニ後レタノデモ何デモナイ、サウシテ此法ガ買收法ト關係ノアル點ハ只一点デゴザイマス、即チ此地方鐵道法ノ改正ニ依リマスト云フト、先刻青木君

ノ御述ベニナリマシタ通り、特別ノ事情ノ下ニアル買收鐵道ニ對シテ、命令ノ定ムル所ニ從ヒマシテ、幾分ノ買收價格ヲ殖ヤスト云フコトノ點デゴザイマス、是ハ皆ソレゞ法規ノ命ズル所ニ從ツテ計算ヲ立テルノデアリマス、其計算ノ標準ヲ少シ高メルコトガ出來ルト云フ風ニ、此地方鐵道法ニ依ツテ改正ヲ致シマシタノデ、ソレガ仰セノ通り買收鐵道ノ買格ニ幾分カ響ク、其價格ハ幾ラデアリマスルカト申シマスルト、買收鐵道全部、五十万圓ノ分ニ對シマシテ、今日御審議ヲ願フ新法ニ依リマスレバ約二百万圓位殖エルデアラウト云フ豫想デアリマス、是ダケノ關係デアリマスカラ、態之ヲ一週間ヤ五日議會ニ出スコトヲ遲ラスト云フコトハ、サウ云フコトハ事實ゴザイマセヌ、ノミナラズ、道理上ニ於テモ左様ナコトヲスル氣遣ヒハナイト御承知ヲ願ヒタイノデアリマス、次ニ今日ノ提案ノ地方鐵道法改正ニ依ツテ私設鐵道會社ニ於テ色ゝノ事業ヲ兼營スル場合ニ、今日マデハ鐵道省ノ認可ヲ申請シテ參ツタ其申請ヲ不必要ナリト云フヤウニ改正スルノガ本案ノ目的デアリマス、是等モ今日ノ我ガ日本帝國ノ一般國民ノ進歩又私設鐵道會社ヲ經營スル今ノ能力ト云フモノガ、十分ニ發達シテ居リマスカラ、會社自身ガ兼業ヲヤウナコトヲ、僅カノ役人ノ手デ干渉イタシマスルヨリ、寧ロ民間ノ鐵道會社ヲ經營スル人ガ全智全能ヲ傾ケテ、會社ノ爲ニ、又經濟一般ノコトヲ考ヘハ宜イトカ惡イトカ、或ハソレハ會社ノ財政ヲ危ウスルトカ、セヌトカ云フシテハ政府モ迷惑デアルシ會社モ迷惑デアラウト思フ、其結果鐵道省ノ役人ノ判斷ト云フモノハ、必シモ會社ヲ經營スル人ノ判斷ヨリ優レタ判斷ガ出來ルト云フコトハ私共想像出來マセヌ、是ハ意見ノ相違カト思ヒマス、今日ノ時勢ニ於キマシテハ斯様ナコトハ政府ハ干渉セヌ、會社自身ガ、自分ノ財產ヲ殖ヤシテ行カウト云フ最モ熱誠ヲ持ツテ判斷シ、研究ヲシテ居ルノデアリマスカラ、之ニ委セルノガ相當デアル、斯ウ云フ考ヲ以チマシテ、是ハ削除イタシマシタノデアリマス、ソレカラ續キマシテ直接關係ノナイコトデアガ、鐵道省ノ全體ノ役人ノ爲ニ御同情下サルコトハ誠ニ私ハ感謝ニ堪ヘマセス、此點ハドウカ現在並ニ將來ニ於テモ其御同情ヲ御繼續ヲ願ヒタイノデア

リマス、但シ大藏大臣ノ陳述ハ決シテ此鐵道全體ノ人ヲ罵詈、侮辱シタモノ
デハナイノデアリマス、大藏大臣ノ陳述ハ、技術方面ノ人、仕事ヲスル方面
ノ人ト云フモノハ兔角仕事ヲシタガル、動モスレバ財政ノコトヲ構ハズニヤ
リタガルカラ、多少之ヲ抑ヘナイト放漫ニ流レル、故ニ之ヲ抑ヘル必要ガア
ルト云フ風ニ御述べニナリマシタノデアリマス、私ハ決シテ此言ヲ以テ鐵道
省ノ役人ガ罵詈サレタトモ、侮辱サレタトモ思ツテ居ラヌ、併シ之ヲ罵詈ナ
リト御感ジニナル程御深切ナ、鐵道ノ役人ニ對スル此御同情ハ、私ハ誠ニ深
ク感謝イタシマス、鐵道ハ他ノ役所ト違ヒマシテ、一種獨特ノ事業ヲ經營イ
タシテ居ル所デアリマス、是等ノ役所ニ付テハ他ノ役所ト違ッテ、私ハ鐵道
ニ長ク御在デニナツタ御方ナドニ對シテハ、ドウカ今日以後モ絶エズ深甚ナ
ル同情ト援助トヲ持ツテ戴クコトガ必要デアルト考ヘルノデアリマス、故ニ
私ハ就任以來部下ノ者ニ對シテモ鐵道出身ノ先輩ニ對シテハ、總テ親愛ト
尊敬ヲ失ハヌヤウニシナケレバナラスト云フコトヲ訓示イタシマシテ、之
ニ對シテ多少ノ事實ノ上ニ現レタ事柄モアルノデアリマス、唯時々黨利黨略
ニ問題ナドガ起リマシテ、甚ダ私ト致シマシテハ恐縮デアリマシテ、此點ハ
切ニ戒メナケレバナラスト考ヘテ居リマシテ、サウ云フコトノ無イヤウニ
シ全ク特殊ノ所デアリマスカラ、鐵道界全體ノ爲ニ、是ガ發達ヲ致シテ、國
家經濟ノ上ニ役ニ立ツヤウニ致スト云フコトニ付テハ、只今御述べニナリマ
シタヤウナ御同情ヲ私ハ幾重ニモ茲ニ願ツテ置ク次第デアリマス、ソレカラ又
御話ノ中ニ、今回政府ノ提案ニ依ル買收ノ鐵道ガ非常ニ金高ガ多イト云フ御
話デアリマス、今回ハ五千万圓ダケ大藏當局ノ同意ヲ得マシタカラ、其五千
万圓ノ範圍ニ於テ鐵道省ニ於テ、澤山買收ヲ致シタイ鐵道ガゴザイマス、是
ハ鐵道大臣ノ私ガ考ヘタノデハナイ、鐵道ヲ經營スル上ニ於キマシテハ買ヒ
ケ交付公債ヲ發行イタシマス、是ハ固ヨリ我ムノ鐵道ニ對シテ殊ニ力ヲ入レ
タイ鐵道ガ澤山アリマスガ、今日マデ、財政當局ガナカク金ヲ出シテ吳レ
マセヌ、公債ヲ發行シテ吳レマセヌカラ買ヘナカッタ、幸ニ今回ハ五千万圓ダ
ルト云フ方針ニ從ツタノデアルコトハ申ス迄モナイノデアリマス、併ナガ
ラ此五千万圓ガ必シモ多イトハ私ハ考ヘテ居ラヌノデアリマス、此五千万圓
ハ昨年即チ昭和三年度ヨリ、來年度即チ昭和四年度ニ亘ツテ、二箇年間ニ
ダケノモノヲ買收スル譯ニナルノデアリマス、是ハ御承知ノ通リデアル、過

收ニナツタカ、此公債ノ發行ト云フモノヲ嚴重ニ制限ヲ致シテ、募集公債ハ一億五千万圓ヨリ外ハ募ラヌ、交付公債ト雖モ非常ニ減縮ヲスルト云フコトヲ御宣言ニナリマシタ所ノ前内閣ニ於テハ、一箇年間ニ二千五百万圓ソコソコ、二千四百何十万圓デアリマスカ、概數ヲ取レバ二千五百万圓、二千五百萬圓ノ私設鐵道ノ買收ヲ提案イタシマシテ、兩院ヲ通過イタシテ居ルコトハ御承知ノ通リデアリマス、此消極ノ方針トデモ申シマスカ、公債ノ發行ヲ絶對ニ御嫌ヒニナツタ所ノ前内閣ニ於テモ、鐵道ノ經營上必要ナリト認メラレタルニ付キテ、一箇年ニ二千五百万圓ノ私設鐵道ノ買收ヲシテ公債ノ交付ヲ致シテ居ルノデアリマス、現内閣ニ於キマシテ、昭和三年四年兩年度ヲ通ジテ五千万圓、數字ニ依ツテ比較イタシマスレバ、前内閣ト同ジ數字ニナルノデアリマス、私ハ是ハ必シモ前内閣ノ數字ニ倣フ譯ハゴザイマセヌ、何カ、政友會内閣タル私ガ新タニ發明デモシテ飛ビ離レタコトヲ計畫シテ居ルガ如ク仰セニナルノハ、是ハ間違ヒデ、事實ガ違ツテ居ルノデアリマス、前内閣ト比較ヲ致シマシテ、二箇年五千万圓ハ權衡ヲ少シモ失シテ居ラヌ、私共ト致シマシテハ前ニモ申シマスル通り、マダ／＼買ヒタイ鐵道ガアル、併ナガラサウ澤山ノ公債ヲ出スコトモ困ルト云フ大藏當局ノ御意見ニ對シ、私モ御尤デアルト考ヘタカラ、此五千万圓ダケノモノヲ買收スルコトニシタ次第デアリマス、而シテ買收ノ方針ガ何カ無方針デ、勝手次第ニ私ガ何カ自分ノ好キナモノデモ買フヤウニ聞エルガ如キ御陳述デアリマシテ、是ハ度々申上ゲル通リデアリマス、標準ト云フコトヲ以テ青木君ハ御問ヒニナル、私ハ方針ト云フコトデ御答ヘスル、標準ヲ問ハレル青木サンハ如何ナル標準ヲ持ッテ居ラレルカ私ハマダ承ラヌノデアルガ、私ノ標準トスル所ハ即チ鐵道省自身鐵道ヲ建設シテ行クニ付テ、工事ノ施行上ドウシテモ買ハナケレバナラヌ鐵道ガ、前回ニ於テ申述ベマシタ通リ幾本モアル、是ハドナタガ鐵道省ニ御在デニナツテモ買ハザルヲ得ナイ鐵道デアリマス、是ハ一部分、例ヘバ花巻ノ鐵道ノ如キ、ソレカラ又モウ一ツハ、鐵道ノ運轉系統ノ聯絡ヲ完全ニ致シ、且ツ地方ノ產業ヲ開發スルト云フコトノ必要カラシテ、全國ニ亘ツテ、是ハ前内閣、前内閣、歷代内閣、皆其通リノ方針ヲ以ツテ鐵道ヲ買收シテ居ルコトト私ハ考ヘテ居リマス、其同一ノ方針、即チ標準ト申シテモ宜シイデゴザイマセウ、鐵道ノ運轉系統ヲ全クシ、交通機關ノ機能ヲ發揮スル、又地方產業を開發ノ爲ニ、私設鐵道ニ委カシテ置クコトノ出來ナイ……私設鐵道ニアッテ

ハ十分ナル産業ノ開發、交通機關ノ目的ヲ發揮スルコトノ出來ナイ分ヲ、之ヲ買フ、而シテ又國防ノ關係モアリマス、今回ノ分ニハ國防關係ノモノハ少ウゴザイマスケレドモ、只今御述べニナリマシタヤウナ譯デ、博多灣鐵道ノ當局ト致シマシテハ、此鐵道ガ國有ニナツテ運賃ガ下リ、總テノモノノ設備如キ海軍省ニ於テ非常ナル必要ナ石炭ヲ今掘リマシテ、四十万噸カラ出シテ居リマス、マダ／＼是カラ新タニ採掘ヲスルト云フコトデアリマシテ、海軍ガ整頓ヲスルト云フコトヲ希望イタシテ居ルノデアリマス、之ヲ御話申上ゲタ次第ナンデ、今後ト雖モ矢張リ國防ノコトモ一ツノ標準トシテ、國防上必要ナモノガアレバ、矢張リ出來得ルダケハ之ヲ完全大ル鐵道ニスル爲ニ、政府ニ買上ゲルト云フコトノ、是モ矢張リ、方針ト申スカ、標準ト申スカノ一ツニナツテ居ルト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、ソレカラ又地方鐵道ノ分布狀態モ其通り、大體ニ於テ同ジ政府ニ必要デアリ、同ジ公益上ノ必要ノアルモノデアルナラバ、全國ニ亘ツテ地方ノ狀態ヲ出來得ルダケ平均ニ分布シタイ、或一地方ダケガ澤山私設鐵道ガ政府ニ買收ヲセラレテ、其地方ノ人民ハ非常ニ喜ビマスケレドモ、他ノ地方ハ同ジャウナ私設鐵道ノ爲ニ非常ニ不便ヲ蒙ツテモ、更ニ之ヲ政府ニ於テ買上ゲ改良スルコトガ出來ヌト云フコトデハ、是ハ不公平ニナリマスカラ、略似寄ツタモノデアルナラバ、同ジ全國ニ普ク之ヲ割振ツテ、サウシテ漸次ニ之ヲ買收シテ行ク、買收固ヨリ今日ヲ以テ終リト致スノデハゴザイマセヌ、今後ト雖モ段々ニ買收ヲ致スノデアリマス、今日ニ於テハ是モ矢張リ一ツノ條件トシテ考慮ノ中ニ入レテ決定ヲスルト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、サウシテ又鐵道ノ懷ロト云フコトモ其通リデアリマス、或場合ニハ、今年度ニ是非買ハナケレバナラヌ、明年度デモ或ハ宜シイカモ知レヌト云フヤウナモノモ出テ來ルカモ知レヌ、其場合ニ於テモ、明年度ニナレバ會社ガ段々利益ガ多クナル爲ニ、大變ナ買收金高ヲ拂ハナケレバナラヌト云フヤウナ場合ニ於テハ、鐵道省ハミス／＼今年買ヘバ百万圓デ買ヘルモノガ來年ニナツタラ百五十萬圓ニナルト云フ場合ニハ、多少緩急ノ順序ガアリマシテモ、莫大ナル損失ヲスルヨリモ自分ノ方ニ餘リ損ヲセヌヤウニシタイト云フ所カラ、鐵道ノ懷ロ合モ多少考慮ニ入レル、斯ウ云フコトモ申上ゲタノデアリマス、是等ノコトニ關シテ度々申上グマス通り、私共ハ部下ニ調査ヲセシメテ、サウシテ此方針此標準ニ適フモノノ中、斯五千万圓ノ程度ニ於テ選定イタシマシタノガ、今回先般即チ本會議ニ出マシ

タ所ノ買收鐵道デアルノデアリマス、決シテ何等標準ガ無クシテ、一個人ノ氣紛レニ依ッテ斯様ナ線路ノ買收ハ出來ルモノデハゴザイマセヌ、皆十分ニソレ等ノコトヲ考慮シテ決定ヲ致シタ次第アリマス、ドウゾ此點ハ惡シカラズ御了承ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ又鐵道國有法ノコトニ付テ御述べニナリマシタ、是ハドウモ青木サント私共ハ考ガ最初カラ違フノデナイカト思ヒマス、先般モ何カ鐵道國有法ノ第一條ニ、幹線ヲ國有トシテ地方鐵道ハ私有ニスル精神デアルカノ如キ御説ガアリマシタガ、私ガ聞キ方ガ惡ケレバ是ハ取消ヲ致シマス、是ハサウデハナイノデゴザイマス、國有鐵道……鐵道國有法ノ第一條ニ鐵道ハ總テ國有トストスウ書イテアルノデアリマス、但シ地方鐵道ハ此限リニ在ラズトゴザイマシテ、地方鐵道ニ於テハ例外ヲ認メタト云フノガ此法ノ精神デアリマス、是ハ誠ニ事ノ宜シキニ適シタ所ノ法律デアルト考ヘマス、大體ニ於テ鐵道ハ國有デアル、併シ何モカモ總テ地方マデモ皆國有ニスルト云フコトハ宜シクナイカラ、地方鐵道ダケハ私設鐵道ニヤツテモ宜シイト云フ例外ヲ設ケテアルニ過ギナインデアリマス、此點ハ私共其通リニ考ヘテ居ル、委員會ニ於キマシテモ、當時ノ政府ノ當路ニ居ラレマシタ所ノ山之内君ノ御話モ矢張リサウ云フ風ナ精神デアルト拜承イタシタ次第デアリマス、故ニ此法律ノ解釋ト云フモノヲ幹線ダケガ國有デアッテ、地方ノ線路ハ私有デアルト云フコトハ原則デアルト云フ御趣意デアレバ、ソレハ私ハ違ッテ居ル、私共トハ全く解釋ガ違ッテ居ルト云フ、斯ウ云フコトヲ申上ゲテ置キタイト思フノデアリマス、ソレカラ此全體ニ付キマシテ、今回ノ買收鐵道ハ大體先刻申上グマンシタヤウナ標準ニ依ッテ買收ノ決定ヲ致シタノデアリマスガ、ソレハサウ云フモノデハナク、調べモ出來テ居リマス、而シテ一方ニ於キノ鐵道ヲ總計イタシマスルト、買收價格ハ五千万圓ニナリマス、サウシテ今日其儘デ現在買收セラル、所ノ鐵道ノ舉ゲテ居ル利益ヲ計算ヲ致シマスルト、此買收ノ元金ニ對シテ四朱ノ利益ガ舉ッテ居リマス、而シテ一方ニ於キマシテハ、鐵道省ガ是等ノ私設鐵道ニ對シテ、法律ノ命ズル所ニ從ヒマシテ、補助金ヲ澤山出シテ居リマス、買收ヲ致シマスルト此補助金ガ無クナリマスカラ、鐵道省ノ懷口カラ見マスレバ、此五千万圓ノ發行公債ニ對シテ、今日此儘デ以テ五朱ノ利益ト云フモノガ舉ルコトニナッテ居ルノデアリマス、

而シテ從前ノ例ニ照シテ考ヘテ行キ、又將來ノ經濟ノ發達、鐵道ノ省有線ノ設備、運賃其他ノ改良等ニ依ッテ、一時ハ懷口合ガ損ガ行クカモ知レマセヌガ、一定ノ日月ヲ經過イタシマスレバ、其貨物旅客ノ增加、收入ノ増加ト云フモノハ餘程著シクナルダラウト思フノデアリマス、先刻、青木君ヨリ御述ベニナリマシタヤウナ譯デ、一昨年前内閣ノ時代ニ買收セラレマシタ越後鐵道、此越後鐵道ノ如キハ、旅客ト貨物ト云フモノハ非常ニ殖エテ參リマシタ、鐵道省ノ所有ニ屬シテ以來旅客モ倍ト申シテ宜シウゴザイマス、貨物モ倍、而シテ御承知ノ通り、旅客ノ運賃ハ私設鐵道ニ較ベマスト、非常ニ少イ、非常ニ少イノデアリマスルガ、然ルニモ拘ラズ其數ニ於テ倍加シテ居リマスルカラ、總計ニ於テハ、旅客ハ殆ド同ジ位デス少シ少イカモ知レマセヌガ、貨物ニ於テハ増シテ居ルト云フ次第デアリマス、此勢ヲ以テ致シマスレバ來年再來年ニナリマスルト、餘程ノ利益ヲ舉ゲルダラウト思フ、是ハ建設マシタ建設線ニ付キマシテハ、建設ヲ致シマシタ當時ニハ少シノ利益ガ舉ラヌノミナラズ、損ヲシテ居ル線路ガ澤山アリマス、今回豫算ニ計上シテ先般御協贊ヲ願ッタ線路ニモソレガアリマス、三年五年、八年前カラ其當時政府ニ於テ建設ヲ致シマシタ線路ニモソレガアル、損失ヲシテ居ルノガ澤山アリマス、併ナガラソレガ爲ニ其線路ハ損ヲシテモ、其處カラ出タ貨物ガ既成ノ鐵道線路ニ廻ッテ行ッテ、ソレガ爲ニ多少ノ利益ガ舉ッテ居ル、而シテ當初ハ損失ガアリマシテモ、一年、二年、三年位ニナリマスルト云フト、段々殖エテ參リマシテ、サウシテ數年ノ後ニハ五朱、六朱、七朱、八朱モ大變ナ利益ヲ舉ゲルト云フコトニナッテ居ルノガ、是ガ過去ノ建設線ニ於ケル事實デアリマス、想像デモ何デモナイ、數字ニ付テ委員會ニ於テ、各地方ノ線路ノ計算ヲ配付イタシテ御覽ニ供シタ次第デアリマス、サウ云フ次第ニナッテ居ル、而シテ北海道ノ如キアノ廣漠無人ノ地ニ年々百哩近イ鐵道ヲ敷キマスト、是ハドウモ算盤カラ見マスルト云フト、誠ニ不經濟極ッタ話ト思フノデアリマスガ、此廣漠無人ノ地ニ百哩ヅ、ヲ急激ニ鐵道ヲ增シテ行ッテドウ云フ計算ニナッテ居ルカト申シマスルト、建設費一切、公債其他建設費ト稱スベキモノノ資本ニテ居ラヌ、而シテソレガ爲メ北海道ノ富源ノ開發ハドノ位ノモノデアリマス

カ、非常ナルモノデアリマス、是ガ無カッタナラバ北海道ハ到底今日ノ開拓ハ出來ナイ、今日以後ト雖モ其通リデ、而シテ政府ノ買收鐵道モ其意味ニ於テ政府側デハ建設ト同ジコトデアリマス、政府ハ鐵道聯絡ノ必要上、或ハ又開發ノ必要上、之ヲ買收シテ政府ノ線路ニスルノデアリマス、今日ハ損ガ行ツテモ來年ハ得ガ行クト云フノガ是ガ原則、デアリマス、此原則ハ斷ジテ動キマセヌ、況ヤ今日現在五千万圓ノ此鐵道ヲ合併イタシテ五朱ノ利益ヲ舉ゲル、斯ウ云フコトニナリマス、中ニ北海道鐵道ノ如キハ買收價額ガ七百何十万圓デ、公債ヲ交付シマスト其利息ガ約四十万圓ヅ、出マスノデ、他面ニ於テ中央政府ト北海道ト協調ノ上五十一万圓ト云フ補助金ヲ出シテ居ル、此五十万圓ハ只吳レテヤツテ居ル、此五十一万圓ガ無クナッテ、サウシテ公債ノ利息四十万圓ヲ拂ツテ改良ヲ致シテ行キマスルト、ドノ位アノ地方ノ沿道ハ開ケルカ分ラナイ、サウ云フ譯デ出來テ居ルノデアリマス、決シテ何等計算モナケレバ、唯鐵道ヲウント政府デ買ヒタイカラ買フト云フヤウナコトヲ、役所デ決定ト云フモノガ出來ルモノデハナインデアリマス、此點ハドウゾ御間違ヒナイヤウニ願ヒタイ、ソレカラ又青木サンハ私設鐵道許可ノコトニ付テ何カ大變方針ガ變更シタヤウナ御疑ヲ持ツテ御話ニナリマシタ、私設鐵道許可ト云フモノハ成程私ハ政府ノ豫定線デアリマシテモ、國家ノ全局カラ見マシテ私設鐵道會社ニ許ス方ガ宜シイ場合ハ許サウト思フノデアリマス、私ハ此點ニ付テ餘リ官私ノ別ヲ立テナイ、官ト民トノ區別ヲ餘リ立テマセヌノデアリマス、此點ハ或ハ青木サンノ御考ト私ノ考ヘト違フカモ知レマセヌガ、私ハ官モ民モ協同イタシテ俱ニ共ニ此國家ニ必要ナル交通機關ノ發達ヲサセタイ、斯ウ云フ考ヲ持ツテ居リマス、故ニ只今青木君ノ述ベラレマシタ青森縣大湊鐵道、四日市ノ鐵道ヲ御引キニナリマシタ、例ヘバト仰セニナリマシタガ、政府ノ豫定建設路線、デ私立會社ニ許シタノハ、例ヘバト御引キニナリマシタラ、約十年ノ後デナケレバ其竣工ハセヌノデアリマス、必要ナ線路デハアリマスガ、政府デヤルト遺憾ナガラ早ク出來ナイ、ソレヲ最モ確實ナリト認ムル所ノ人ミガ會社ヲ組織シテ、サウシテ之ヲ建設イタシタイ……之ヲ許シマレバ數年ニシテ鐵道ハ出來ルノデアリマス、國家ノ全局カラ見テ此位宣イコトハナイト思フ、一旦政府デ架ケヤウト思ツテ居ルカラ、オ前達幾ラ願ツテ

モ許サナイ、ドウシテモ政府デ架ケナケレバナラヌト云フヤウナ杓子定規ハ私ハ宜シクナイト思フ、サウ云フコトハ即チ官僚主義、デアッテ最モ改メナケレバナラヌト思フ、又地方民ト致シマシテモ十年後ノ鐵道開通ヲ待ツヨリ數年ノ後ニ鐵道ガ出來ルノトハドノ位其地方ノ開發ニ於テ損得ガアルカ分ラナアリマス、此二ツダケハ特ニサウ云フ事情カラ之ヲ許シマシタノデ、將來又必要ナ場合ニ於テハ、申上グル迄モナク法律ノ規定ニ依ツテ政府ガ買收スルコトモ出來ル、又買收シナケレバナラヌ鐵道デアラウト思ヒマスカラ、其建設ニ付キマシテハ、鐵道ノ規格其他ハ嚴重ナ條件ヲ附ケマシテ、政府ノ鐵道ト少シモ變リノナイヤウニ建設ハ致サセルト云フコトニ致シテ居リマス、要スルニ此點ニ付キマシテハ、官デ定メタモノデアルカラ、民ガ幾ラ願ツテモ許サヌト云フヤウナコトハ、私ハ絕對ニ排斥ヲ致ス、官民協同イタシテ此必要ナル交通機關ノ一日モ早ク速成普及發達スルコトヲ希望スルト云フ精神ヲ以テヤツテ居ル次第デアリマス、甚ダ長クナリマシテ恐縮デゴザイマシタガ一應

御答辯ヲ申上ゲタ次第デアリマス

○議長(公爵德川家達君) 休憩イタシマス、午後ハ一時三十分ヨリ開會イタシマス

午後零時二十一分休憩

午後一時四十六分開議

〔長書記官朗讀〕
本日内閣總理大臣ヨリ左ノ通政府委員仰付ケラレタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

内務省所管事務政府委員
○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ報告ヲ致サセマス

同
社會局部長 湯澤三千男君
大野綠一郎君

本日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

電話事業公債法中改正法律案可決報告書

本日勞働者災害扶助法案特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

委員長 伯爵 寺島誠一郎君
副委員長 岡喜七郎君

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ午後ノ會議ヲ開キマス

〔國務大臣原嘉道君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(原嘉道君) 青木サンカラ私ニ御尋ニナリマシタ御趣旨ハ、地方鐵道法デ地方鐵道會社ガ兼業ヲスル場合ニハ鐵道大臣ノ認可ヲ要スト云フ規定ガアツタノヲ削ッテシマツタトキニハ、商法ノ規定トノ關係上、取締ニ付テ如何ナル意見ヲ有スルカ、斯ウ云フ御意味ノヤウニ拜聽イタシマシタ、其意味ニ於テ御答ヘ致シタイト存ジマスルガ、若シ間違ッテ居リマシタラ、更ニ御尋ヲ願ヒマス、御承知ノ通リ現行商法ハ所謂自由主義ヲ採ッテ居リマスルノデ、或會社ガ如何ナル事業ヲ營ムカト云フコトハ、定款ノ規定ニ一任イタシテ居リマス、從テ定款ニ於テ是ノ事業ヲ營ムト云フコトヲ定メマスレバ、其以外ノ事ハ之ヲ爲スコトガ出來マセヌケレドモ、定款デ如何ナル事業ヲ營ムカト云フコトヲ定ムルニ付テハ、商法ハ何等ノ干涉ヲシテ居ラヌノデアリマス、從テ或特殊ノ事業ヲ營ムニ付テ官廳ノ認可ヲ要スルヤ否ヤト云フコトハ、專ラ特別法ノ規定ニ委セテアリマスルノデ、商法ニハ之ニ關シテ何等ノ規定ハ無イノデアリマス、從テ地方鐵道會社ガ兼業ヲスルニ付テ、鐵道大臣ノ認可ヲ要スル方ガ宜イカドウカト云フコトハ、是ハ商法ノ問題デハナクシテ、專ラ鐵道監督ノ問題ニ相成ルノデアリマスルカラ、主務大臣ニ於テ是ノ認可ヲ要スルヤ否ヤト云フコトニ付テ、意見ヲ立ツル方ガ相當デアリマステ、現行商法ノ規定トハ直接ノ關係ハ無イモノト考ヘテ居ルノデアリマス

〔政府委員大口喜六君演壇ニ登ル〕

○政府委員(大口喜六君) 先刻青木君ヨリ大藏大臣ニ對シマシテ御質問デアリマシテ午後ニハ大臣ガ出マシテ御答ヲスルヤウニト考ヘマシタガ、何分午前中カラ大臣ニ對シマシテ他ノ會議ニ於キマシテ質問ガ繼續シテ居リマスノデ、御不満足カ存ジマセヌガ私ヨリ大體ヲ御答辯イタシタイト考ヘルノデアリマス、鐵道ノ建設ニ付キマシテ公債ヲ以テ之ニ充テマスコトハ御承知ノ如ク止ムヲ得ザル事情デアルカト考ヘテ居リマス、サウシテ此募集公債ニ付キマシテ略計畫ヲ定メテ居リマスルコトハ青木君御承知ノ通リデアリマス、而シテ交付公債ニ關シマシテハ、只今御問ヒニナリマシタヤウニ來年度ハドレダケノ金ヲ出ストカ、其翌年ハ如何ナル金額ヲ支出スルトカト云フ如キ計畫

ハ只今立テ、居ナイノデアリマス、然ラバ此交付公債ト云フモノヲ如何ヤウニシテ大藏當局ハ定メルカト申シマスルト、先づ大體ハ申ス迄モナク採算上ノ問題デアリマス、此鐵道ガ買收イタシマシテドレダケノ利益ガ舉リマシテヲ先づ考慮イタスベキモノト考ヘマス、次ニハ鐵道其モノノ性質デアリマシテ、今ハ割合ニ算盤ガ取レマセヌデモ、其鐵道ト云フモノガ先刻鐵道大臣ヨリ申述ベラレマシタ通り、國家重要ノ線路デアル、或ハ其地方ニ對シマシテモ極メテ重要ナルモノデアル、又ハ只今ハ稍損害デアリマシテモ將來ヲ考ヘマスルト云フト相當ノ利益ガ舉ルモノデアル、斯ウ云フコトヲモ能ク考慮イタシマシテ定メネバナラスト考ヘテ居リマス、次ニ考ヘナクテハナリマセヌノハ、是ガ一般ノ經濟界ノ狀態デアリマシテ、其一般ノ經濟界ノ狀態ヲ考慮イタシマシテ金額ヲ定メマスコトヲ適當ナリト考ヘテ居ル次第デアリマス、ソコデ今回ノ此五千万圓バカリノ交付公債ハドウデアルカト申シマスレバ、先刻矢張リ鐵道大臣ヨリ述ペラレマシタ如ク、補助金ノ關係竝ニ利益ノ關係等ヨリ現在ノ狀態ニ於キマシテ既ニ五朱ノ利益ガアルノデアリマスカラ、交付公債ヲ發行イタシマシテモ鐵道ノ經濟ト云フモノニ對シマシテ決シテ惡影響ヲ及ボスモノデハナイト見タノデアリマス、サウシテ先刻ノ狀態カラ申シマスレバ、勿論今日ノ狀態カラハ、先般來屢々申上げテアル通り、少ク出來レバ公債ノ少ナイコトハ宜イノデアリマスガ、一面ニ事業トノ關係モ考慮イタサナケレバナリマセヌカラ、雙方ヲ考慮イタシマシテ、此程度デアルナラバ、今日ノ狀況ニ於テ差支ナイト、斯ウ考ヘマシタ次第デアリマスカラ、是ダケヲ御答辯致シタイト存ジマス

〔青木周三君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 青木周三君ハ再び質疑ヲ御希望デスカ

○青木周三君 非常ニ會期ノ切迫ノ際ニ長イ時間ヲ取ルコトハ遠慮シタイト思ツテ居ルノデアリマスガ、私ノ質問イタシマシタコトハ、主トシテ鐵道大臣ニ質問シタ所ハ、何ガ故ニ斯様ニ遲レタカ、遲レタ理由モ相當アルケレド

モガ、政府デ努力セラレタナラバ、此法律案ハ買收法ト同時ニ提出スルコトガ必シモ不可能デナイノニ、ソレヲ遅ラシタコトハ鐵道大臣ハ怠慢デハナイト仰シヤルケレドモガ、私共結果カラ見テ遺憾ノ點ガアルカラ、其點ハドウ云フコトデアルカト云フコトヲ御問シタダケナノデアリマシテ、ソレハモウソレダケ鐵道大臣カラ御答ヲ戴ケバ、私ハソレダケデ満足スルノデ、他ハコトハ我ミガ阻止スルコトハ出來マセヌ、勝手ニ御述ベニナルコトハ自由デアリマスケレドモガ、併ナガラ私ノ申シマシタ所ニ關シテ述ベラレルナラバ、私ノ申シタ範圍デ述ベラレ、バ、ソレデ議場ノ誤解ヲ釀ス憂ハアリマセヌケレドモガ、私ノ申シタ範圍デナイコトニ付テ頻リニ御述ベニナリマシテ、私モソレヲ默ツテ居リマスルト、速記録ハアリマスルケレドモガ、私ノ申シマシタ所ヲ誤解サレル憂ガアリマスカラシテ、ソレニハナンボカ附加ヘテ置カナケレバナラヌト存ジマスカラ、此事ヲ申上ゲテ、ソレニ御答辯ガアルナラバ、ソレニ付テ御答辯ヲ願ヒタイ、鐵道大臣ハ私ガ今回ノ五千万圓ノ交付公債ガ多イト云フコトヲ或ハ非難シテ居ルトカ、或ハ質問ヲシタトカト云フヤウニ御取リニナツタノデアリマスケレドモ、私ハ此交付公債ノ金額ノ多少ヲ論ジタコトハ一言モアリマセヌノデアリマス、併ナガラ鐵道大臣ノ政策ニ依レバ、今回ノ五千万圓ノミナラズ將來ニ於テモ、明後年度ニ於テモ、明後年度ニ於テモ、明々後年度ニ於キマシテモ、是ト同類ノ鐵道ヲ買收シナクチヤナラヌカラシテ、將來ニ於テ之ニ對スル計畫ガ大藏省ニハナクテハナラヌ、サウデナクシテ只行當リバッタリニ今年度ダケ決メルト云フコトハ、從來ソレデ宜シカツタノデアリマスガ、今回ハ鐵道大臣ハ尙ホ澤山買收シタイト云フコトデアリマスガ、今年ダケ大藏省ガ五千万圓ヲ承諾シテ吳レタノデアル、斯ウ云フコトデアリマスガ、今年ダケ大藏省ガ五千万圓ヲ決シテ多イトハ申シマセヌガ、併シモウ少シ經チマスト、重要ナル鐵道ヲ買ハナケレバ、斯ウ云フコトデアリマスカラシテ、將來ノ計畫ハドウデアルガト云フコトヲ大藏當局ニ伺ツタノデアリマス、デアリマスカラ五千万圓ヲ決シテ多イトハ申シマセヌガ、併シモウ少シ經チマスト、重要ナル鐵道ヲ買ハナケレバ、斯ウ云フコトガ起ルト思フ、系絡上買ハナクチヤナラヌコトニナラウト思フ、其鐵道ヲ買フトスルナラバ私共ガ計算シテ八千五百万カラ九千万圓ハ、一ツノ鐵道ニ對シテソレ位ノ金ハ掛カル、ソレガ多イトカ少イトカヲ私ハ論ジタノデヤアリマセヌ、併ナガラサウ云フ風ニナツテ行クノデアルカラ、將來ノ交

付公債ノ計畫ガナクチャナリマセヌチャアリマセヌカト云フコトヲ伺ツタノデアリマス、鐵道大臣ハ此五千万圓ガ二年間ニ割ルト一年二千五百万圓ニナル、前内閣ニ於テモ二千五百万圓デ鐵道ヲ買收シタデハナイカト云フコトヲ言ハレマスケレドモ、私ハサウ云フコトヲ議論ヲシテ居ルノヂヤアリマセヌ、此五千万圓ノ買收ト云フモノハ解散議會ノ前ノ議會ニモ凡ソ此位ノ額ヲ出サレタノデアリマスガ、之ヲ二年ニ割ルト二千五百万圓ニナルト云フ理窟ハ御立テニナルナラバ御勝手デアリマスケレドモガ、ソンナコトハ此際我ミ何等ノ必要ガナイコトデアリマス、ソレカラ兼業ノコトヲ、是ハ初メニモ申シマシタ通リニ、此機會ニ於テ幸ニ司法大臣ガ御出席デアルカラ、司法大臣ノ御意見ヲ伺ツタノデアリマスルカラシテ、鐵道大臣トシテノ御所管トシテノ意見ヲ伺ツタノデハナカツタケレドモ、鐵道大臣ハ之ニ向ツテモ御答辯ヲ爲サレマシタ、私ノ伺ツテ居ル所ハ、只今はハ同時ニ申上ゲタイ、司法大臣ト鐵道大臣ト同時ニ申上ゲタイト存ジマスガ、此商法デ、地方鐵道法竝ニ軌道法レデアルカラ之ヲ若シ鐵道及軌道ノ爲ニハサウ云フ風ニ十分ノ一ノ拂込デ會社ノ設立ヲサセルト云フコトガ認メラレテ居ルノデアリマス、從テ其兼業ト云フモノハ是ガ兼業ノ爲ニモ例外ガソコニ行ハレルノデアリマスカラ、先程申シマシタ例ヘバ新潟臨港鐵道ノ例ヲ引イテ申シマスルト云フト、鐵道ト云フモノハ御承知ノ通リ八十万圓デ建設ガ出來テ居ルガ、其兼業ハ二百數十萬圓ノ兼業、ソレハ稍、倉庫營業ニ似テ居ル營業ヲヤツテ居ル、倉庫營業ノ會社ヲ組織スレバ四分ノ一拂込デ會社ガ成立シテ行ク、鐵道會社デアレバ十分ノ考ヘルノデアリマス、是ハ商法ニ對スル重大ナル例外ニ對スル一ツノ制限デアル所ノ主務大臣ノ認可ト云フコトガ重要ナル役目ヲナシテ來ルノデアルト私ハシテ、從テ兼業ノ認可ト云フコトガ重要ナル役目ヲナシテ來ルノデアルト私ハ般法ニ對スル權衡ト申シマスルカ、サウ云フコトハ致シテ宜シクナクハアリマセヌカト伺ツタノデアリマス、鐵道大臣ハ官吏ガ營業者ノ營業ノ方策ニ對アル、役人ガ色々營業者ノ營業ノ策略、政策ニ向ツテ干涉ヲ加ヘルト云フコトハ、甚ダ宜シクナイコトデアラウト思ヒマスケレドモ、是ハ特別ナ例外ヲ認メテ居ル所ノ法律デアリマスカラシテ、何トシテモ何等カ制限ガ無ケ

ト云フヤウナモノニ對スル所ノ權衡ガ取レヌカラ、何等カ制限ガ無クチヤナラヌト伺ッタノデアリマス、是ハ相當ナ理由ノアルコトグラウト思ヒマス、事ノ序デニ伺ッタノデアリマス、今ノ司法大臣ノ御答辯竝ニ鐵道大臣ノ御答辯ハ、私ノ問ハムト欲スル所デナカッタノデアリマス、此點ハ御答辯ヲ煩スノデアリマス、ソレカラ尙ホ鐵道大臣ハ非常ナ色ゝナ鐵道ノ政策ニ關シテ屢々、鐵道大臣トハ論難…論難ト申シマスルト、オカシイデアリマスガ、鐵道大臣ノ御説明ハ屢々伺ッテ居ルノデアリマスルガ、是ハ委員會ニ於キマシテモ云フコトヲ伺フ必要ハ無カッタノデアリマスルガ、結局、今日述ベラレタ所屢々、鐵道大臣トハ論難…論難ト申シマスルト、オカシイデアリマスガ、鐵道大臣ノ御説明ハ屢々伺ッテ居ルノデアリマスルガ、是ハ委員會ニ於キマシテモ云フコトヲ伺フ必要ハ無カッタノデアリマスルガ、結局、今日述ベラレタ所ヲ取纏メテ見マシテモ、此買收ノ御方針ガ地方鐵道ト云フモノハ運賃ガ高イ、地方ノ開發上地方鐵道デハ治リガ付カヌ、斯ウ云フコトカラ買收スルトスウ仰シャルノデアリマスカラ、結局私ガ今日述ベマシタ所ト何等ノ違ヒハ無イノデアリマス、デアリマスカラシテ私共ハドウシテモ鐵道大臣ノ此買收ノ御方針ト云フモノガソコニアツテ、地方鐵道ニ委カシテ置イテハ地方ノ開發ガ十分ニ行カヌ、ソレデアルカラシテ地方鐵道ヲ國有鐵道ニナシタイ、斯ウ云フコトハ屢々仰シャル所デ、今日仰シャル所モソレデアルカラ、結局ソレヲ制限スルモノハ何デアルカ、交付公債デアリマス、ソレヨリ外ナイ、若シ大藏當局ガ許スナラバ一億万圓デモ二億万圓デモ買收シタイモノガアルト只今デモ仰シャル、サウ云フコトガ、鐵道大臣ノ御政策ニ付テ内閣ニ於テ認メテ居ルナラバ、大藏當局ハ絶對ニ聽カナクチヤナラヌ、斯ウ云フコトハ誰モ起ル疑ヒデアリマス、何人モ聞カムト欲スル所デアラウト思フ、ソレカラ鐵道大臣ハ又事ノ序デハアリマシタケレドモ、越後鐵道ハ買收シテカラ非常ニ成績ガ良イト云フコトヲ言ハレマシタコトハ、私ハ委員會ニ於キマシテハ越後鐵道ノ成績ガ良イト云フコトノ表ヲ政府委員カラシテ示サレテ居ルノデアルガ、是ハ非常ナ間違デアル、計算ノ基礎ニ付テハ私ハ非常ニ疑フ持ツテ居ルト云フコトヲ委員會ニ於テ、其時ハ鐵道大臣ハオ出デニナラナカッタノデアリマスガ、左様ナ間違ッタ所ノ計算デ以テ鐵道大臣ノ御教育ヲ爲サルト云フト、鐵道大臣ガ屢々間違ッタ説明ヲセラレルカラ御注意ヲナサッタ方ガ宜カラウト云フコトヲ申上ゲテ置イタノデアリマス、是ハ尙ホ鐵道大臣ハ鐵道ノ政府委員ト御相談ニナリマシテ御考ヘ直シヲ爲スッタ方ガ宜シカラウト思フノ

トアリマス、ソレカラ又國有鐵道……是ハ言葉ノ誤カモ知レマセヌガ、チヨツ
ト私ガ殊更ニ鐵道大臣ヲ非難スルカノヤウニ例ダト言フテ、唯一ツアッテ、
ニツシカ無イモノヲ例トシテ舉ゲタト云フヤウニ言ハレマシタケレドモガ、
是ハサウヂヤナイ、是ハ或ハ鐵道大臣ガ言葉カラ誤ラレタノカモ知レマセヌ
ガ、成程政府ノ豫算カラ落シテ其線ヲ私設鐵道ニ御許シニナルノハニツシキ
テモ私設鐵道トシテ存在シテ居ルノハ極メテ不利益デアッテ、此鐵道ハドウ
シテモ國有鐵道デ架ケナケレバナラヌト云フヤウナ線路ガアル、是ハ明示若
クハ默示……約束デハアルマイケレドモガ、現在ノ鐵道大臣ノ御方針ト其鐵
道ノ性質カラ考ヘルト、出來上ツタナラバドウシテモ國有鐵道ニ買收セラレ
ルダラウト云フコトヲ株主ガ考ヘルノハ無理デヤナイト云フ鐵道ガ澤山アル
ト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、其適切ナ例トシテニツヲ舉ゲタ、其他
ニハ無イト云フコトヲ申サレタノデアリマスガ、ソレハ澤山アリマス、若シ
鐵道大臣ノ言ハレタ言葉ノ通リデアリマス、ソレカラ大宮、八王子間ノ如キ
唯ニツシカナイト仰シャルナラバソレハ間違ッテ居ル、例ヘバ大宮東京間ノ
鐵道ノ如キハ是ハ政府ノ豫定線デアリマス、ソレカラ大宮、八王子間ノ如キ
ハ是ハ旅客線トシテハ甚ダ價値ノ無イモノデアリマシテ、ドッカト云フト
貨物ノ線路デアリマス、東北線カラ來ル所ノ貨物ガ東京ヲ廻ラナイデ八王子
ヲ抜ケテ東海道ヘ行ク所ノ線デアリマス、是ハドウシテモ國有鐵道ガ持ッテ
居ルカ、或ハ國有鐵道カラ通過料ヲ取ラナケレバ立ッテ行ケナイ線デアリマ
ス、是ハ何時必要ニナルカ知レマセヌガ、將來ハ國有鐵道トシテ必要ニナル
線デアリマスガ、サウ云フモノハマダ澤山アリマス、是ハ恐ラクハ政府委員ニ御聞キニ
ナリマシタナレバ御分リニナルダラウト思ヒマス、私ハ決シテソレヲ非難ス
國有ニナルデアラウト云フコトヲ豫想シテ居ルコトハ私ハ無理デナイト考ヘ
マス、サウ云フモノハマダ澤山アリマス、是ハ恐ラクハ政府委員ニ御聞キニ
トヲ申上ゲタノデアリマス、ソレカラ只今ノ大藏政務次官ノ御答辯ニ對シマ
シテモウ少シ伺ッテ置キタイノデアリマスガ、私ハ今申上ゲマスル通りニ
ルノヂヤアリマセヌケレドモガ、今後サウ云フ必要ノ變化ガアラウト云フコ
回發行セラル、交付公債ノ五千万圓ト云フモノハドウ云フ風ニシテ決メラレ
タカト云フコトハ、是ハ伺ッテモ要領ヲ得ベキ筈ノモノデモアリマセヌカラシ

テ、是ガ採算上善イトカ惡イトカ云フヤウナコトハ、ソレハ別ニ議論スル所
デアリマシテ、決シテ其事ヲ大藏省ニ伺ハウト云フノデハアリマセヌ、寧ロ
私ハ此方ハ屢々鐵道大臣ガ言ハレル通リニ、大藏當局ガ五千万圓ヲ奮發シテ吳
當デアル、大藏當局ガ五千万圓ヲ發行スルノニ、此鐵道ハ採算上合フトカ合
ハナイトカ、四分ニ廻ルトカ五分ニ廻ルトカ云フコトデヤラレタノデハナカ
ラウト思フノデス、ソレカラ又五分ニ廻ルトカ四分ニ廻ルトカ云フコトヲ言
ハレルケレドモ、元來營業ヲシテ居ル鐵道ヲ買上ゲル時ニハ五分ニ廻ルト云
フコトガ原則ナンデ、イツドンナ鐵道ヲ買ッテモ五分ニ廻ル計算ニナッテ居ル
ノデアリマス、一割配當ヲシテ居ツテモ、一割ノ配當ヲシテ居ツテモ、ソレノ買
タ金ハ五分ニ廻ルト云フコトニナッテ居ルノデアリマスカラ、五分ニ廻ルト
云フコトハ何等ノ意味ヲ爲サナイノデアリマス、サウ云フコトヲ承ッテ居ル
ノデハアリマセヌ、斯ウ云フ風ナ鐵道大臣ノ御方針デ行ケバ必ヤ毎年出來ナ
クチャナラヌ、私共ガ相談ヲ受ケタ所ノ鐵道デモ二億万圓以上ノマダ買ハナ
クチャナラヌ所ノ鐵道ガアル、其二億万圓ノ鐵道ノ内容ヲ見マスルト云フ
ト、今回提出セラレタモノヨリハズツト優先ニ買收シナケレバナラヌ所ノ鐵
道ヲ多ク含ンデ居ルノデアル、ソレデアルカラシテ今回ノ十四鐵道ガ買收セ
ラレル位ナラバ、サウシテソレガ國策上必要トシテアルナラバ、明年度ニ於
テハモット澤山買收シナクチャナラヌデアラウト思フノデアリマス、斯様ナ
政策ヲ含ンデ居ルノニ、大藏當局ガ相談ヲ受ケナガラ明年度ノ計畫ガナイト
云フコトハ、嘘ヲ仰シャルノデナケレバ如何ニモ怠慢ナコトデハナイカト私
ハ考ヘルノデアリマス、モウ少シ其點ニ立入ッテ御答辯ヲ願ヒタイト思フノ
デアリマス、私ハ大藏大臣デナクチャナラヌトカ何トカ云フコトハ決シテ申
シマセヌ、殊ニ政務次官ハ其點ノコトニハ必ズ御參畫シテ居ラレルコトデア
ラウト思ヒマスカラシテ、政務次官ノ御答辯デ結構デゴザイマス、其點ヲモ
ウ少シ參畫シテ居タトカ居ラヌトカ、何故ニ將來ノ計畫ヲ立テ、居ナイト云
フコトヲ、十分ニ御説明ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

〔國務大臣小川平吉君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(小川平吉君) 今回私ノ答辯ヲ御求メニナリマシタ點ハ、鐵道會
社ノ兼營事業ニ付テ許可ノ事項ヲ削除シタト云フコトニ關聯シテノ御尋ト承
知イタシマシタ、只今御述ベニナリマスル通リ成程鐵道ノ會社ハ他ノ事業ト

達ヒマシテ、僅カナ拂込金ヲ致シマスレバ借財ヲスルコトモ出來ルト云フヤ
ウナ規定ニナツテ居リマス、是ハ其物ノ國家ノ爲必要ナル機關デアルト
云フ點カラ、特別ニ斯様ナ鐵道ノ建設ニ付テ便利ナ規定ヲ設ケタモノデアル
ト存ジマスルガ、即チ鐵道會社ノ事業ト云フモノハ大切な事業デアルト私共
ノデキヤ否ヤ、政府ガ必シモ干渉シテ之ヲ決定スルカドウカト云フコトハ
別ノ問題ダト思フノデアリマス、大切な事業デハアリマスルケレドモ、政府
ガ兼營事業ノ當否ヲ調査決定スルト云フコトハ、今日ノ場合ハ先刻モ申上ゲ
マシタ通リ最早其必要ガナイスウ云フ考ヘデゴザイマシテ、幸ニ青木君モ此
點ニ付テハ御同感デアルト云フコトデゴザイマス、依テ今回地方鐵道法ヲ改
正イタシマシテ、斯様ナ煩雜ニシテ會社モ政府モ面倒デアルヤウナ事柄ハ
削ッタト、斯ウ云フ譯デアリマス、之ガ爲ニ鐵道會社ニ對スル拂込ニ付テノ、
特別ナル法規ニ付テハ別段關係ハナイヤウニ私ハ考ヘマス、其他ノコトニ付
テハ先刻申上ゲマシタカラ最早申上ゲマセヌ

〔國務大臣原嘉道君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(原嘉道君) 青木君ノ御尋ノ地方鐵道會社ガ鐵道法ノ特別ノ規定
ニ依ツテ少額ノ拂込ヲシテ居リナガラ、實際鐵道業ニ使ハズニ他ノ兼營事業ニ
使フ虞ガアリハセヌカ、其點ニ於テ商法ノ趣旨ニ觸シハセヌカ、斯ウ云フ
御趣旨ニ承リマシタ、地方鐵道ハ私ヨリモ青木君ガ御承知ノ通リ建設及營業
等モ法規ノ規定ニ從ツテ之ヲヤッテ行カナケレバナラヌノデアリマスカラシ
テ、拂込資本ノ大部分ヲ兼營ノ方ニ使ツテシマフト云フヤウナ虞ハナイコト
デハナイカト素人ナガラ考ヘテ居ル次第デアリマス、從テ監督官廳タル鐵道
大臣ガ兼營ニ付テ、殊ニ認可ヲ要セナイモノト云フ意見デアリマスル以上ハ、
拂込資本額ノ例外規定トノ關係上、兼營ニ付テ鐵道大臣ノ認可ヲ要セシムル
ト云フコトノ必要ハナイモノデハナカラウカト考ヘマスルコトハ適當デアルト考ヘ

〔政府委員大口喜六君演壇ニ登ル〕

○政府委員(大口喜六君) 青木君ヨリ再應ノ御質問デアリマスカラ、有體ニ
私共ノ取扱ツテ居リマスコトヲ御答ヘ致シマシタナラバ御了解下サルダラウ
カト存ジマス、一般ノ募集公債デアリマスレバ、私ガ申ス迄モナク財界ノ狀
況ヲ餘程考慮イタサナケレバナリマセヌカラ、現在ノ財界ノ狀況、將來ヲモ
考慮イタシマシテ、相當ノ計畫ヲ立ツテ進ミマスルコトハ適當デアルト考ヘ

テ、只今計畫ヲ立ッテ居ルノデアリマスルガ、交付公債ノ方ニナリマスト、勿論公債ニナツテ出マスレバ募集公債デアッテモ同ジコトデ、同ジ勵キヲ致スモノデアリマスルガ、併シ募集ノ際ニハ申シマス迄モアリマセズ、募集ニ別ニ困難ハ伴ハナイノデアリマスカラ、其時ノ總テノ財界ノ狀況ヲ考ヘマシテ、大概是位ハ此交付公債ヲ發行シテ宜カラウト云フ限度ヲ其年ニ定メマシテ、一方ニ於キマシテ國ノ事業ニ於テ鐵道ハドウデアルカ、鐵道以外ノ事業ハドウデアルカ、色モ是等ノコトヲ集メテ輕重緩急等ノ度ヲ研究調査イタシマシテ、サウシテ鐵道ニ對シマシテハ是ダケノコトヲ致ス、其他ノ事業ニ對シテハ是ダケノコトヲ致ス、斯ウ云フ風ニ毎年其狀況ニ應ジテ決メマスヤウニ只今致シテ居ルノデアリマス、サウ云フ次第、デアリマス故ニ、只今御問ヒデアリマシテモ此問題ニ對シテハ、明年ニハ只今申ス通り決マッテ居リマスガ、明後年以降毎年續イテ何千万圓ヲ必ズ鐵道ニヤルトカ、或ハ是ダケ以上ハヤラナイト云フコトハ決メテ居ナイノデアリマスガ、無論鐵道ヨリ要求ガアリマスレバ、他ノ事業ト共ニ相當考慮イタシテ調査モ致シマス、而シテ全體交付公債ハ本年ハドレ位マデ宜カラウト云フ責任ノ負ヘマス限度ヲ決メマシテ、其範圍内ニ於テ事ノ輕重緩急ニ依リマシテ、其時ニ方針ヲ定メル……方針ト申ノ點ヲ離レテ居リマシテ、要領ヲ得難カッタノデアリマスガ、司法大臣ノ御説明ハ稍々分リマシタケレドモ、此點ハサウ重大ナコトデモアリマセヌシ、尙ホ委員會ニ於テ論及スルコトニ致シマシテ、是デ質問ヲ打切りマス、ソレカラ大藏政務次官ノ御答辯ハ、結局將來ニ關スル所ノ交付公債ハ考ヘテ居ナイ、斯ウ云フコトニ歸著スルノデアリマス、私ノ心配スル所ハ、今マデハ今大藏政務次官ノ言ハレル通リデ宜カッタ、併ナガラ斯様ニ鐵道政策ガ變ッテ來タナラバ、交付公債ニ對スル所ノ大藏省ノ政策ヲ御變ヘニナラナケレバナラヌノデヤナイカト云フコトニ心配シテ伺フノデアリマス、併ナガラ我モノ目ニ映ツルヤウニハ大藏省ニハ鐵道大臣ノ政策ガ映ツテ居ナカッタ爲ニ左様ナコトニナツテ居ルノダラウト思ヒマスガ、是ハドウモ今更彼此レ之ヲ議論シテモ最早追付カナイコトデアリマスルカラシテ、明年度明後年度以下ニ私ノ申上ダタコトガ何分カ御役ニ立ツナラバ仕合セト考ヘマス、此點モ是デ質問ヲ打

○佐竹三吾君 私ハ極ク簡單ナ事柄ニ付キマシテ御尋ヲ致シタインデアリマス、此席カラ發言ヲ御許シヲ願ヒマス、地方鐵道法ノ改正案竝ニ鐵道營業法ノ改正案ニ付キマシテハ、御尋ネ致シタインコトガ多數アルノデアリマスケレドモ、此兩法案ヲ鐵道敷設法ノ特別委員ニ御付託ニナルコトデアリマスレバ、其際ニ御質問ヲ致シタイト考ヘテ居リマスルノデ、差控ヘルノデアリマスル單ニ御尋ヲ致シタイト思フノデアリマス、問題ハ鐵道ト船舶ト通ジテ運送ヲ致シマスル場合ニ於キマシテ、今回ノ改正案ニ依リマスルト云フト、通シノ運送状ヲ發行スルト云フコトニナツテ居ル、又貨物運送ニ付キマシテモ鐵道ダケニ發行イタシマスル貨物引換證ニ依リマシテ、鐵道並ニ船舶ニ共通ノ效力ヲ保タセルコトニナツテ居ル、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデアリマシテ、其改正ハ誠ニ適當ナ又實際ニ都合ノ宜シイ改正案ト考ヘテ居ルノデアリマスガ、然ルニ此改正案ニ一箇條第十八條ノ四ト云フノガ追加ニナツテ居ルノデアリマス、初メ鐵道省カラ此案ニ付テ意見ヲ關係ノ各方面ニ求メラレマシタノデアリマス、其時ニハ第十八條ノ四ト云フ制限ハナカッタノデアリマス、然ルニ今回ノ提案ニ依リマスルト云フト、其制限ガ殖エマシタ、サウシテ其理由ハ遞信省ノ御意見デアルト云フヤウナコトヲ承ッタノデアリマスカラシテ、此點ニ付キマシテ遞信大臣カラ大體ノ理由ヲ御説明ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、元來内地カラ朝鮮ニ貨物ヲ送リマス場合ニ、或ハ樺太ニ送ル、又ハ臺灣ニ送ル、斯ウ云フ場合ニハ内地ノ其鐵道ニ接續イタシマシテ、朝鮮デアリマスレバ、鐵道省ノ直營サレテ居ル關釜連絡船ニ依ツテ朝鮮ニ送ルト云フコトニナルノデアリマス、併ナガラ權太デアリマスルト云フト、若シ其貨物ガ小樽ヲ通ツテ參リマス時ニハ、小樽大泊ノ間ハ鑑道省ノ連絡船ガナイカラ、稚内ニ行キマスレバ、鐵道省ノ連絡船ニ依ルコトニナルノデアリマス、又臺灣ニ付キマシテハ、門司長崎ノ何レニ依リマシテモ國有鐵道ノ連絡船ハナイノデアリマスカラシテ、是等ノ各方面ニ貨物ヲ送リマスル場合ニ、通シノ運送狀、ソレニ關シテ通シノ貨物引換證ヲ發行スルコトヲ御認メニナルト云フコトハ、其間ニ甲乙ハナイヤウニ考ヘルノデアリマスガ、然ルニ遞信省ニ於キマシテハ第十八條ノ四ト云フ制限ヲ設ケラレマシテ、「前二條ノ規定ノ適用ヲ受クヘキ船

船ニ依ル運送ハ其ノ運送ノ状態ニ於テ鐵道運送ニ附屬シタルモノニ限リ」云
云、鐵道運送ニ附屬シタ運送、斯ウ云フ制限ガアルノデアリマスカラ、從テ
是ハ或ハ樺太等ニ送ルニ付キマシテハ非常ニ狹クナル、或ハ關釜連絡船或ハ
青函連絡船ト云フヤウニ之ヲ狹ク限ラレルノデアリマス、元來船ニ關スルコ
トハ遞信省ノ所管デハアリマスルケレドモ、從來往々ニシテ其權限ニ付テハ
モ、其船舶ガ鐵道所屬ノ船舶ナラ差支ナイケレドモ、外ノ船舶デアレバ、其
時ノ状況ニ依ツテ、他ノ船舶ニ依ル場合ガアッテモ、同様ノ取扱ヲシナイト云フ
コトハ、如何ニモ其間ニ差別的ノ待遇ガアルヤウニ考ヘルノデアリマス、ド
ウ云フ事情デ斯ウ云フ改正ヲ御加ヘニナリマシタカ、大體ノ御説明ヲ戴キタ
イト思フノデアリマス

〔國務大臣久原房之助君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(久原房之助君) 大體此船舶ノ輸送ガ鐵道ノ法規ノ適用ヲ受ケル
ト云フコトガ、元々常態デアリマセヌカラ、是ハ所謂便宜ノ爲ノ處置デアリ
マスルガ爲ニ、其便宜ノ時ニ限ル、即チ其必要ノ場合ニ限ツタ方ガ宜カラウ
ト云フ風ナ考ヘカラ起ツテ居ル譯デアリマス、尤モ其ノ航路及之カ運送業者
ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム」トシテ居リマスルノデ、其範圍ノ適用ハ其際改メテ
命令デ定ムル譯デアリマスルガ、大體ノ趣旨ハ廣キニ失スルヨリモ狹キ範圍
ニ限ル方ガ、此法トシテハ適當デハナイカト思フ趣意ニ出テ居ル譯デアリマ
ス、即チ船ノ輸送ハ商法ニ依ルヲ固ヨリ定法トシテ居リマスルガ、此鐵道輸
送ノ一部トモ見ルベキモノハ特ニ鐵道ノ爲ニ定メラレテ居リマスル法規ニ依
ルヲ便利トスル場合ガアリマスノデ、ソレデ其場合ハ鐵道ノ規則ニ從フト云
フ趣旨ガ起リデアリマスカラシテ、餘リ廣ク瓦ルヨリカモ、其場合ニ適當ト
トデ、其適用ハ今申シマシタ通り別ニ命令ヲ以テ定メマスカラシテ、其際ニ
能ク考慮ヲスレバ宜カラウカト考ヘテ居ル次第デアリマス

○佐竹三吾君 只今ノ御説明ニ依リマスルト、適用ノ範圍ハ命令ヲ以テ定メ
ルト云フコトデアリマスケレドモ、其命令ノ効ク範圍ハ其上ノ但書ト申シマ
スカ、制限サレテ居ルノデアリマス、即チ鐵道運送ニ附屬シタモノニ限リ、
其附屬セザルモノニ付キマシテハ全然適用ガナイノデアリマスカラ、命令デ
加減サレヤウト御考ヘニナッテモ、ソレハ命令ノ効ク餘地ハナイト思フノデア
リマス、大臣ノ如キ御考デアリマスレバ、寧ロ船舶ニ依ル運送ハ運送業者ニ
付テハ命令ヲ以テ之ヲ定メルト云フ風ニ條文ガ定マッテ居リマスルト云フト、
大臣ノ御考ヘ通リニ命令ヲ以テ加減ガ出來ルノデアリマス、併ナガラ運送ノ
風ニハ此文章ハナツテ居ラヌノデアリマス、初メ鐵道省ノ提案ハ相當廣イモノ
デアッタノデアリマス、元來此規定ハ外國トノ關係ニ付キマシテハ、即チ西比
利亞鐵道ヲ經由シテ外國ニ貨物ヲ送リマスル場合ニハ浦潮敦賀間ノ航路ニ於
テ矢張リ通シ運送狀ノ發行、貨物引替證ノ發行モ出來ルノデアリマス、是ハ國
際關係デアリマスカラ、國際條約ノ「ベルン」ノ協定ニ依ツテ取扱ヲ定メテ、サ
ウシテ別ニ商法ノ適用ヲ除外スル條件ガ必要トナルノデアリマス、然ルニソ
レヨリモ尙ホ之ヲ非常ニ狹クセラレルト云フコトハ、只今大臣ノ御説明ノ通
リデアリマスト云フト此條文ト違フノデアリマス、併シ若シサウ云フ御考デ
アリマスレバ、此條文ヲサウ云フヤウニ修正スレバ、ソレデ宜シイノデアリ
マスカラ、果シテサウ云フ御考ノ通リデアルナラバ是レ以上御尋不致シマセ
ヌデスガ、此法案ヲ審査サレマス場合ニハ遞信大臣ナリ遞信省ノ政府委員カ
ラ尙ホ御説明ヲ得タイト思フノデアリマス、私ハ是ダケデ宜シウゴザイマス
〔國務大臣久原房之助君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(久原房之助君) 殊更ニ申上ゲル程デモナイカト思ヒマシタガ、
私ノ前ノ答辯ガ不十分デアッタコトト思ヒマシテ、改メテチヨット申上ゲテ置
キマス、私ノ申シマス趣意ハ此鐵道輸送ノ一部トモ見ルベキモノニ此法律ノ
適用ヲ適當トスルト思ヒマス趣意カラシテ、斯ウ云フ矢張リ附屬シタモノニ
限リト云フコトガ適當スルト思ヒマス譯デゴザイマス、ソレデナケレバ一般
ニ廣ク商法ノ規定ノ下デ効クベキ船ノコトガ鐵道規則ニ依ツテ支配サレルト
云フコトハ餘リニ廣ク瓦ルト云フコトハ望マシクナイコトデ、即チ此特別ノ
場合ニ於ケル狀態ニ對シテノ此法律ノ適用ヲ至當トスルト云フ意味カラシ
テ、斯様ナ限度ヲ置クベキデアラウト思フタ趣意デアリマス、徹底シマセヌ
カト思ヒマシテチヨット追加シテ置キマス

○佐竹三吾君 只今遞信大臣ノ御説明ニ依リマスルト云フト、先程御述ニナッ
タノト少シ違ツテ居ルヤウニ了解イタシタノデアリマス、ソレハ臺灣ノ例ヲ
取ツテ見マスルト、若シ鐵道省ニ於キマシテ臺灣航路ヲ直營スル時ニハ其鐵道

省ノ船ニ依ッテ輸送スル聯絡貨物ニ付テハ通シ運送狀トカ或ハ鐵道ノ發行ス
ル貨物引替證ニ依ッテ、或ハ船ノ上ノ……所謂船荷證券ニ代ル有價證券ト云

フコトニナリマス、ソレガ若シ便利デアルト御認メニナル以上ハ、偶、鐵道
省ガ直營シテ居リマシテモ、船積其他ノ關係カラ商船會社ノ船デアルトカ、
或ハ其他ノ船ニ依ッテ其貨物ヲ運ビマシタ時ト同様ナ取扱ヲスルト云フコト

ガ、實際ノ便宜ニ適フノデアリマシテ、鐵道ノ所屬ノ船デアル場合ニハ鐵道
ト同ジニスル、或ハ鐵道所屬以外ノ船デアル場合ニハ取扱ヲ變ヘルト云フコ
トデアリマスト云フト、是ハ實際ノ便利カラ申シマスト利益ノナイコト思
フノデアリマス、私ノ御尋ハ鐵道所屬ノ船舶ニ限ルト云フ必要ハナイヂヤナ
イカ、ソレニ附屬シテ居ナクテモ同様ノ目的ヲ以テ運搬スル其航路ニ付テハ
……其船舶ニ付キマシテハ、同等ノ取扱ヲスルト云フコトガ適當ト思フノデ
アリマス、併シ是レ以上ハ議論ニナリマスカラ、若シ鐵道大臣ガ何處迄モ此
通リデ宜シイト云フノデアリマスレバ、又委員會等ニ於キマシテ更ニ御意見
ヲ承リタイト思フノデアリマス

○議長(公爵德川家達君) 日程第六、第七、第八ノ三法案ハ鐵道敷設法中改
正法律案外四件ノ特別委員ニ付託イタシマス、日程第九ノ特別委員ノ氏名ヲ
書記官ヲシテ朗讀イタサセマス

〔瀬古書記官朗讀〕

鐵道營業法中改正法律案特別委員

候爵西郷 從徳君 伯爵酒井 忠正君 子爵秋元 春朝君
男爵伊江 朝助君 湯淺 倉平君 安樂 兼道君
安立 綱之君 佐竹 三吾君 風間八左衛門君

○議長(公爵德川家達君) 日程第十、關稅定率法中改正法律案、政府提出、
衆議院送付、第一讀會、日程第十一、大正十三年法律第二十四號中改正法律
案、政府提出、衆議院送付、第二讀會

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
昭和四年三月十八日

衆議院議長 川原茂輔

貴族院議長公爵德川家達殿

關稅定率法中改正法律案

關稅定率法別表輸入稅表中左ノ通改正ス

第三十二號ヲ左ノ如ク改ム

三二 茶

一 紅茶

二 紅茶粉

三 包種茶

四 其ノ他

第三十六號第二項中「四三・〇〇」ヲ「二六・〇〇」ニ改ム

第四十四號中「七・二〇」ヲ「二一・六〇」ニ改ム

第四十六號中「一七・五〇」ヲ「二六・三〇」ニ改ム

第四十七號中「一三・三〇」ヲ「二〇・四〇」ニ改ム

第五十四號中「二〇・五〇」ヲ「三九・三〇」ニ改ム

第七十二號第一項甲ヲ左ノ如ク改ム

每百斤	每百斤	每百斤	每百斤
一〇・六〇	八八・一〇	二九・五〇	六・〇〇

二割五分	二割	四	價
三九・三〇	五	百	從

塗リタルモノ	イ タンニン鞣ノモノニシテ黒 色無地ノモノ	ロ 其ノ他
--------	--------------------------	-------

第八十四號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

八四ノ二 ガット(テニスラケット用ノモノ)

第三百九十二號第一項ヲ左ノ如ク改ム

割	價	價	從
五	三九・三〇	五	百

一 印刷シタルモノ
甲 轉寫用ノモノ
乙 其ノ他

第三百九十三號中「三割」ヲ「五割」ニ改ム

第四百三十九號第二項甲中「碍子」ヲ「電氣用ノモノ」ニ改ム

第四百五十七號第二項乙ヲ左ノ如ク改ム

乙 其ノ他

イ 電氣用ノモノ

ロ 其ノ他

從	價	二割五分
四	四	割

第五百六十號第一項中「每箇」ヲ「從價」ニ、「七・四〇」ヲ「四割」ニ改ム
第六百十二號第一項甲ヲ左ノ如ク改ム

甲ノ一 花梨木及黃楊木

從	價	三割
甲ノ二 鐵刀木、紅木、紫檀及黑檀（縞黑檀ヲ除ク）	每百斤	○・五〇

同號第二項丁ヲ左ノ如ク改ム

丁 花梨木及黃楊木

從	價	四割
戊 其ノ他	二割五分	

第六百四十號第一項中「及同附屬品」ヲ「其ノ他ノ戶外運動具及同附屬品」ニ改ム

附 則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正十三年法律第二十四號中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和四年三月十八日

衆議院議長 川原茂輔

〔政府委員大口喜六君演壇ニ登ル〕

大正十三年法律第二十四號中改正法律案

大正十三年法律第二十四號中左ノ通改正ス

大正十三年法律第二十四號中左ノ通改正ス

大正十三年法律第二十四號中左ノ通改正ス

大正十三年法律第二十四號中左ノ通改正ス

大正十三年法律第二十四號中左ノ通改正ス

ク」ニ改ム

同第百三十八號、第百三十九號、第三百九十一號、第三百九十二號、第三百九十三號、第四百十四號及第四百二十四號ノ項ヲ削ル
同第四百三十九號ノ項中「（碍子ヲ除ク）」ヲ「（電氣用ノモノ及二乙ノ内素燒ノモノヲ除ク）」ニ改ム

同第四百五十七號ノ項中「（二甲ヲ餘ク）」ヲ「（二甲及二乙 イヲ除ク）」ニ改ム
同第六百十二號ノ項ヲ左ノ如ク改ム

同第五百六十號ノ項ヲ削ル

同第六百十二號ノ項ヲ左ノ如ク改ム

六一二 木材

一單ニ切り、挽キ又ハ割リタルモノ（甲ノ一ヲ除ク）	二其ノ他
戊ノ内 鐵刀木、紅木、紫檀及黑檀（縞黑檀ヲ除ク）	

同第六百四十號ノ内ノ項ヲ左ノ如ク改ム

六四〇 ビリヤード、テニス、クリッケット、象棋其ノ他ノ遊戯具及同附

屬品（一ヲ除ク）

附 則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

參照

大正十三年法律第二十四號ハ贅澤品等ノ輸入税ニ關スル法律ナリ

○政府委員（大口喜六君）關稅定率法中改正法律案及大正十三年法律第二十四號中改正法律案ヲ一括イタシマシテ御説明ヲ申上ゲタイト存ジマス、大正十三年法律第二十四號、即チ贅澤品等ノ輸入税ニ關スル法律ハ國民奢侈ノ弊別表輸入税表番號第三十二號、第三十三號、第三十六號、第四十四號、第四十六號、第四十七號及第五十四號ノ項ヲ削ル
同第六十九號ノ項中「（兔毛皮竝鞣ササル綿羊皮及山羊皮ヲ除ク）」ヲ「（犬毛皮、猫毛皮、兔毛皮竝鞣ササル綿羊皮及山羊皮ヲ除ク）」ニ改ム
同第七十二號ノ項一甲中「塗リタルモノ」ヲ「塗リタルモノ（一甲イヲ除ニハ其用途等ヨリ觀察イタシマシテ、之ヲ除外イタシマスルノヲ適當ト認ム

ルモノガアルノデアリマス、即チ茲ニ提案イタシテ居リマスル茶、其他二十有餘ノ物品ハ食料品ト致シテ一般ニ需要セラレルモノ、體育又ハ文化教育用ノ物、又工業的用途ニ供セラレル物、或ハ又輸出品原料ニ供セラレル物等デアリマスルノデ、是等ヲ本法指定品目中ヨリ削除スルノヲ適當ト認メタ次第デアリマス、右削除イタシマスル所ノ結果ハ、是等ノ物品ニ對シマシテハ一般關稅率ヲ適用サレルコトニナルノデアリマスガ、大正十五年ノ一般關稅率改正ノ際ニ於テハ、十割關稅ノ課稅品ニ對シマスル稅率ハ停止ノ狀態ニアリマスノデ、何等改正モ加ヘナカッタ關係上、前述ノ物品ノ中其生産輸入竝ニ需給ノ狀況等ヨリ考ヘマシテ、一般稅率ニ適當ナル改正ヲ加ヘル必要ガアルノデアリマス、ソレ故茲ニ兩改正法律案ヲ提出イタシタ次第デアリマス、何卒御審讓ノ上御協賛アラムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第十二ハ通告ガゴザイマスカラ小畠男爵ニ發言ヲ許シマス

〔男爵小畠大太郎君演壇ニ登ル〕

○男爵小畠大太郎君 昨日モ此關稅法中改正法律案ガ出マシテ、多數議員諸君カラ御熱心ナ御質問ガゴザイマシタノデゴザイマスガ、要シマスニ此國民生活上、國民ノ生活上安定ヲ得ルコトニ歸スルノデゴザイマス、私ノ只今御尋ね申上ゲヤウト存ジマスルノモ其點デアルノデゴザイマス、或ハ今日伺フヨリ昨日伺ツタ方ガ適當デアッタカトモ存ゼラレマスガ、昨日ハ時間ノ都合上本日ニ致シマシタ次第デアリマス、ソレハ我ミガ日常生活上非常ニ使用イタシマス所ノ銅デゴザイマス、詰リ建築用或ハ電氣製作品、ソレカラ之ヲ工作イタシテ……加工イタシテ真鍮ニ致シ、或ハ赤銅ニ致シ、外國ニモ輸出イタシマスデアリマスガ、是ガ今ヲ去リマス數年前、大正十一年四十五議會ノ折デアリマス、歐羅巴大戰ノ後銅ノ値段ガ下落イタシマシテ、其當時日本ノ產銅業者：之ノモノデアリマスガ、先づ三四ト申上ゲテ宜シト存ジマスガ、其者共ガ非常ニ運動イタシマシテ其結果輸入ハ……殆ド禁止的ノ高率稅ヲ課シテ居ルノデアリマス、ソレガ丁度四十五議會當時、當院ニ於テモ大變ニヤカマシイ位ノモノデアリマス、先づ三四ト申上ゲテ宜シト存ジマスガ、其ガコトデアリマシタケレドモ、遂ニ其當時實施ナレマシテ今日ニ及ンダ次第デアリマス、然ルニ最近ノ新聞ニ依リマスルト、昨日ノ相場ハ是ガ戰後殆ド新ラシイ高値ニ達シテ居ルノデアリマス、少シ諄ウゴザイマスルガ其當時カラ

ノ模様ヲ述ベサテセテ戴キマス、歐洲大戰後ニ及ビマシテ此銅ノ値段ガ段々下リマシテ亞米利加カラ……主ニ亞米利加カラ參ッタノデアリマスガ、是ガ關稅、其他……其當時一圓二十錢ノ稅ヲ加ヘマシテ又運賃モ加ヘマシテ百斤三十七八圓デ輸入サレタノデアリマスガ、其當時ハ勞銀モ大變内地ニ於テ高ウゴザイマシテ、產銅業者ノ生產費ト申スモノガ四十五圓ホドカ、ツタノデアリマス、三十七八圓カラ四十五圓ノ差、七圓位ノモノガ稅トナッテ只今申上ゲマシタ輸入、殆ト防遏禁止的ノ高イ稅トナリマシテ、今日ソレヲ課セラレテ居ル次第デアリマス、然ルニ昨年一月以來段々ト此銅ノ値段モ上リマシテ昨日ノ電報ニ依リマスルト、亞米利加デ「ボンド」ガ二十一仙ト云フコトニナッテ居リマス、日本ノ立前ハ百「キロ」建ノ勘定ヲシテ居リマス、此大正十一年頃ハ斤建ニナッテ居リマシテ百斤ト云フコトニナッテ居リマスカラ、便宜ナッテ居リマス、サウ致シマスルト、生產費ト……其當時ノ高イ勞銀ノ生產費四十五圓ト今ノ七十圓ホドノ相場ト比ベマスルト、今日ハ二十五圓ホドノ暴利ヲ產銅業者ハ貪ツテ居ルト申シテ宜カラウト思ヒマス、之ヲ引繰返シテ申上ゲマスレバ我ミハ二十五圓ホド餘分ノ金ヲ拂ツテ居ルト申シテ宜カラウト思フノデアリマス、或ハ是ガ一時的ノ銅ノ値段ノ暴騰デアルダラウト云フ考ヘモ浮ブノデアリマスガ、決シテサウデハナイノデアリマスガ、是ハ昨年南米智利、ソレカラ秘露ニ於テ大キナ銅山ニ災害ガアッテ、殆ド其過半ト云フモノハ加ガソレヲ全然握ツテ仕舞ハウト云フ考ヲ以チマシテ亞米利加ガ……是迄ハ英吉シテ、モウ確實ニ亞米利加ガ銅ノ相場ヲ左右スルコトニナッタノデアリマスガ、ドウシテモモウ値段ト云フモノハ動カヌト申シテ宜加ガソレヲ全然握ツテ仕舞ハウト云フ考ヲ以チマシテ、大ナル「トラスト」ヲ起シテ、現ニ今年二月十八日續キマシテ三月二日ニ關稅委員會ヲ開イテ居ラマシタ、現ニ今年二月十八日續キマシテ三月二日ニ關稅委員會ヲ開イテ居ラレルノデアリマスガ、何等御考慮ガナカッタヤウデアリマス、私ハ如何ナル理由デアリマスカ、甚ダ訝カシク思フ次第デアリマス、二月十八日頃ノ相場ヲコトデアリマシタケレドモ、遂ニ其當時實施ナレマシテ今日ニ及ンダ次第デアリマス、然ルニ最近ノ新聞ニ依リマスルト、昨日ノ相場ハ是ガ戰後殆ド新デアリマス、ソレデアリマスカラ政府當局ニ何カ御考ガアラレルナラバ、二

月十八日越エテ三月二日ノ關稅調查會ニソレヲ持出サレナケレバナラヌ筈ト思フノデアリマス、是ハ甚ダ穿チマシタコトデ誠ニ失禮ナ話デアリマスガ、政府ノ要路ニ產銅業ノ御方モアラレルカラ或ハソンナヤウナコトデ憚ッテ居ラレルノデハナイカト存ジマス、又世間ニ於テサウ云フコトヲ言ハレテモ、是ハ辯解スルノ辭ハ恐ラクアルマイト思フノデアリマス、就テハ私ハ商工大臣ニ伺ヒタイノデアリマスガ、何ガ故ニ此調査會ニ此御提案ガナカッタノデアリマセウカ、ソレカラ最早議會開會ノ餘日モアリマセヌケレドモ、進ンデ此銅ノ課稅ヲ改正サレルト云フコトニ付テ御提案ナサルノデアリマスカドウカ、ソレカラ若シ爲サレル餘日ガナクテ、爲サレル時日ガナイト致シマスルナラバ、我ミ當院ニ於テ之ヲ修正イタシタ場合ニ於テ、御同意ガアルカドウカト云フコトヲドウズハッキリ御答ヲ願ヒタイト存ジマス、私ハ再質問ヲ致サヌ積リデアリマスカラ、ドウズハッサリ御答ヲ願ヒタウゴザイマス、ソレカラ若シ其必要ガナイト云フ御話ガアルナラバ、必要ノナイダケノ我ミニ理解ガ出來ルダケノドウズ御説明ヲ願ヒタイノデアリマス、ソレダケ申上ゲマス

〔國務大臣中橋徳五郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(中橋徳五郎君)只今關稅改正ニ付キマシテ小畠男爵ヨリ銅ノ關稅ヲ何故引上ゲヌカト云フ御尋デアリマシタ、一應御尤ナ御質疑ト存ジマス、銅ハ御話ノ通リニ非常ニ代價ニ高下ガアリマシテ、近頃ニナツテ大變ニ値段ガ上ツテ來タコトハ生産者ノ爲ニ非常ナ結構ナ話デアルト思ッテ居リマス、此關稅ヲ今回手ヲ著ケマセヌカッタノハ、此代價ヲ今ノ御話ニ依リマスト云フト、亞米利加ノ「トラスト」ノ爲ニ今後動クト云フ御斷定デアリマスガ、是ハ如何デアリマスカ、或ハ動カヌカモ知レマセヌガ、或ハ動クカモ知レナイ、當局ニ於テハマダ其點ニ付テ確定ノ見込ヲ持チマセヌ、ソレデ今回ノ改正ハ相當ノ多數ノ品目ニ瓦ツテ稅ヲ上げ、若クハ引下ゲルモノハ引下ゲテ、就中此贅澤關稅ノ如キハ今回二十二品目モ殆ド半額位ニ從來ノ十割稅ヲ引下ゲルヤウナ計畫モシテ居リマスガ、銅ニ付テハ今暫ク見テ居ル方ガドウデアルカト云フヤウニ考ヘテ、今回ハ手ヲ著ケナカッタ譯デアリマス、又最後ニ御質疑ニ若シ當院ニ於テ之ヲ修正ナサッタナラバ當局ハ之ニ同意スルカドウカ、斯ウ云フ御話デアリマスルガ、若シ兩院ニ於テ御決議ニナリマスルナラバ、無論兩院ノ御意思ヲ尊重イタス積リデアリマス、只今ノ所ハ當局ハモウ少シ見テ居ラドウカ、斯ウ云フ考ヲ持ツテ居ルト云フヤウナ次第デアリマス

○議長(公爵徳川家達君)日程第十二、製鹽地整理ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會
右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
貴族院議長公爵徳川家達殿
昭和四年三月十八日
衆議院議長川原茂輔
製鹽地整理ニ關スル法律案

製鹽地整理ニ關スル法律案

(小字ハ衆議院ノ修正文、――ハ同削除ノ符號ナリ)

第一條　鹽專賣法第六條ノ規定ニ依リ製鹽地ノ區域ヲ制限スル場合ニ於テハ政府ハ鹽ノ種類、製造方法ヲ區別シテ之ヲ制限スルコトヲ得
製鹽地ノ區域ノ制限ニ依リ鹽ノ製造ヲ禁止シタルトキハ政府ハ禁止ノ際ニ於ケル鹽製造者、製鹽地ノ所有者、現ニ鹽ノ製造ニ専用スル建物設備器具器械ノ所有者ニ對シ其ノ請求ニ依リ命令ノ定ムル所ニ從ヒ交付金ヲ交付ス

前項ノ鹽製造者ハ昭和四年三月以前ニ於テ鹽製造ノ許可ヲ受ケ製造禁止ノ際現ニ其ノ製造ヲ爲ス者ニ限ル但シ昭和四年四月以後相續ニ因リ鹽ノ製造ヲ承繼シタル場合ニ於テハ被相續人ノ受ケタル製造ノ許可ハ相續人ニ於テ之ヲ受ケタルモノト看做ス

昭和四年三月ニ於ケル實況ニ依リ鹽ノ製造ヲ廢止シタルモノト認ムベキ製鹽地ニ付テハ鹽製造者、製鹽地及之ニ附屬スル建物設備器具器械ノ所有者ニ對シ第二項ノ交付金ヲ交付セズ

第二條　交付金ハ左ノ各號ニ依リ之ヲ定ム

一　鹽製造者ニ對シテハ製鹽地一年間納付鹽賠償金額(鹹水ヲ買受ケ鹽
ノ製造ヲ爲ス者ニ付テハ其ノ買受代金ヲ控除シタル金額)ノ三割五分
ニ相

當スル金額

鹹水ヲ賣渡シタルモノアルトキハ其ノ賣渡代金ハ之ヲ納付鹽賠償金ト看做ス

二 製鹽地所有者ニ對シテハ製鹽地ノ價額ヨリ鹽製造禁止後ニ於ケル其ノ見込價額ヲ控除シタル金額

三 鹽製造専用ノ建物設備器具器械ノ所有者ニ對シテハ建物設備器具器械ノ價額ヨリ鹽製造禁止後ニ於ケル其ノ見込價額ヲ控除シタル金額

第三條 前條ノ納付鹽賠償金額ハ大正十四年ヨリ昭和二年ニ至ル三年ノ納付鹽賠償金額ノ平均ニ依リ之ヲ定ム但シ三年中鹽ノ製造ヲ繼續セザル年

製鹽地ノ納付鹽若ハ鹹水ノ數量ヲ區分シ難キ年又ハ納付鹽及賣渡鹹水ナキ年アルトキハ之ヲ除キタル年ノ納付鹽賠償金額ノ平均ニ依リ平均ナキトキハ其ノ除キ事故ナキ年ノ納付鹽賠償金額ニ依ル

大正十四年ヨリ昭和二年ニ至ル三年共ニ前項但書ニ規定スル事故アル製鹽地ノ納付鹽賠償金額ハ政府之ヲ決定ス

第四條 製鹽地ノ價額及鹽製造禁止後ニ於ケル製鹽地ノ見込價額ハ鑑定人ノ意見ヲ徵シ政府之ヲ決定ス

第五條 前條ノ決定ニ對シ不服アル者ハ十日內ニ其ノ申立ヲ爲スコトヲ得

此ノ場合ニ於テハ政府ハ更ニ鑑定人ヲ選定シ其ノ意見ヲ徵シ之ヲ裁定ス
第六條 交付金ノ總額ハ千三百萬圓以内トス

其ノ裁定ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第七條 交付金ハ額面金額ニ依リ五分利附國債證券ヲ以テ之ヲ交付ス但シ鹽製造者ニ對スル交付金ノ一部は國債證券ノ最小額面金額ニ満タザル端數ハ現金ヲ以テ之ヲ交付ス

第八條 政府ハ前條ノ交付金額中同條但書ノ規定ニ依リ現金ヲ以テ交付スル額ヲ除キタル金額ノ限度ニ於テ公債ヲ發行スルコトヲ得

第九條 鹽ノ製造ヲ禁止シタル區域内ニ於ケル鹽製造専用ノ建物設備器具器械ニ對シテハ政府ハ監督上必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

○政府委員(大口喜六君) 製鹽地整理法案ニ付キマシテ提出ノ理由ヲ御説明イタシタイト存ジマス、内地ニ於ケル鹽ノ平均生産費ヲ引下グマシテ、價格低廉ナル植民地鹽ノ輸移入數量ヲ増加イタシマシテ、國民ニ供給スル食鹽ノ價格低減ヲ期シマスルト共ニ、内地鹽ノ需要供給ヲ調節イタシマスル爲ニハ、

内地ニ於ケル比較的不良ナル製鹽地ヲ整理イタシマスルコトハ最モ必要ナルコトデアルト存ジマス、政府ハ昭和二年度及昭和三年度ノ二箇年ニ瓦リマシテ、是ガ準備調査ヲ行ッタノデアリマスルガ、今同成案ヲ得マシタノデ、製鹽地整理ヲ實行セムト致シマスルモノデアリマス、整理セムト致シマスル製鹽地ハ反別ニ於キマシテ約一千町歩、鹽生產高ニ於キマシテ約一億五千万斤ノ見込デアリマシテ、此整理ヲ實行スル爲ニハ大體明治四十三年、四十四年ニ於ケル製鹽地整理ノ例ニ倣ヒマシテ、製鹽業者、製鹽地所有者、製鹽設備器具機械ノ所有者ニ對シマシテ交付金ヲ交付スルコト致シマシテ、其金額ハ約千三百万圓トナルノデアリマス、尙ホ本製鹽地整理ハ昭和四年度、昭和五年度ノ二箇年間ニ於テ完了セムトスル豫定デアリマス、而シテ何レノ製鹽地整理スルカニ付キマシテハ、生産費、生産力ノ關係、製鹽地整理ノ地方經濟ニ及ボシマスル所ノ影響並ニ製鹽從業者ノ轉業關係等ヲ慎重ニ考慮イタシマシテ、整理製鹽地ノ取捨選擇ヲ誤ラナイヤウ最善ノ處置ヲ執リタイト考ヘテ居リマス、何卒御審議ノ上御協賛ヲ與ヘラレムコトヲ希望イタシマス

〔子爵大河内正敏君演壇ニ登ル〕

○子爵大河内正敏君 私ハ只今提案セラレマシタ製鹽地整理ニ關スル法律案ニハ贊成ヲスルノデアリマス、贊成ヲスルノミナラズ、何故ニ今日マデ斯ノ如キ法律案ヲ提案シナカツタカ怪シムノデアリマス、併ナガラ此贊成ノ意味ハ即チ鹽專賣法ノ問題デアリマス、私ハ豫々鹽專賣法ナルモノハドウシテモ是ハ廢止サレナケレバナラナイモノデアル、鹽專賣法ノ爲ニ日本ノ製鹽業ガドノ位廢頗シタカ、即チ生產ニ於テ進歩改良ト云フコトガ頗ル等閑ニ付セラレテ居ルノデアリマス、日本ノ鹽ノ生產費ハ勿論地理ノ關係上カラモ高イト云ル額ヲ除キタル金額ノ限度ニ於テ公債ヲ發行スルコトヲ得

大事ナ、是ハ工業ノ原料デアル、工業ノ原料デアリ、又國民生活ノ必要點デアル、成ルベク廉ク供給シナケレバナラナイモノヲ專賣法ニ依ッテ高ク供給スルト云フコトハ宜シクナイ、勿論今日ハ之ヲ高ク供給シテ居ラナイト云フノデアリマセウガ、元々鹽專賣法ト云フモノハ收入ヲ目的トシテ起ッタノデアリマス、一體專賣法ト云フモノハ如何ナル國ノ專賣法デモ收入ノ目的デアル、煙草ノ專賣ニシテモ、或ハ其他ノ國ノ專賣ニシマシテモ、悉ク是ハ收入ヲ目的トシテ居リ、而シテ專賣ニナツタ品物ハ必ズ惡クナルト云フノガ是ガモウ法則デアリマス、日本ノ煙草ニシマシテモ決シテ旨イ煙草ハ出來テ居ラナイ、佛蘭西ノ「マッチ」ヲ御覽ニナレバ如何ニ粗製ナ「マッチ」デアルカト云フコトガ一見シテ分ルノデアリマス、是ハ即チ專賣法ノ弊デアリマス、何時モ收入ノモウ途ノ絶エタモノヲ何時迄モ之ヲ保存セラル、ノハ何ノ爲メデアルカト云フコトヲ政府ニ伺フト云フト、其主ナル理由トシテ舉グレタノハ先づ三ツノ理由ガアツタノデテリマス、第一ハ國防上必要デアル、一旦有事ノ日ニ鹽田ヲ廢止シテシマッタナラバ國民生活必需品ノ鹽ヲ得ルコトガ出來ナイ、是ハ由々敷大事デアルカラ國防上必要デアルト云フヤウナ答辯デアリマス、併ナガラ是ハ昔ノ答辯デ今日ノ時代ニ於キマシテハ全ク耳ヲ傾ケルニ足ラナイ理由デアリマス、即チ工業動員、國家總動員ト云フヤウナモノヲ少シク調べマシタ者ニハ何人モ鹽ノ製造ト云フモノガ有時ノ日ニ忽チニシテ行ハレルモノデアル、日本ハ幸ニシテ海ヲ圍シテ居リマスカラ、如何ナル所カラデモ鹽ヲ得ルコトガ出來ル、而モ其製造装置ノ如キハ數箇月ナラズシテ完成スルノデアリマスカラ、工業動員ヲ布ク上ニ於テ最モ容易イノデアル、之ニ反対ナノハ鐵デアツテ、最モ製造ガ困難デアル、製造ノ準備ダケニ一年モ掛ルト云フノデ何時モ問題ニナツテ居ルノデアリマス、鹽ノ如キハ一番容易イノデアリマス、即チ國防上之ヲ顧慮スルナドトハ全ク是ハ昔ノ問題デアリマシテ、今日ハ顧慮スル必要ガ無イノデアリマス、第二ハ製鹽地ノ整理ニ對シテ國家ガ一時ニ多額ノ金ヲ要スルト云フノデアリマス、是ハ尤モナル理由ト思ヒマスガ、今日既ニ製鹽地整理ニ關スル法律案ガ出テ來テ、段々ニ國家ノ鹽田ト云フモノガ整理サレナケレバナラナイ機運ニナツテ來テ居ルノデアリマス、ノミナラズ整理ヲシマシテ國家ハ收入ヲ増スノデアリマス、少クモ專賣法ヲ布イテ居ル間ニ早ク整理ヲシテシマッテ、而シテ整理ガ出來マシタ時ニ初メテ此專賣法ヲ廢止スルト云フノモ一案デアルト思ヒマス、第三ノ理由ハ鹽

ノ價格ガ高クナルト云フノデアリマスガ、是モ殆ド言フニ足ラナイ理由デアルト思ヒマス、生産費ガ高クナルヤウナ法律ヲ布イテ置イテ、サウシテ鹽ノ價格ガ安クナル理由ハナイノデアリマス、若シ專賣ヲ廢シテ自由ニ鹽ノ製造ヲヤラセルナリ、或ハ自由ニ鹽ノ輸入ヲサセルナリ致シマシタナラバ、必ズ目的トシテ居リ、而シテ專賣ニナツタ品物ハ必ズ惡クナルト云フノガ是ガモウ法則デアリマス、滑ニ行カナイト云フノナラバ、是ハ社會政策トシテ必要ナ事柄デアリマス、鹽ノ價格ト云フモノハ低下スルノデアリマス、又需要關係、需給ノ問題ガ圓カト云フコトヲ政府ニ伺フト云フト、其主ナル理由トシテ舉グレタノハ先づ三ツノ理由ガアツタノデテリマス、何レノ方面カラ考ヘマシテモ此專賣法ト云フモノハ一日モ早クウトスルノデアリマス、今政府ハ肥料ノ管理法案ヲ提出サレテ居ルノデアリマス、肥料ノ管理ニ依ッテ肥料ヲ成ルベク安ク公平ニ配付シヤウト云フ案デアリマス、若シ鹽ノ價格ガ高クナリ、又鹽ノ需給關係ガ惡クナルト云フノデアリマスナラバ、專賣法ニ代フルニ管理法ヲ以テシナケレバナラスト思フノデアリマス、何レノ方面カラ考ヘマシテモ此專賣法ト云フモノハ一日モ早ク廢メナケレバナラナイ、例ヘバ行政上ノ統制ノ上カラ言ヒマシテモ頗ル是ハオカシナ問題デアル、社會政策上鹽ノ配給ガ必要デアルト云フナラバ、是ハ大藏省ノ所管デヤルベキモノデナイト思フノデアリマス、内務省ノ所管ニ移スベキモノデアル、工業鹽ヲ政府ハ損ヲシテ賣ツテ居ル、工業發展ノ爲ニ損ヲシテ政府ハ工業家ニ供給シテ居ルト云フノナラバ之ヲ商工省ノ所管ニ移サナモノデアル、日本ハ幸ニシテ海ヲ圍シテ居リマスカラ、如何ナル所カラデモケレバナラナイ問題デアル、現ニ肥料管理法案ハ農林省ノ所管トシテ提案サレテ居ルノデアリマス、又漁業鹽モ安ク供給スルト云フノナラバ此需給關係ヲ管理スル所ハ是ハ當然農林省デナケレバナラナイ、行政上ノ上カラ申シマシテモ、大藏省ガ此專賣法ヲ持ツテ居ル、サウシテ專賣法ヲ施行シテ居ルト云フノハ收入ノ上ニ於テモ無意味デアルシ、行政上ノ點ニ於テモ無意味デアルト思ヒマス、又今日ノ工業鹽ノ如キ或ハ漁業鹽ノ如キハ殊更ニ混ゼ物ヲシテノリト云フノデアリマス、ソレヲ工業鹽ニ代ヘテ使ツテ居ルノデアリマス、非常ニ不經濟ナコトヲシテ居リマス、不經濟ナコトハ尙ホ忍ブベシトシテ思ヒマス、又今日ノ工業鹽ノ如キ或ハ漁業鹽ノ如キハ殊更ニ混ゼ物ヲシテノリト云フノモノハ副產物トシテ此鹽ガ出テ來ル場合ガ澤山出テ來ル、是ガ專賣法ノ爲ニ製造家ガドノ位不便ヲスルカ製造裝置マデモ變ヘテ掛カラナケレバナラヌ、折角外ノモノハ生產費ガ安クナルノヲ鹽ガ副產物トシテ出テ來ルト云フコトノ爲ニ高クナル場合モアルノデアリマス、又ソレヲ避ケナケ

レバナラヌト云フ場合モ起ツテ來ルノデアリマス、ドノ方面カラ考ヘマシテモ此鹽專賣法ト云フモノハ一日モ早ク廢止シナケレバナラヌ、其前提トシテ此製鹽地整理ニ關スル法律案ヲ提出セラレタモノト私ハ考ヘテ大イニ喜ンデ居ルノデアリマスガ、衆議院ニ於ケル政府當局ノ御答辯ヲ見マスルト、鹽專賣法トハ關係ノナイ、飽クマデ政府ハ鹽專賣法ヲ固執セラレルヤウニ考ヘルノデアリマスガ、此點ニ於テ能ク此際明確ニ政府ノ御所見ヲ伺ツテ置キタイト云フノガ是ガ私ノ質問ノ要旨デアリマス

〔政府委員大口喜六君演壇ニ登ル〕

シマス、此鹽ノコトニ付キマシテハ、只今大河内子爵ノ御述ベニナリミシタ
ヤウナ事情ガ十分ニアリマスコトヲ私共モ認メテ居リマス、工業ノ上カラ申
シマスレバ、御承知ノ通リ只今工業原料ト致シマシテハ、個人ノ自由輸入ヲ
許シテ居リマスケレドモガ、御説ノ如ク化學工業ノ上ヨリ鹽ノ副產物トシテ
出マシタ場合、或ハ商工業者ナドガ鹽ヲ原料トシテ得タ場合等ニモ隨分不便
ガアリマス、ソレ故ニ此工業ノ立前カラ申シマスレバ、鹽ノ專賣ト云フコト
ハ餘程是ハ支障ニナルモノデアルコトハ私モ誠ニ御同論デアリマス、ソレカ
ラ世界ノ鹽ヲ考ヘマスレバ、誠ニ安イモノデアリマスカラ、專賣法ヲ撤廢イ
タシマスレバ世界的ニ安イ鹽ガ内地ニ這入ツテ參ッテ我ゝ御互モ安イ鹽ヲ食糧
トシテ使ヘマスルト申シマスコトモ誠ニ御同感デアリマシテ、其通リデアラ
ウト考ヘルノデアリマス、唯茲ニ考ヘネバナリマセヌコトハ、只今子爵ヨリ
モ御話ガアリマシタヤウニ、鹽ハ申ス迄モナイ生活上缺クベカラザル必需品
デアリマス、成程今日ノ化學工業ノ進歩カラ申シマスレバ、一朝事ガアリマ
シタ時ニ、我國ハ四面海ノ國デアリマスカラ、鹽ヲ得ルノハ容易イモノデア
ルト論ジマスレバ、或ハ左様デアラウカトモ存ジマスケレドモガ、免ニ角我
國民ハ生活ニ必要ナダケノ鹽ヲ握ッテ居ラナクテハ、甚ダ不安心デアルト云
フ一つノ觀念モアリマスノデ、免ニ角我國ニハ今日マデ内地ニ於キマシテ、
是ダケノ鹽田ヲ有ツテ居ツテ之ニ依ツテ確ニ食糧ニ必要ナ鹽ダケハ得ラレルト
云フコトニナツテ居リマスルガ故ニ、平素生活ニ必要ナダケノ鹽ハ少シハ高ク
テモ之ヲ忍ンデ國民ガ有ツテ居ラナクテハナラナイト云フ一つノ考デ今日マ
デ參ツテ居ルモノト思ヒマス、此考ト云フモノガ、或ハ是ハ遲レタ考ヘデアツ
テ、今日以後益進歩イタシテ何等之ニ心配ガナイト云フ茲ニ確證ガ次第

ニ得ラレテ參リマスレバ、是ハ誠ニ御說ノ通リ一ツノ改革ノ出來ル時機デア
ラウカト考ヘマス、私衆議院デモ是ハ答辯イタシマシタガ、有體ニ申シマス
共思ッテ居リマス、幸ヒ此政府ガヤツテ居リマス所ノ鹽ノ製造ノ試驗等ガ成功
イタシテ都合好ク參ツテ居リマスレバ、或ハモウ少シ進ンダル考ヘモ出來タデ
アリマセウガ、今日我々當局ニナリマシテ、今日マデ試驗ヲ致シテ居ル成
績ヲ見マスト云フト、或部分ニ於キマシテハ、成功モ致シテ居リマスガ、又
根本カラ考ヘマシテ、我國ノ海水カラ鹽ヲ採リマシテ相當ニ引合フモノトハ
見ラレナイノデアリマス、今日ノ狀態カラ考ヘマスルト、或程度ノ矛盾ハア
リマスガ、先ヅ生活ニ必要ナダケノ今日マデ有ツテ居ル鹽ダケハ、押サヘテ
居リタイト云フコトノ觀念ガマダ取レナイノデアリマス、之ヲ一方ニ維持シ
ツヽ、一方ニ於テハ成ルベク安イ原料モ入レ、一面ニハ改善モ行ツテ彼岸ニ到
達シヤウト云フノデアリマスカラ、此處ニハ鹽ノ政策上頗ル苦シイ立場ニア
ルモノト考ヘマス、ソレ故ニ私共ハデス、出來マス限リ改善改革ヲ行ツテ參リ
マシテ、整理スベキモノハ出來ルダケ整理ヲ致シマシテ、次第二目的ニ達シ
タイト考ヘテ居リマスガ、今日直ニ專賣法ヲ廢スト云フコトガ申上ゲ兼ネマ
スノハ此理由ニナツテ居ルノデアリマス、又需給調節ノ上カラナラバ、管理デ
致シテ宜イデハナイカト云フ御説ハ、一應御尤デアリマシテ、屢承ル議論デ
アリマスルシ、私共モ亦新ニ此法ヲ設ケマスルナラバ、或ハソレガ宜イカト存
ジマスルガ今日マデ長間專賣法ヲ行ツテ參リマシテ、先ヅ是デ行ケテ居ルモ
ノデアリマスガ故ニ、今日之ヲ急ニ更メテ管理法ニスルノハ如何デアラウカ
ト考ヘマシテ、今日マデノ此專賣法ヲ改良シ得ラレルダケノ時勢ニ應ジテ改
良シテ、次第ニ彼岸ニ達シタナラバ如何デアラウカト、斯ウ私共ハ衷心カラ
考ヘテ居リマス、只今御述ベノ如ク最初ハ此鹽ノ專賣法ハ收益ガ目的デアリ
マシタガ、大正七八年頃物價ノ非常ニ下落ノ場合ニ當リマシテ、鹽モ御承知デ
アラセラレマスル如ク、全ク此收益主義ヲ打捨テマシテ、需給關係ニ於キマシ
テ只今ハ鹽ヲ致シテ居ルノデアリマス、而シテ工業ノ原料等ニ付キマシテハ
大分不便モアリマスガ、先ヅ大體ニ於テ改良サレテ居ルコト、考ヘマスルカ
ラシテ、只今ノ所ハ此鹽ノ專賣法ヲ維持イタシマシテ、之ニ依テ需給ノ調節
並ニ我國民ガ確カニ此處ニ食料品ヲ握ツテ居ル、此事ダケハ續ケテ參ツテ、併
シ是ハ出來ルダケ縮小ヲ致シマシテ、出來ルダケ整理ヲシテ、最低限度ノモノ

ニシテ、之ヲ維持シテ暫ク參リタトイ云ノガ、只今ノ政府ノ方針ニアリマスカラ、或ハ此學術上カラ御考ヘ下サイマシタナラバ、此方針ニハ御不満足ノ點モアラウカトモ思ヒマスガ、私共實務ニ當リマスル關係上、此遺リ方ヲ

只今適當ナリト信ジテ、今回ハ此程度ノ整理ヲシマシタ次第デアリマスルカラ、ドウカ政府ノ意ノ在ル所ヲ御了解ヲ願ヒタイト考ヘマス

○子爵大河内正敏君 私モ今日直グ此專賣法ヲ廢止シロト云フノデハナイノデアリマス、是ハ漸ヲ逐フテ廢止ノ目的ヲ達シ得ナケレバナラヌ、ユックリ適當ナ時機ニ於テ是ハ廢止サレナケレバナラヌト云フコトヲ信ズルノデアリマスカラ、只今問題ノ生活必需品、生活ニ必要ナダケノ鹽ハ握ツテ置キタト云

フ、是ハ御尤ナ話デアリマスガ、是ガ行政上統一ガ取レテ居ラナイ一ツノ結果ト思ヒマス、斯ノ如キ問題ヲ調査スルニ資源局ガアリ、陸軍省ニハ整備局ガアリ、海軍省ニハ軍需局デアリマスカ、左様ナモノガアツテ、一旦有事ノ日ニ於ケル軍需品、國民ノ生活必需品ノ需要供給ヲ如何ニスルカト云フ問題ヲ常ニ研究シテ居ルノデアリマス、大藏省ハ是等ノコトハ殆ド關係シテ居ラレナイ、今日ノ何カラ言ヒマスナラバ、日本ニ於テ、日本ノ海水カラ鹽ヲ採ルコトハ到底經濟上引合ハナイ、ソレハ引合ハナイノガ當リ前デアリマス、之ヲ引合ハセヤウトスルノガ間違ヒデアル、併ナガラ有事ノ日ニ必要ニ迫ラレタ場合ニハ、經濟上ノ問題デナイカラ、直グニ是ハ器械製鹽ナリ何ナリヲヤルコトガ出來ル、生產費ヲ考慮シナケレバ直グニ鹽ハ出來テ來ルノデアリマス、出來ナイノデハナイ、出來テモ引合ハナイノデアリマスカラ今日ハ造ラナイノデアリマス、所謂工業動員ノ上カラ言ヒマスレバ全ク是ハ顧慮スル必

要ハナイ、國民ノ生活ニ必要ナル食糧タル米ハドウデアルカ、此供給ガ足ラナイト云フノデ、食糧調査會ノヤウナモノマデ出來テ研究シナケレバナラヌ位、食糧問題ハ大問題ニナッテ居ル、此米ノ問題ニハマルデ手ヲ付ケズニ、一朝有事ノ日ニ何處カラ供給ヲ受ケルカト云フ見込モ立ツテ居ナイノニ、容易ク供給ノ出來ル鹽ハ損ト知リナガラ握ツテ居ルト云フノガ今日ノ狀態デアル、此點ハ政府ノ今ノ御答辯デ、何時マデモ鹽ノ專賣ハ固執シテ居ラレナイト云フコトハ分リマシタガ、尙ホ一層進ミマシテ一日モ速カニ鹽專賣ヲ廢止セラレルト云フコトヲ希望イタシテ置キマス

○議長(公爵德川家達君) 本案ハ昭和二年法律第十五號中改正法律案外十件ノ特別委員ニ付託イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 日程第十三、救護法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

救護法案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
昭和四年三月十八日

貴族院議長公爵德川家達殿

衆議院議長 川原茂輔

救護法案

第一章 被救護者

第一條 左ニ掲グル者貧困ノ爲生活スルコト能ハザルトキハ本法ニ依リ之ヲ救護ス

- 一 六十五歳以上ノ老衰者
- 二 十三歳以下ノ幼者

三 娠產婦

四 不具廢疾、疾病、傷痍其ノ他精神又ハ身體ノ障碍ニ因リ勞務ヲ行フニ故障アル者

前項第三號ノ娠產婦ヲ救護スベキ期間並ニ同項第四號ニ掲グル事由ノ範圍及程度ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二條 前條ノ規定ニ依リ救護ヲ受クベキ者ノ扶養義務者扶養ヲ爲スコトヲ得ルトキハ之ヲ救護セズ但シ急迫ノ事情アル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

第二章 救護機關

第三條 救護ハ救護ヲ受クベキ者ノ居住地ノ市町村長、其ノ居住地ナキトキ又ハ居住地分明ナラザルトキハ其ノ現在地ノ市町村長之ヲ行フ

第四條 市町村ニ救護事務ノ爲委員ヲ設置スルコトヲ得

委員ハ名譽職トシ救護事務ニ關シ市町村長ヲ補助ス

第五條 委員ノ選任、解任、職務執行其ノ他委員ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第三章 救護施設

第六條 本法ニ於テ救護施設ト稱スルハ養老院、孤兒院、病院其ノ他ノ本法ニ依ル救護ヲ目的トスル施設ヲ謂フ

第七條 市町村救護施設ヲ設置セントスルトキハ其ノ設備ニ付地方長官ノ認可ヲ受クベシ

私人救護施設ヲ設置セントスルトキハ地方長官ノ認可ヲ受クベシ

第八條 前條第二項ノ規定ニ依リ設置シタル救護施設ハ市町村長ガ救護ノ爲行フ委託ヲ拒ムコトヲ得ズ

第九條 本法ニ定ムモノノ外救護施設ノ設置、管理、廢止其ノ他救護施設ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第四章 救護ノ種類及方法

第十條 救護ノ種類左ノ如シ

- 一 生活扶助
- 二 醫療
- 三 助產
- 四 生業扶助

前項各號ノ救護ノ範圍、程度及方法ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十一條 救護ハ救護ヲ受クル者ノ居宅ニ於テ之ヲ行フ

第十二條 幼者居宅救護ヲ受クベキ場合ニ於テ市町村長其ノ哺育上必要アリト認ムルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ幼者ト併セ其母ノ救護ヲ爲スコトヲ得

第十三條 市町村長居宅救護ヲ爲スコト能ハズ又ハ之ヲ適當ナラズト認ムルトキハ救護ヲ受クル者ヲ救護施設ニ收容シ若ハ收容ヲ委託シ又ハ私人ノ家庭若ハ適當ナル施設ニ收容ヲ委託スルコトヲ得

第十四條 市町村長ハ救護ヲ受クル者ノ親權者又ハ後見人ガ適當ニ其ノ權利ヲ行ハザル場合ニ於テハ其異議アルトキト雖モ前條ノ處分ヲ爲スコトヲ得

第十五條 救護施設ノ長ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ施設ニ收容セラレタル者ニ對シ適當ナル作業ヲ課スルコトヲ得

第十六條 第十三條ノ規定ニ依リ收容セラレ又ハ收容ヲ委託セラレタル未成年者ニ付親權者及後見人ノ職務ヲ行フ者ナキトキハ市町村長又ハ其ノ成年者ニ付親權者及後見人ノ職務ヲ行フ者ナキトキハ市町村長又ハ其ノ

指定シタル者勅令ノ定ムル所ニ依リ後見人ノ職務ヲ行フ

第十七條 救護ヲ受クル者死亡シタル場合ニ於テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ埋葬ヲ行フ者ニ對シ埋葬費ヲ給スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ埋葬ヲ行フ者ナキトキハ救護ヲ爲シタル市町村長ニ於テ埋葬ヲ行フベシ

第五章 救護費

第十八條 救護ヲ受クル者同一市町村ニ一年以上引續キ居住スル者ナルトキハ救護ニ要スル費用ハ其ノ居住地ノ市町村ノ負擔トス

第十九條 救護ヲ受クル者左ノ各號ノ一ニ該當スル者ナルトキハ其ノ居住期間一年ニ満チザル場合ニ於テモ救護ニ要スル費用ハ其ノ居住地ノ市町村ノ負擔トス

一 夫婦ノ一方居住一年以上ナルトキ同居ノ他ノ一方

二 父母其ノ他ノ直系尊屬居住一年以上ナルトキ同居ノ子其ノ他ノ直系卑屬

三 子其ノ他ノ直系卑屬居住一年以上ナルトキ同居ノ父母其ノ他ノ直系尊屬

第二十條 前二條ニ規定スル期間ノ計算ニ付テハ勅令ノ定ムル所ニ依ル四條ノ規定ヲ準用ス

第二十一條 救護ニ要スル費用ガ前三條ノ規定ニ依リ市町村ノ負擔ニ屬セザル場合ニ於テハ其ノ費用ハ救護ヲ受クル者ノ居住地ノ道府縣、其ノ居住地ナキトキ又ハ居住地分明ナラザルトキハ其ノ現在地ノ道府縣ノ負擔トス

第二十二條 第十七條ノ規定ニ依ル埋葬ニ要スル費用ノ負擔ニ關シテハ前四條ノ規定ヲ準用ス

第二十三條 委員ニ關スル費用ハ市町村ノ負擔トス

第二十四條 第二十一條及第二十二條ノ規定ニ依リ道府縣ノ負擔スル費用ハ救護ヲ爲シタル地ノ市町村ニ於テ一時之ヲ繰替支辨スベシ

第二十五條 國庫ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ左ノ諸費ニ對シ其ノ二分ノ一以内ヲ補助ス

一 第十八條乃至第二十三條ノ規定ニ依リ市町村又ハ道府縣ノ負擔シタル費用

二 道府縣ノ設置シタル救護施設及第七條第一項ノ規定ニ依リ市町村ノ

設置シタル救護施設ノ費用

三 第七條第二項ノ規定ニ依リ私人ノ設置シタル救護施設ノ設備ニ要ス

ル費用

道府縣ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ左ノ諸費ニ對シ其ノ四分ノ一ヲ補助スベシ

一 第十八條乃至第二十條、第二十二條及第二十三條ノ規定ニ依リ市町

村ノ負擔シタル費用

二 第七條第一項ノ規定ニ依リ市町村ノ設置シタル救護施設ノ費用

三 第七條第二項ノ規定ニ依リ私人ノ設置シタル救護施設ノ設備ニ要ス

ル費用

第二十六條 救護ヲ受ケタル者資力アルニ拘ラズ救護ヲ爲シタルトキハ救護

ニ要スル費用ヲ負擔シタル市町村又ハ道府縣ハ其ノ者ヨリ其ノ費用ノ全

部又ハ一部ヲ徵收スルコトヲ得

第二十七條 救護ヲ受ケタル者救護ニ要シタル費用ノ辨償ヲ爲スノ資力ア

ルニ至リタルトキハ救護ノ費用ヲ負擔シタル市町村又ハ道府縣ハ救護

ヲ廢止シタル日ヨリ五年以内ニ其ノ費用ノ全部又ハ一部ノ償還ヲ命ズル

コトヲ得

第二十八條 救護ヲ受ケル者死亡シタルトキハ市町村長ハ命令ノ定ムル所ニ依リ遺留ノ金錢ヲ以テ救護及埋葬ニ要スル費用ニ充當シ仍足ラザルトキハ遺留ノ物品ヲ賣却シテ之ニ充當スルコトヲ得

第六章 雜 則

第二十九條 救護ヲ受ケル者左ニ掲タル事由ノ一ニ該當スルトキハ市町村長ハ救護ヲ爲サザルコトヲ得

一本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ市町村長又ハ救護施設ノ長ノ爲シタル處分ニ從ハザルトキ

二 故ナク救護ニ關スル檢診又ハ調査ヲ拒ミタルトキ

三 性行著シク不良ナルトキ又ハ著シク怠惰ナルトキ

第三十條 第七條第二項ノ規定ニ依リ設置シタル救護施設ガ本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキハ地方長官ハ同項ノ認可ヲ取消スコトヲ得ス

第三十一條 道府縣、市町村其ノ他ノ公共團體ハ左ニ掲タル土地建物ニ對

シテハ租稅其ノ他ノ公課ヲ課スルコトヲ得ズ但シ有料ニテ之ヲ使用セシムル者ニ對シテハ此ノ限ニ在ラズ

一 主トシテ救護施設ノ用ニ供スル建物

二 前號ニ掲タル建物ノ敷地其ノ他主トシテ救護施設ノ用ニ供スル土地

第三十二條 詐偽其ノ他ノ不正ノ手段ニ依リ救護ヲ受ケ又ハ受ケシメタル者ハ三月以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十三條 本法中町村ニ關スル規定ハ町村制ヲ施行セザル地ニ於テハ町

村ニ準ズベキモノニ、町村長ニ關スル規定ハ町村長ニ準ズベキ者ニ之ヲ適用ス

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

左ノ法令ハ之ヲ廢止ス

明治四年太政官達第三百號

明治六年太政官布告第七十九號

明治七年太政官達第一百六十二號恤救規則

〔政府委員秋田清君演壇ニ登ル〕

○政府委員(秋田清君) 只今議題ニ供セラレマシタル救護法案ノ提案理由ヲ陳述イタシタイト存ジマス、國民生活ノ安定ヲ圖リ、是ガ保護向上ヲ期スル爲、各種ノ社會政策ヲ實行イタシマスコトハ、現下ノ我が社會狀態ニ鑑ミマシテ、誠ニ必要ナコトト存ジマス、就中貧困ニシテ生活能力ナク、而モ扶養者ナキ老者、幼者、病者等ニ對シテ保護ノ方法ヲ講ズルガ如キコトハ、最モ緊要適切ナ事柄デアルト信ズルノデアリマス、然ルニ我國ニ於ケル現行救貧制度トシテハ、明治四年太政官達棄兒養育米救與方、及明治七年太政官達恤救規則等ガアルニ過ギマセヌ、而シテ其規定ノ内容ハ極メテ不備デアリマス

テ、今日ノ實情ニ適セズ、到底救護ノ目的ヲ達スルコト能ハザル狀況ニアルノデアリマス、依テ是ガ根本的改善ノ趣旨ニ基キマシテ、茲ニ提案イタシマシタルガ如ク救護法ヲ制定イタサウトスルノデアリマス、本法案ニ關スル主要事柄ヲ略説イタシマスレバ、第一本法ニ依テ救護ヲ受ケル者ハ六十五歳ナル事柄ヲ略説イタシマスレバ、第一本法ニ依テ救護ヲ受ケル者ハ六十五歳以上ノ老衰者、十三歳以下ノ幼者、妊娠婦、不具廢疾、疾病傷痍等ニシテ勞

働ヲ爲スニ著ルシキ故障アル者ニ限り、且又是等ノ者ガ貧困ノ爲メ生活スルコト能ハザル場合ニ止メ、眞ニ救護ノ必要ノ已ムヲ得ザル者ニ對シテノミ救護ヲ行フノデアリマス、第二、救護ハ救護ヲ受クベキ者ノ居住地ノ市町村長ヲシテ行ハシムルヲ原則ト致シ、居住地ナキカ又ハ分明ナラザルガ如キ特殊ノ場合ニ於テハ、現在地ノ市町村長ヲシテ行ハシムルコトニ致シマシタ、尙ホ濫救漏救ノ弊害ヲ除去シ、救助ノ適正ヲ期スル爲、救護ニ關スル委員ヲ置キ、救護事務ヲ補助セシムルコトトシタノデアリマス、第三、救護ノ方法ハ本救護者ノ居宅ニ於テ行フヲ原則ト致シマシテ、例外ノ場合ニハ道府縣市町村又ハ私人ノ設置スル養老院、施療病院、育兒院等ノ救護施設ニ收容又ハ委託シテ救護ヲ行フノデアリマス、而シテ是等ノ救護施設ニ對シマシテハ一面國庫補助、租稅免除等ノ特典ヲ與ヘテ之ヲ助成スルト共ニ、他面委託ヲ拒否スルコトヲ得ザル等、相當ノ制限ヲ設ケタノデアリマス、又救護ノ種類ト致シマシテハ生活扶助、醫療助產、生業扶助ノ四種ト致シマシタガ、就中重要ナルモノハ生活扶助ト醫療トデアリマス、第四、救護ニ要スル費用ハ市町村ノ負擔トシ、特別ノ場合ニ限り道府縣ノ負擔トシ、之ニ對シテ國庫ヨリハ、道府縣及市町村ノ負擔シタル費用ニ對シ其二分ノ一以内ヲ補助シ、道府縣ハ市町村ノ負擔シタル費用ニ對シテ其四分ノ一ヲ補助スル、道府縣又ハ市町村又ハ私人ノ設置シタル救護施設ニ對シテハ國庫及道府縣ヨリソレバ、補助ヲ爲スコトニ致シタノデアリマス、以上ハ法案ノ大要デアリマス、尙ホ今更申上ゲルマデモゴザイマセヌガ、我國ニ於キマシテハ古來ノ美風タル家族制度及隣保相扶ノ情誼ガ存シテ居ルノデゴザイマス、本法案ハ實ニ是等ノ醇風美俗ヲ尊重イタシマスルト共ニ、更ニ進ンデ現在社會ノ實情ニ適應セル制度ヲ確立シ、其及バザルヲ補フテ、以テ國民生活ノ不安ト思想ノ動搖ヲ防止スルニ努メムトスル趣旨ニ外ナラナイノデゴザイマス、何卒御審議ノ上速ニ御協賛ヲ與ヘラレムコトヲ切望イタシマス

〔伯爵柳澤保惠君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長（公爵徳川家達君） 柳澤伯爵ハドウ云フコトデスカ

○伯爵柳澤保惠君 質問ガゴザイマス

○議長（公爵徳川家達君） 通告ガゴザイマスカラ、ソレガ濟ミマシテカラ：

○伯爵柳澤保惠君 畏マリマシタ

○議長（公爵徳川家達君） 通告順ニ依リマシテ高橋琢也君ニ發言ヲ許シマス
〔高橋琢也君演壇ニ登ル〕

○高橋琢也君 只今日程ニ上ボッテ居リマスル救護法案、是ガ今回提出ニナリマシタノヲ承リマシテ、誠ニ日本晴レヲシタヤウナ氣持ガ致シマス、恐ラク此位氣持ノ好イ法案ハナカラウト思ヒマス、殊ニ今日ノヤウナ様々ナ不幸ナ事柄ノ多イ世ノ中ニ、此様ナ法案ヲ出シテ、政府ガ大英斷ヲ以テ、此財政ノ困難ナ時ニ之ヲ出シタト云フコトハ、私ハ誠ニ國民ノ福音ヲ……殊ニ國民中ノ最モ慘メナ弱者ヲ救フ上ニ於テ、非常ニ愉快ナ感ジガ致シマスル、私ガ伺ハムトスルノハ、此法律ノ正面カラ行キマスレバ、今申上ゲルヤウナ最大福音ヲ慘メナ國民中ノ弱者ニ與ヘルノデゴザイマスカラ、是ホド良イコトハナイ、併シ裏面カラ之ヲ見マスルト、實際ニ於テ或ハ弊害ガ、意外ニモ大キナ弊害ガ起リハシマイカト云フ杞憂モゴザイマスカラ、ソレデ政府ニ私ハ質問ヲ致シタイト思フノデス、此法案ノ第三十二條ニハ詐欺其他不正ノ行爲ノコトガ一箇條ゴザリマスルガ、極メテ簡單デゴザリマス、政府ノ御見込ハ如何、之ヲ一ツ伺ヒタイ、凡ソ何事ニ依ラズ、利ノアル所必ズ弊ガ伴フノハ當然ノ話デゴザリマスルガ、日本ノ今日ノ思想ノ變化シテ居リマスル……隨分思想ノ惡化ト云フコトハ何人モ政治家バカリデハナイ、國民皆憂ヘテ居ル次第ゴザリマスル、從テ此法律ヲ惡用セルヤウナ者ガ起ラヌトハ申サレマセヌ、此法案ヲ見マスルト僅ニ三十三箇條……外國ノコトニ比較スルノハ如何カト言ハレルカモ知レマセヌガ、英國ノ一昨年、一千九百二十七年確カ七月二十九日附デ發布セラレタ貧民法、之ニハ二百四十六箇條アル、是ハ無理モナイコトデス、英國ハ既ニ今ヨリ三百二十九年程以前、千六百一年ニ「エリザベス」ノ朝デ初メテ救民法ヲ發布シタノデアリマス、ソレ以來昨年ニ至ルマデ九十四回改正ヲシテ居ル、何故コンナ大層ナ改正ヲシタカ、是ハ實施シタ上デ様々ノ弊ヲ認メタカラデゴザイマセウ、改正ヲシ又補給ヲスル、斯ウ云フ點カラ是ダケノ法律ヲ改正スル手數ヲ經タノデアル、サウシテ今デハ只今申上ゲルヤウニ日本ノ殆ド十倍カラノ箇條ガアルノデス、是ハ英國デモ隨分此弊害ニ苦ンダヤウデゴザイマス、況ヤ英國ニシテモ、他ノ各

〔副議長候爵蜂須賀正韶君議長席ニ著ク〕

ハ防貧法ガアル、少年保護、少年福利法ト云フヤウナモノ迄モ整ツテ居リマスルカラ、是ハ至レリ盡セリト云フテモ宜シイ、ソレニモ拘ラズ勞働者ノ如キハ先般モ此演壇デ申上ゲマシタ如ク、英吉利ハ昨今殊ニ多數ノ失業者ガアッテ困難ヲ致シテ居ル、斯ウ云フ場合デゴザリマス、昨年ノ春八十万人アッタノガレ故ニ是等ハ此法案デハ勞働ノ出來得ナイ者ヲ政府ハ救護シテヤルノデゴザリマスルガ、矢張リ社會政策ガ完全ニ行ハレテ居リマセネバ、自然此方ヘ大影響ヲ及ボスト云フコトハ申ス迄モナイコトデアル、ソレ故ニ是ダケノタッタ一箇條……尤モ前ニ何カゴザリマスルケレドモ、詐欺不正ト云フヤウナコト、又罰金モ僅ニ限ツテ居ル、百圓ト云フヤウナコトニナツテ居リマスルガ、ナカナカス様ナ事柄デ是カラ此救護機關ガ出來マスル上ニハ、種々ナル弊害ガ起ツテ來ヤウト思ヒマスル、是等ハ此法案ダケデ足リマスルカ、又段々勅令ヤ命令ニ讓ツテアル箇條ガゴザイマスカラ、是等デ政府ハ補ハレルノデゴザイマセウカ、ソレカラ此救護費ハ國家トサウシテ就中其中ニハ中央政府ト、ソレカラ各地方廳……地方官、ソレカラ一面ハ市町村所謂自治團體ガ之ヲ分擔スルヤウデゴザリマスル、今日デノ御見込ハドノ位ニ各方面ノ費用ノ分擔ガゴザイマスルデセウカ、又無論是ハ年々殖エテ參リマセウト思ヒマスルガ、是等ニ對スル御見込ハ如何デゴザイマセウカ、此點ヲ伺ハレ、バ承リタイト存ジマス、何分時間モゴザイマセヌ時デゴザイマス、餘リ細カイコトハ今日ハ伺ヒマセヌ

○政府委員長岡隆一郎君演壇ニ登ル」

テ、此運用ヲ誤ルニ於テハ、由々シキ大事ヲ起スト云フヤウナ御心配デ、誠ニ御尤ノ御意見ト拜聽イタシマシタケレドモ、御承知ノ通リ英吉利ニ於キマシテ、此救貧法ノ爲ニ色々ノ弊害ヲ生ジマシタコトハ、國情ト致シマシテ大體個人主義ヲ以テ立ツテ居ル國デゴザイマスルガ、我國ノ國情ト致シマシテ、先程提案ノ理由ヲ説明中ニ申上ゲマシタヤウニ、大體家族制度若クハ隣保相助ト云フ美風ガゴザリマスルノデ、本法ノ救助ヲ與ヘマスルモノハ、家族制度ニ依ツテモ救助出來ズ、隣保相助ニ依ツテモ救助出來ズ、即チ不具廢疾者等ガ家族モナク、又近隣ノ救助モ受ケラレナイ、萬已ムヲ得ザル者ニ限ッテ救助ヲ與ヘルト云フ趣旨デゴザイマスルガ故ニ、英國ノ如キ弊ヲ生ズル憂ハ萬々ナイ積リデゴザイマス、殊ニ我國ニ於キマシテハ、方面委員制度ガ次第ニ發達シテ參ツテ居リマスルノデ、大都市ニ於キマシテモ、貧民ノ状況ハ方面委員ノ力ニ依リマシテ、其状況ガ鏡ニ映ルガ如クニ明カニナツテ居ル所モアルノデゴザイマスカラ、運用上誤リノナイヤウニ致スコトガ出來ルト考ヘテ居リマス、將來此方面委員制度ガ發達イタシマスレバ、益々運用上心配ガ少クナルコトト考ヘマスルノデ、英國ノ救貧法ノ如ク將來財政上ニ癌ヲ殘スト云フヤウナ危険ハナイト考ヘテ居リマス、又固ク信ジテ居ル次第ゴザイマス、第二ニ救護法ニ付テノ御質問デゴザイマシタガ、只今豫想イタシテ居リマスルノハ、一年間ニ大體八百万圓ヲ要スル見込デゴザイマシテ、之ニ對シマシテ、國費ヲ以テ四百万圓ヲ支出イタシ府縣ニ於テ二百万圓ヲ支出イタシ、市町村ニ於テ二百万圓ヲ支出イタス、斯ウ云フ大體ノ見込デ居リマス、即チ府縣、市町村ヲ合セマシテ、四百万圓支出ヲ増加スルヤウナ形ニ見エマスケレドモ、現行法即チ明治七年ノ太政官達ノ恤救規則ニ依リマシテ、現在地方費ニ於キマシテ、既ニ二百万圓負擔イタシテ居リマスルカラ、府縣市町村ヲ合シマシテ、將來負擔ノ增加ハ二百万圓ニ過ギナインデアリマス、之ヲ分ケマスルト云フト、府縣ノ負擔ガ百万圓、市町村ノ負擔ガ百万圓、是ダケヲ増加スルニ過ギマセヌノデ、之ヲ全國ニ分チマスルト云フト、府縣市町村、即チ地方費ノ受ケタル負擔ノ增加ト云フモノハホンノ僅カデ、言フニ足ラナイコトデ濟ムダ

〔政府委員長岡隆一郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(長岡隆一郎君) 只今ノ御質問ノ第一點ハ本法ノ施行ニ伴ツテ、之ヲ悪用イタシ、濫救ノ結果、惰民ヲ養成スルヤウナ危険ハナイカ、ソレニ對シテ詐欺其他ノ不正手段ヲ以テ救護ヲ受ケタ者ヲ處罰スル規定ヲ置イテ居ルダケデハ足ラナイデハナイカト云フ御趣旨ニ拜聽イタシマシタガ、此處罰規定ハ現行法即チ恤救規則ノ中ニハゴザイマセヌガ、只今御示シノ濫救ノ結果惰民ヲ養成スル危險ガアルヤウニナリマシテハ一大事デゴザイマスルカラ、新タニ處罰ノ規定ヲ設ケタ次第デゴザイマス、英國ノ例ヲ御引キニナリマシ

將來負擔ノ增加ハ二百万圓ニ過ギナインデアリマス、之ヲ分ケマスルト云フ
ト、府縣ノ負擔ガ百万圓、市町村ノ負擔ガ百万圓、是ダケヲ増加スルニ過ギ
マセヌノデ、之ヲ全國ニ分チマスルト云フト、府縣市町村、即チ地方費ノ受
ケタル負擔ノ增加ト云フモノハホンノ僅カズ、言フニ足ラナイコトデ濟ムダ
ラウト思ツテ居リマス

ガ、本法ノ運用上ニ當リマシテハ、第一ノ御質問ニ對シテ御答へ申上ゲマシタ趣旨ニ依リマシテ、將來支出ノ増加ノ見ザルヤウナ十分施行ニ注意ニ注意ヲ加ヘタイト考へテ居ル次第ゴザイマス

○高橋琢也君 會期モ段々切迫シテ來テ居リマスルカラ、是レ以上……伺ヒ

タイトハ思ヒマセヌガ、是ハ他日ノ機會ニ讓リマス

○伯爵柳澤保惠君 短カウゴザイマスカラ自席デ宜シウゴザイマスカ、簡單デゴザイマスカラ……

○議長(公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマス、質疑デスカ

○伯爵柳澤保惠君 質疑デス、只今高橋君ヨリ私ガ問ハムトスル趣旨ヲ申サレタノデアリマスガ、私ハ他ノ點ニ付テ伺ヒタイノデアリマス、此法案ハ所謂社會政策ノ實行ニ當ッテ、救貧政策ニ關スルコトガ主ナルモノデアルト存ジマスガ、併ナガラ防貧ノコトニ付テハ餘リ此法案ニ及シテ居リマセヌ、私ハ此際長岡長官ニ向ッテ政府ノ防貧政策ナルモノニ付テ御所見ヲ伺ヒタイノデアリマス、内務大臣ニ伺ヒタイノデアリマスルケレドモ、御出席モナシ、又伺ッタ所デ、恐ラクハ私ニ向ッテ満足ナル答辯ヲ與ヘラレヌト思ヒマス、是ハ是非長岡長官ニ願ヒマス

〔政府委員長岡隆一郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員長岡隆一郎君 只今柳澤伯爵ヨリ此防貧的ノ施設ニ付テ御尋ガ

ゴザイマシタガ、御質問ノ御趣旨ニモ伺ハレマス通り、救貧ハ末デアッテ防貧ガ其本デナケレバナラヌト考へテ居ルノデゴザイマス、貧民ガ出來マシテモ、之カ救助イタスト云フヨリモ、寧ロ貧民ガ出來ナイヤウニ只今御示シノ防貧的施設ヲ致スト云フコトガ必要デアルト云フコトハ、是ハ申スマデモゴザイマセヌノデアリマス、現在單リ内務省ト謂ハズ、各省ニ於テ施設ヲ致シテ居リマスル所ノ社會政策的施設ハ全部此防貧ト云フコトヲ目標ニ致シテ施行イタノ煩シマシテ誠ニ恐縮ニ存ジマス、防貧的施設ニ付テ現ニ行ッテ居リマスル健康保險デゴザイマストカ、或ハ住宅政策ト致シマシテハ不良住宅ノ整理、住宅組合ノ普及其他各般ノ事項ニ瓦ツテ居リマシテ、社會局關係ノ豫算ハ殆ド全部此防貧的施設ニ使ハレテ居ルト云フモ宜シカラウト考へマス、唯將來ノ施設ト致シマシテハ願ハクバ國庫財政ノ許ス限リ社會保險ノ制度ヲ今少シク擴充イタシマシテ獨リ健康保險ノミナラズ、漸次他ノ方面ニ及ボシタイト云フ考ヲ持ツテ居リマスケレドモ、是ハ遺憾府ト致シマシテハ、益此防貧的施設ニ對シテ力ヲ注ガナケレバナラヌト考ヘテ居リマスルケレドモ、併ナガラ如何ニ此防貧的施設ヲ完備イタシマシテモ、此綱ニ洩レテ、所謂社會ノ落伍者ヲ生ズルト云フコトハ是ハ已ムヲ得ザルコトデアリマシテ、此防貧的施設ノ綱ニ洩レテ、社會ノ落伍者トシテ悲境ニ沈淪イタシタ者ハ所謂救貧的施設ニ依ッテ救濟イタスト云フコトモ相伴ツテ行カナ

保険ノ完備ヲ期スルト云フ方面ニ向ッテ全力ヲ注ギタイ、左様ニ心得テ居リマ

ス、尙ほ細民調査ニ付キマシテハ只今御示シノアリマシタ通リ大正十二年ニ於キマシテ東京市ノ細民部落ニ於テ此調査ヲ行ッタコトガゴザイマス、又神戸市ニ於キマシテモ相當ノ經費ヲ使ヒマシテ行ッタコトモゴザイマスルシ、又財團法人勞資協調會ニ於キマシテモ多少此調査ヲ行ッタヤウデゴザイマスガ、是等ハ何レモ局部的ノ拔キ調査デゴザイマシテ、全國一齊ニ調査スルト云フヤウナコトハマダ無イノデゴザイマス、本法ノ立案ニ當リマシテモ實ハ赤裸々ニ申上ゲマスルト方面委員制度ノアル所ニハ「カード」ヲ廻シマシテ本法ニ該當スル被救護者ノ狀況ヲ調査ヲ致シマシタ、併シソレハ方面委員制度ノアリマスル六大城市其他ノ市町村ニ過ギナイノデゴザイマシテ、只今御話ノアリマシタヤウナ全國的ニ瓦ツタ「センサス」ト申スヤウナ程度ノモノハゴザイマセヌノデ、是等ニ付キマシテハ今少シク念ヲ入レマシテ調査ヲ致シタイト云フコトヲ考ヘテ居リマスルガ、現在行ヒマシタノハ只今申上ゲマシタヤウナ方面委員制度ノアリマスル所ニ「カード」ヲ配リマシテ相當被救護者ノ状況ヲ調査セセタ云フダケニ過ギナイノデアリマシテ、是ハ餘リ完全デハナイト云フコトヲ赤裸々ニ申上ゲテ御許シヲ得タイト思ヒマス

○伯爵柳澤保惠君 聰明ナル長岡長官ハ誠ニ私ノ質問ニ對シテ的確ナル御答辯ヲ與ヘラレマセヌ、私ハ先程申上ゲタ通リニ國、地方團體、或ハ或會等ガ細民調査ヲ部分的ニシタコトガアルガ、斯ウ云フコトヲ將來ナス思召シデアルカドウカ、只今ノ御答辯デハ「センサス」的ノモノハ出來ナイトカ、全國一齊ニハ出來ナイトカ、甚ダドウモ恐入ッタル御答辯デアリマス、斯様ナ調査ガ全國的ニ出來ルモノデナライ、少クトモ、歐羅巴ニ勞働代表トシテ行カレタルカドウカ、只今ノ御答辯デハ恐入ッタルコトデアリマス、

長岡君ニ依ッテ左様ナ御返事ヲ承ルト云フコトハ恐入ッタルコトデアリマス、ドウセ代表的調査デアリマス、或部分ニ付テ細民ヲ調べル、是ハ國勢調査的ノモノデナイコトハ分リ切ッタコトデアル、左様ナコトハ少シ御言葉ヲ御慎ミニナッテ、モウ少シ的確ニ私ニ對スル御答辯ヲ伺ヒタイ

〔政府委員長岡隆一郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(長岡隆一郎君) 私ノ申上ゲ方ガ足リナカッタ爲ニ御叱リヲ受ケ

マシテ甚ダ恐縮ニ存ジマス、只今マデ此法案ノ準備トシテ調査イタシマシテ

ノガ、六大城市其他方面委員ノ存在シテ居ル市町村ニ「カード」ヲ廻シマシテ調査イタシマシタノデゴザイマスルガ、ソレダケデハ十分ト思ッテ居リマセヌ、將來此法案ヲ實施スル場合ニ細民ノ調査ニ付テ今少シ詳細ニ調査シタイ

云トフ考ヲ持ッテ居リマス、併シ本案ニ對スル的確ナ御答ヲ申上ゲナイデ再々御叱リヲ蒙リマスルノハ如何ナル方法ニ依ッテドレダケノ金ヲ使ッテ、ドレダケノ區域ニ互ツテ調査ヲスルカト云フ、實ハ的確ナ具體的ノ案ヲ持ッテ居リマセヌノデ、其コトヲ申上ゲ得ナカッタ爲ニ、或ハ色モノ御疑念ヲ招イタカ思ヒマスルガ、出來得ル限り本案ノ實施マデニハ、現在ノ狀態ヨリモ信憑スルニ足ルベキ調査ヲ致シタイト云フ考ヲ持ッテ居リマス、併ナガラ其具體的ノ要項ニ付キマシテハマダ熟シタル御答ヲ申上ゲルダケノ案ヲ持ッテ居リマセヌコトヲ甚ダ殘念ニ存ジテ居ル次第ゴザイマス

○伯爵柳澤保惠君 私ハ棄テ台詞ヲ殘シテ止メルノデハアリマセヌ、長岡君ノ御健康ガ少イ惡イヤウデ、ドウモ御答ガ出來ヌヤウデアリマスカラ又別ノ時ニ御質問申上ゲマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀ヲ致サセマス

〔瀬古書記官朗讀〕

救護法案特別委員

侯爵 大久保利 武君	侯爵 佐佐木 行忠君	男爵 木越 安綱君
子爵 野村 益三君	阪本 鈴之助君	田村 新吉君
鵜澤 総明君	若尾 謹之助君	大谷 尊由君

○議長(公爵徳川家達君) 日程第十四、昭和三年勅令第百二十九號承諾ヲ求ムル件、衆議院送付、會議、委員長報告

右承諾スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和四年三月十二日

右特別委員長

大島健一

貴族院議長公爵徳川家達殿

○議長(公爵徳川家達君) 大島健一君ノ登壇ヲ御望ミマス

〔大島健一君演壇ニ登ル〕

○大島健一君私ハ只今議題ニ上ボリマシタ昭和三年勅令第百二十九號治安

維持法ノ特別審査委員ニ於キマシテ審查イタシマシタル狀況ヲ御報告申上ゲマス、本件ハ申ス迄モナク極刑ノ伴フ法律デアリマスノデ、委員會ハ去ル八日、十一、十三日ノ三日間ニ瓦リマシテ慎重周密ニ審査ヲ致シマシタ、政府ノ説明ヲ聽キ、幾多ノ質問應答ヲ重ねマシテ周到ニ審査イタシマシタ、從テ質問應答モ多種多様ニ瓦リマシテ、一々申上ゲマスコトハ多大ノ時間ヲ要スルコト思ヒマスルカラ、此間ニ現ハレマシタル委員諸君ノ意見ヲ綜合イタシマシテ御報告申上ゲルコトニ致シマス、細カイ事柄ハ速記録ニ譲リマス、唯審議ニ法律ノ性質トシマシテ祕密會ヲ開キ、若クハ速記ヲ止メタト云フヤウナコトガ數度アリマシテ、御覽ニクウゴザイマセウガ、祕密書類ノ如キモノハ政府ニモアリマスノデゴザイマスカラ、御覽ノ御便宜ハアラウト思ヒマス、審議ノ要點ハ第一ハ改正法律案ノ內容、即チ主トシテ刑罰規定ノ改正、デアリマス、第二ハ之ヲ緊急勅令ヲ以テ致シマシタル當否、此二ツデゴザイマス、御承知ノ通り大正十四年制定ノ治安維持法ニハ國體ヲ變革スルコトヲ目的トシタモノ、竝ニ私有財產制度ヲ否認スルモノヲ併セテ十年以下ノ懲役若クハ禁錮ニ處スルコトニナツテ居リマスルノヲ、改正法ニ於キマシテハ國體ノ變革ヲ目的ト致シマスル者ヲ分チマシテ、死刑又ハ無期、若クハ五年以上ノ有期懲役若クハ禁錮ニ處スルコトニ改メマシタ、尙ホ此結社ニ加入イタシマセヌデモ結社ノ目的遂行ノ爲ニ有力ナル行爲ヲ爲シタル者ノアルノヲ認メマシテ之ヲ法文ノ中ニ補足イタシマシテ、二年以上ノ有期刑ニ處スルコトニ致シタノデアリマス、委員會ハ先づ法ノ對象タル共產黨ノ主義主張、其實行計畫、行動ノ跡、即チ時、狀況ト云フ行動ノ程度等ヲ詳カニスル必要ヲ認メマシテ、政府ノ之ニ對スル所見ヲ聽キ、尙ホ其有スル所ノ報告、牒報、調書、其他參考トナルベキモノヲ開示セムコトヲ求メマシタ、尙ホ其中祕密ニ屬シマス分モ或程度マデハ之ヲ閲覽イタシマシタ、是等ニ依リマシテ彼等國際共產黨、或ハ第三「インター・ナショナル」乃至ハ「コムミニスト・インター・ナショナル」ト云フヤウナ字ヲ使テ居リマス、普通我ニハ第三「インター・ナショナル」ト云フコトヨク聞イテ居リマス、露西亞ニアリマス所ノ國際共產黨、其國際共產黨ノ一社ト致シマシテ祕密結社ヲ作り細胞ヲ設ケテ、我ガ下層ニ於ケル大衆ノ共鳴ヲ得マシテ、日本帝國ニ於キマシテモ國體ヲ變革シ、結局ハ勞農獨裁ノ政治組織ヲ樹立シヤウト云フ全國ニ瓦ツテ祕密且ツ巧妙ニ不軌不逞ノ行動ヲ致シテ居ツタ跡ガ能ク明カニナリマシタ、君民同祖世界無比ヲ誇

テ居ル我ニ同胞ノ間ニ斯カル不逞ノ徒ヲ多數出シマシタコトハ誠ニ痛嘆長大息ノ至デアリマス、我國ニ於ケル共產黨ノ今日ニ至ル行動等ハ既ニ皆様御承知ノコト、存ジマス、唯一言イタシマスレバ大正十年頃ニ其頭角ヲ現ハシ、六月ノ檢舉ニ依リマシテ一時屏息ハ致シマシタケレドモ、其殘黨ガ各所ニ各種ノ行動、諸所ニ會合等ヲ致シマシテ、去ル大正十五年ノ十二月四日ニハ中心人物ノ内十七名、幹部トモ云フベキ十七名ガ山形縣ノ五色溫泉ニ集リマシテ、或會社ノ懇親會ト稱シテ、其所ニ日本共產黨ノ立黨式ヲ舉グマシテ、立黨ノ宣言、組織、綱領、運動方法等ヲ議決イタシマシタ、尙ホ役員ノ選舉等ヲ終シタモノ、或ハ是迄ノ日本ノ共產黨ノ行動等ヲ報告イタシマシテ、批評ヲ乞ヒ、意見ヲ求メタノデアリマス、此第三「インター・ナショナル」ノ本部ニ於キマシテハ七月大會議ヲ開イテ、是等ノ書類、是迄ノ行動等ニ誤ノアルコトヲ指摘シテ、之ヲ是正シタル教書ヲ與ヘテ、尙ホ將來是等ノ行動ノ方針トナルベキモノヲ決メマシテ、之ヲ授ケタノデアリマス、是等ノ人ニハ只今ノ綱領方針ト云フヤウナモノヲ受取リマシテ、相前後シテ戻ツテ參リマシテ、茲ニ更ニ日本共產黨、只今申ス第三「インター・ナショナル」ノ支社トナルベキ共產黨ノ本部ヲ組織イタシマシテ、前申ス大會議ニ於テ是正サレタ新シイ方針、授ヶラレタル行動方針等ニ依リマシテ、中々積極的ニ今度ハ活動ヲ始メマシテ、其結果トシテ昨年三月十五日ノ大檢舉ヲ見ルヤウニナリマシタ、此檢舉ニ依ツテ縛ニ就キマシタ者ガ七百名有餘、其中五百名程モ起訴サレテ、大部分考トナルベキモノヲ開示セムコトヲ求メマシタ、尙ホ其中祕密ニ屬シマス分モ或程度マデハ之ヲ閲覽イタシマシタ、是等ノ者ガ前後シテ歸朝イタシマシテ、莫斯科ニハ東洋勞動者共產黨ト云フヤウナモノガアリマシテ、其マシテ、莫斯科ニハ東洋勞動者共產黨ト云フヤウナモノガアリマシテ、其マシテ二十餘名ヲ日本ニ歸シマシテ、殘黨ト相携ヘテ結社ノ整理、行動ノ復活ト云フヤウナコトヲ講ジマシテ、是等ノ者ガ前後シテ歸朝イタシマシテ、昨年ノ大檢舉後モ續イテ各種ノ行動ヲ致シテ居ルノデアリマス、其中、今日マデ縛ニ就キマシタ者ガ、七十八名モ居ルト云フコトデアリマスガ、尙ホ政府ノ得タ情報ニ依リマスト云フト、數多殘ツテ居リマシテ、只今申ス學生ノ如キモ十四名モマダ檢舉サレナイ狀況デアルト云フコトデアリマス、以上ガ概

要デハアリマスガ、前申ス政府ノ所見ヲ叩キ、書類ニ依ツテ委員ニ於テ見マシタ所ノ概要デアリマス、是ヨリ改正懲罰規定ニ付キマシテ委員會ノ意嚮ヲ申上ゲマス、本會議ニ於キマシテ爲サレタ所ノ政府ノ説明、並ニ特別委員會ニ於テノ問題ニ現レマシタル當局ノ意見等ヲ概括イタシマシテ、短簡ニ申上ゲタイト思ヒマス、我ガ國體ヲ變更スルト云フガ如キ行動ハ帝國ニ對シテ最モ重大ナル犯罪デアルコトハ申ス迄モナインデアリマス、是ハ決シテ我ガ刑法所定ノ内亂罪ニ讓ルモノデハナイ、然ルニ治安維持法ニハ十年以下ノ有期刑ヲ以テ之ニ臨ムコトニナシテ居リマス、是ハ如何ニモ權衡ヲ得ヌ規定デアリマシテ、一般國民ヲシテ事態ノ重大ナルヲ覺ツテ、自ラ戒メテ不逞ノ煽動誘惑等ニ陷ラナイヤウニサセヤウトスルノニモ、又是等ノ不逞ノ徒ヲシテ反省セシムルノニモ、又之ヲ懲罰イタシマスルノニモ、如何ニモ不十分ニシテ、法ノ目的ヲ達スルコトガ出來ナイ、實際國體ノ變更ト申スガ如キ重大ナル犯行モ、刑罰規定ガ輕クアリマス爲ニ一般ニ餘程輕キ事柄ノヤウニ心得マシテ、多數ノ無識ノ徒ハウカノ此不逞ノ煽動ニ乘ゼラレル、又煽動者ハ之ヲ利用イタシマシテ、所在ニ細胞組織ヲ擴ゲテ廣ク此不軌不逞ノ地盤ヲ開イタノデアリマス、之ニ依ツテ是ヲ見レバ治安維持法ノ刑罰規定ハ少クモ内亂罪ト等シイ嚴刑ヲ以テスルコトガ必要デアル、之ガ約メシタル所ノ政府ノ意見デアリマシテ、尙ホ委員會ニ於キマシテハ、或ハ刑法七十七條内亂罪ヲ以テ之ヲ律スルコトハ出來ヌカト云フヤウナ考慮モアリマシタ、併シ共產黨ノ主義、組織、行動ハ刑法ノ見テ居リマス所ノ直接行動、即チ暴力ヲ以テ……暴動ヲ以テ其目的ヲ强行イタサウト云フモノトハ大イニ目的ヲ異ニシテ居リマシテ、暴力ハ寧ロ最後ノ手段トシテ、祕密結社トカ、祕密行動、細胞組織等ニ依リマシテ、全國ニ幾多ノ機關ヲ置イテ、勞農階級ノ心ヲ動カシ、耳ニ入り易イ煽動ヲ……宣言ヲ以テ大衆ヲ獲得シ、遂ニ革命ノ素地ヲ造リ、目的ヲ達シヤウト云フノデアッテ、アワヨク行ケバ及ニ齟ラズシテ其目的ヲ達シヤウト思フテ居ルノデアリマスカラ、之ヲ内亂罪ニ比シマスルト、餘程其性質ヲ異ニシテ居ルノミナラズ、寧ロ甚ダ危險デアル、刑法ノ見タル内亂以上ニ危險デアルト云フ議論ガ委員會ニモ亦多ウゴザイマシタ、元來暴動ハ一時的ニシテ、陽性ニシテ、持久性ヲ缺イテ居リマス、之ニ反シテ共產黨ノ行動ハ、國民精神ノ破壊ヲ主トシマシテ、陰性的ニシテ、永續性ヲ持ツテ居リマス、ソレ故ニ前兩回ノ大檢舉ヲ見マシテモガ、其後ニ直グ再興ヲ謀ル、是ハ破壊サレタル精神

が、所在ニ遺傳ヲシ、殘存ヲシテ居ルカラデアアリマセウ、是等ノ力ニ依ツテ、最初ノ治安維持法ヲ制定サレル頃ニ考ヘタ所ノ程度トハ、餘程其程度ヲ異ニシテ居リマスケレドモ、是ハ其當時ニ八十分分ラナカツタノデアリマセウガ、今日ハ、殊ニ昨年ノ大檢舉ニ依リマシテ、各種ノ書類ノ押收、或ハ被害ノ供述等ニ依リマシテ、餘程其真相ガ明カニナリ、危險ナ程度モ確實ニ之ヲ認メ得ルヤウニナリマシタ、故ニ政府ハ國體ヲ目的トスル行動ニ對シマシテハ、特ニ刑罰ヲ重ウシテ、内亂罪ニ讓ラザル程度ノモノトスルト云フコトノ必要ヲ認メマシタコトハ、委員會ニ於キマシテモ慎重ニ推敲吟味ヲシタ上ニ、是ハ至當ノ意見デアルト云フコトニ何レモ決定ヲ致シマシタ、次ニ緊急勅令ヲ以テ本法ヲ改正イタシマシタ點ニ付テ、委員會ノ意見ヲ申上げマス、前ニモ申上ゲマシタヤウニ此大檢舉後政府ハ各種ノ證據書類或ハ調書其他ニ依ツテ、尙ホ殘黨ノ各所ニ跳梁跋扈スル狀況ヲモ知ルコトヲ得、警戒、搜查、追捕等、之ニ備フルハ勿論デアリマスガ、一方刑罰ヲ重ウシテ、一般ニ刺戟ヲ與ヘル必要ヲ認メマシテ、御承知ノ通リ昨年ノ特別議會ニ改正案ヲ提出イタシマシタガ、會期ガ短ウゴザイマシテ、審議未了ニ終リマシタ、然ルニ其後各方面ヨリ政府ノ得タル所ノ情報、並ニ益、明カニナッテ參リマスル被告ノ陳述等ニ依リマスルト、不軌ノ計畫、不逞ノ言動、勞働爭議ノ挑發、在外邦人ノ煽動、軍隊内ニ向ツテスル軍人精神ノ攪亂ト云フヤウナコトガ、是等ハ一々委員ハ書類ニ就テ能ク實見ヲ致シマシタガ、甚ダ惡辣ヲ極メマシテ、危險ナ狀態ノ益、進ムノヲ認メ得ルヤウデアリマス、殊ニ昨年ノ秋ハ御承知ノ通リ專ラ靜肅ヲ旨トスベキ重大ナ時節ニ當ツテ居リマシタ、然ルニ彼等ハ之ニ對シテサヘモ各種ノ宣傳ヲ致シテ居ル、不逞ノ言動ヲ執ツテ居ルト云フ有様デアリマシタノデ、是等ノ狀況ガ明瞭ニ分リマシタノデ、尋常ノ手段ヲ以テ時局ヲ保持スルコトノ困難ナルヲ感ジテ、警戒ヲ嚴ニスルコトハ勿論、一方ニ於テハ緊急勅令ヲ以テ、之ヲ改正スルト云フ決心ヲ致シタノデアリマス、此前後ノ狀態ヲ委員ニ認メルコトニ一致イタシマシタ、緊急勅令ガ發布ニナリマシテ以來今日ニ至トハ、無理カラヌコトデアルト云フノデ、委員會ニ於テハ之ヲ至當ノ處置ト

是ハ主ニ幹部デアリマス、其中二十九名ハ先ニ申シマシタ結社ニ加入イタシマセヌケレドモ、結社ノ目的遂行ノ爲ニ有力ナル行爲ヲ爲シタル者デアリマシテ、法文改正ノ爲ニ洩サズ之ヲ懲戒スルコトガ出來ルヤウニナッタノデゴザイマス、又懲罰規定ハ幾分彼等ニ衝動ヲ與ヘマシタ様子デアリマシテ、彼等仲間ノ相當名ヲ知ラレテ居ル者ガ由來共産黨ニ遠ザカラムトシテ、却ツテ黨員ノ指揮ヲ受ケルト云ウヤウナ者モ若干アルヤウデアリマス、又彼等ノ同盟ノ中ニモ……「スローガン」ト申シテ居リマスガ、ソソナヤウナモノノ中ニモ治安維持法ノ廢止ヲ強調イタシテ居ルノモ警見イタシマシタ、デ前述ノ改正ハ相當改化遷善ノ效果ヲモ收メ得テ居ルヤウニモ認メラレマス、併ナガラ尙ホ縹緲ヲ免レテ盛ニ活動ヲ致シテ居ル者モ少クハアリマセヌノデ、今後益々警戒ヲ嚴重ニシ、改正法律ト相俟ッテ是ガ防遏ニ努メムケレバナラヌコトハ無論ノコトデアラウト思ハレマス、尙ホ委員會ハ獨リ刑罰規定ノ改正ノミナラズ此種ノ犯行ノ防遏ニハ教育ニ、訓戒ニ、綱紀、風紀ノ肅正、社會政策ノ普及等ニ依リマシテ、國民精神ノ作興、危險思想ノ排除ト云フコトニ努ムルコトガ最モ切要デアラウト感ジマシテ、首相以下各省大臣其他ニ向ヒマシテ、其抱負施設ヲ問ヒ、委員ノ希望ヲ述べ、終ニハ國際ノ事項ニ迄仔細ニ論及ヲ致シマシタ、終ツテ討論ニ移リマシテ委員會ハ全會一致之ニ承諾ヲ與フベキモノト決議ヲ致シマシタ、之ヲ以テ報告ヲ終リマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ニ對シテ……

〔花井卓藏君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 花井君ハドウ云フコトデス

○花井卓藏君 質問デス

○議長(公爵徳川家達君) 通告ガゴザイマスカラ、通告ガ濟ミマシテカラ願ヒタウゴザイマス、本案ニ對シマシテハ通告ガゴザイマスカラ、其順序ニ依リマシテ質疑ノ發言ヲ許シマス、子爵大河内輝耕君

〔子爵大河内輝耕君演壇ニ登ル〕

○子爵大河内輝耕君 私ノ質問イタシタイ點ハ三點ゴザイマス、第一點ハ司法大臣ニ御尋ヲ致シマス、此問題ハ實ハ昨年モ鈴木内務大臣ニ御尋ヲ致シマシテ、能ク慎重ニ考慮ヲスルト云フ御話デアリマシタガ、此法案ニ現レテ參リマセヌノデ、重ネテ此點ヲ御尋致スノデアリマス、ソレハ外デモゴザイマセヌ、此治安維持法ハ實行ト云フ程度ニ至リマセヌケレバ、治安維持法

ニ掛カツテ來ルコトガ出來ナイ、實行ノ程度ニ至リマセヌ、マダ程度ノ低いモノニ付キマシテハドウ云フ風ニ法律上御取締リガアルノカ、何カ之ニ付キマシテハ相當ナ立法ガ必要ト存ジマスルガ、此點ハ如何デゴザイマスカ、昨年鈴木内務大臣モ此點ハ認メラレテ、慎重ニ考慮ヲシヤウト云フ御話デゴザイマシタ、私ノ考デハ今度緊急勅令ヲ出サレタニ付キマシテ、此緊急勅令竝ニ只今私ノ申上ゲテ居ル點ナドハ併セテ治安維持法ノ改正案トナツテ、此議場ニ現レテ來ルコト存ジマシタ所ガ、單ニ緊急勅令ノ承諾案ニ止マリマシテ、サウシテ此點ニ付テ何等御考慮ニナッタ形跡ガ見エナイノハドウ云フモノデゴザイマスカ、政府ハ此點ニ付テ如何ニ御考ヘニナツテ居リマスカト云フコトヲ司法大臣ニ伺ヒタイ、第二ノ點ハ只今委員長カラノ御報告ニ依リマスト云フト、共産思想ノ傳播ガ中ヨエライ勢ガアル、内亂罪ヨリモット重大ニ取扱ハナケレバナラナイト云フヤウナ狀況デゴザイマス、是ハ内務大臣ニ御尋ヲ致シタイ、斯ウ云フ共産主義トカ、或ハ又モット進ンデ國體ノ變革ナドト云フコトヲ企テル者ハ、一種ノ是ハ精神病者ト見テ差支ナイ、斯ウ云フ一種ノ精神病者ヲ良民ノ中ニ放ツテ置イテ、オマケニ是ハ傳染性ノ性質ヲ有ツテ居ルモノデ、放シテ置ケバ放シテ置クダケ社會ニ對スル害ハ愈々増シテ來テ、善良ナ分子ガ是ガ爲ニ感化ヲ受ケルト云フコトハ免レナイコトデハアリマスマイカ、斯ウ云フモノニ對シテ何カ相當豫防ノ方法デモゴザイマスマイカ、私ハ何モコトヲ申スノデハナイ、其思想ハ誠ニ憎ムベキモノデアリマスルガ、其人ヲ何モ迫害スルバカリデ宜イト云フモノデハナイ、唯社會ニ對スル危險性ヲ除キ得レバソレデ差支ナイコトト存ジマスルガ、之ニ對シテ内務大臣ハ何カ御考デモゴザイマスマイカ、御意見ガゴザイマスナラバ御済シヲ願ヒタイ、第三點ハ、此共産運動ト……少シ甚ダ申シニクイ言葉ヲ使ヒマスガ、已ムラ得マセヌ、現在此貴衆兩院ニ現レテ居リマス政黨派トノ關係如何ト言ヘバ、斯ウ云フコトハ既成……現在現レテ居ル所ノ政黨派ト此共產思想トハ何等ノ關係ハナイト私ハ確信イタシテ居ル、確信ヲ致シテ居リマスガ世間往々誤解ヲ傳ヘルモノガアリマシテ、先日ノヤウニ山本代議士ニ對スル兎行ナント云フモノハ其誤解ノ結果行ハレル、此點ハ十分ニ明カニシテ置カナケレバナラヌ、我ニ將來勞働運動或ハ庶民運動ニ對スル所ノ態度カラ言ツテモ、是非共

政策、或ハ労働運動、斯ウ云フモノノト混同セラレルコトハ、誠ニ健全ナ労働運動者ニ取テ、是程迷惑ナコトハナイ、少シク庶民階級ノ爲メヲ圖レバ、直ニ是ハ共産主義ト云フヤウナ誤解ヲ蒙ル虞ガアル、此點ハ甚ダ申シニクイコトデゴザイマスルガ、當局者カラ明確ナ御辯明ヲ得テ置キタイ、併シ是ハ事實ニ關スルコトデアリマスカラ、政府ヲ代表シテノ御答デアリマスレバ、警保局長カラ御答ヲ得テ差支ナイコトデアリマス、以上三點ニ付キマシテ政府ノ御答ヲ煩シマス。

〔國務大臣原嘉道君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(原嘉道君) 大河内子爵ノマダ實行ノ域ニ至ラナイモノモ、ドウトカ云フ方法デ、刑事法デ取締ル必要ナキカト云フ御話ハ、只今仰セノ通り、昨年モ御質問ガアリマシタノデ、治安維持法ノ改正案ヲ拵ヘマスルニ當リマシテ、更ニ話合ヲシテ見タノデアリマスガ、刑事法ト致シマシテハ、矢張リ實行ト云フ所マデ參リマセヌト云フト之ヲ取締ルト云フコトハ餘程困難デアラウ、學說トシテ單ニ發表スルト云フヤウナモノハ出版法デ取締ルト云フコトハ致シマスルガ、又他人ニ意見ヲ言フト云フヤウナ程度ノモノハドウモ之ヲ取締ルコトハ刑事法ヲ以テスルノハ如何デゴザイマセウカ、此目的ヲ實行スル爲ニ、二人以上協議ヲ致シマスルトカ、或ハ其目的ノ實行ノ爲ニ他人ヲ煽動スルトカ致シマスレバ、治安維持法ノ第二條以下デ處罰スルコトニナッテ居リマスコトハ、大河内子爵ノ仰セノ通リデアリマス、既ニ實行ト云フコトニ付テ二人以上ノ間ニ協議ヲスルトカ、或ハ一人ガ他人ヲ煽動スルトカ云フコトデアリマスルト、刑事法ニ依ツテ取締ルノ必要アルト云フコトハ、是ハ何人モ疑ヲ容レナイノデアリマスガ、單ニサウ云フ意見ヲ述ベタトカ、或ハ何カニサウ云フコトヲ書イタト云フダケデハ、刑事法デ以テ取締ルコトハ如何ナモノデアラウカト云フコトデ、遂ニ之ヲ設ケマセナカッタ次第デアリマス、尤モ文書ニ書キマシタ中ニハ不敬ニ瓦ル程度ニ達シタモノハ、御承知ノ通り不敬罪デ處罰サレルコトハ勿論デアリマス、文書ニ書イタモノデ不敬罪ニモ當ラヌト云フヤウナ程度ノモノデアリマスルト云フト、之ヲ刑事法デ取締ルト云フコトハ如何ナモノデアラウカト云フコトデ、遂ニ法案中ニ之ヲ掲ゲナカッタ次第デアリマス、ソレダケ申上ゲテ置キマス。

〔國務大臣望月圭介君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(望月圭介君) 大河内子爵ノ御尋ニ御答ヘ申上ゲマスガ、共產主

義或ハ無政府主義、是等ノ、彼ノ間違ッタ思想ニ驅ラレテ居ル人々へ對シテ、或ハ之ヲ豫防シ、防止スルニ付テハ、政府ハドウ云フ考ヲ有ツテ居ルカ、斯ウ云フ御尋ト心得ルノデアリマスガ、斯ノ如キ心得ノ違ッタ者ノ我ゝ同胞ノ中ニアルト云フコトハ、御同様誠ニ慨歎ノ至ニ堪ヘヌノデアリマス、併シ等シク帝國ノ臣民トシテ我ゝノ同胞トシテアル以上ハ、之ニ付テ出來得ル限リノ力ヲ盡シテ、斯様ナ惡思想ニ驅ラレテ居ル者ヲ防止又ハ剪除シナケレバナラヌコトハ、是ハ申上ゲル迄モアリマセヌ、併シ之ニ付キマシテハ第一ニ力ヲ盡サネバナラヌト云フコトハ、教育ト云フコトノ方面ニ最モ力ヲ注ガネバナラヌカト思フノデアリマス、又社會政策ノ方面ヨリモ力ヲ致サナケレバナリマセヌ、是等ニ對シテハ反省ヲセシメ、改心ヲセシメ子爵ノ仰セニナッタガ如クニ、世間ノ言フ言葉デ申シマスレバ、彈壓ト云フコトヲ以テ臨ンデカラ是ガ行クモノデハナイト思ヒマス、上下心ヲ一ツニシテ。斯様ナ心得違ヒノ者ノナカラシムベク、教育ノ方面ヨリ、社會政策ノ方面ヨリ、又斯ノ如キ者ニ對シテハ世間ノ力アリ信用ノアル先覺者ガ反省ヲセシメ、改心ヲセシムルト云フコトニ努メレバ、私ハ此防止、此剪除ト云フモノハ是ハ出來ルモノナリト、ケノ注意ヲシカニ致シテ居ル積リデアリマケレドモ、是ハ上下一致ノ心ヲ以テ、先程申シマス通リニ、教育ノ方面ヨリ、社會政策ノ方面ヨリ、其他有ユル力ヲ以テ臨ミタイト云フコトノ考ヲ持ツテ居ル次第デアリマス。

〔政府委員横山助成君演壇ニ登ル〕

○政府委員(横山助成君) 日本共產黨ト政黨ノ關係ニ付キマシテ私カラ御答ヘ申上ゲタイト思ヒマス、祕密結社日本共產黨ト所謂既成政黨トノ間ニ於キマシテハ、勿論何等ノ關係モ、聯絡ノ關係ノアルコトハ信ジラレナイシ、又サウ云フ疑ヲ持ツベキ事實モ、政府トシテハ、認メテ居リマセヌノデアリマス、黨ニ於テハ、或特殊ノ關係ヲ有シタル事實ガ發見サレテ居リマス、ソレデ祕密結社日本共產黨ガ自分ノ黨員ヲ勞働農民黨ノ中ニ派出ヲ致シマシテ、彼等ス、唯昨年五月ニ公安秩序ヲ害スル虞アリトシテ解散セラレマシタ勞働農民ノ用語ニ從ヒマスルト「フラクション」トカ分派トカ申シテ居リマスガ、其分派ノ力ヲ以テ分派ヲ通ジテ、勞働農民黨ノ間ニ一ツノ影響ヲ與ヘ、日本共產黨ノ目的トスルコトヲ勞働農民黨ヲシテ行ハシムルコトヲ努力イタシタ其結果、各種ノ方面ニ於キマシテ、共產黨ノ目的トスル所、主張トスル所ガ、勞

効農民黨ヲ通ジテ行ハレタル事實ガ相當顯著ナ事實ガアリマシテ、其結果昨年五月ニ解散ヲ命ジマシタノデアリマス、此關係カラ致シマスルト、日本共產黨ト勞働農民黨ハ大キナ關係ヲ有ツテ居ルコトト見ルベキモノト考ヘテ居リマスルガ、併ナガラ勞働農民黨其自體、政黨ソレ自體ガ、勞働農民黨ノ主領幹部ノ者ガ意識ヲ致シマシテ共產黨ト聯絡行動ヲ行ツタト云フ證跡ハ有チシマシテ行動シタト云フ實際ノ證據ハ有チマセヌノデアリマス、大體其關係ヲ御答へ致シマス

〔男爵井上清純君演壇ニ登ル〕

○男爵井上清純君 私ノ質問ハ内閣總理大臣ニ對スルモノデアリマス、僅ニ一點デアリマスルガ、内閣ノ全般ノ御方針ヲ示ス問題デアラウカト考ヘマシテ、總理大臣ノ御辯明ヲ煩ス次第デアリマス、此事後承諾案ハ極刑ヲ科スル點ニ於キマシテモ、又政府ヲシテ此勅令ヲ發布セシメルニ至ッタ道程ニ見マシテモ、近來ノ最モ重大ナル法案デアリ、最モ深刻ノモノデアルト考ヘマス次第デアリマス、實ニ三千年來我ガ祖先ガ肝血ヲ地ニ投ジテ養ヒ來タ所ノ我ガ美シイ所ノ大和魂ヲ腐蝕セシメ、丁度白蟻ガ大殿堂ノ基礎ヲ腐蝕セシムル如ク腐蝕セシメ、延イテハ我ガ民族ノ中心生命デアリ道ノ起原デアリ眞善美ノ權化トモ云フベキ國體、殊ニ世界文化ノ華デアルトマデニ私共ハ信ジテ居ル所ノ我ガ國體ヲ破壞セムトスル所ノ今古未會有ノ組織的大規模ノ思想運動ヲ阻止シ處斷セムトスル法律ノ改正デアルカラデアリマス、而シテ我ガ國情ヲ大觀シマシタナラバ、内ニハ幾多ノ社會的缺陷ガアルト云フコトハ之ヲ見遁ス譯ニ參リマセヌ、外ニハ恐ルベキ外魔ガ跳躍ヲ擅ニシテ居リマス、而モ我ガ體ハ、此一大試鍊ニ際會シマシテ、新シイ所ノ光輝ヲ發揮スルコトハ信ジテ青年學徒ノ間ニハ誤レル世界的經濟思想ガ感染シマシテ、軀テ哲學的、宗教的信念ニ恐ルベキ内魔ガ隨所ニ發生シテ居ル現狀デアリマス、固ヨリ我ガ國體ハ、此一大試鍊ニ際會シマシテ、新シイ所ノ光輝ヲ發揮スルコトハ信ジテ疑ハナイノデアリマス、併ナガラ其内閣ト云フモノガ基デアリマスカラ、其内閣ノ現狀如何ト云フコトハ考ヘマセヌ譯ニ參リマセヌ、言フテ見マスルト、潛航式塹壕戰トモ申シマスカ、或ハ毒瓦斯ノ戰ト申スヤウナ、目ニ見エナイ所ノ戰ガ始マツテ居ルト見ナケレバナラナイ、即チ内治ニ於テモ外交ニ於テモ公明ナル内閣デナケレバナラヌノデアリマス、又教養アリ進歩的思想ヲ有ス

ル内閣デナケレバナラナイノデアリマス、又金權ト權力ニ超越シテ道徳的良心ノ最モ旺盛ナル内閣デナケレバナラナイノデアリマス、威望ト信用ト殊ニ責任觀念ノ旺盛ナル内閣デナケレバナラナイノデアリマス、更ニ日本國家リマスルガ、併ナガラ勞働農民黨其自體、政黨ソレ自體ガ、勞働農民黨ノ主領幹部ノ者ガ意識ヲ致シマシテ共產黨ト聯絡行動ヲ行ツタト云フ證跡ハ有チシマシテ行動シタト云フ實際ノ證據ハ有チマセヌノデアリマス、併ナガラ斯カルコトヲ御答へ致シマス

〔男爵井上清純君演壇ニ登ル〕

○男爵井上清純君 私ノ質問ハ内閣總理大臣ニ對スルモノデアリマス、僅ニ一點デアリマスルガ、内閣ノ全般ノ御方針ヲ示ス問題デアラウカト考ヘマシテ、總理大臣ノ御辯明ヲ煩ス次第デアリマス、此事後承諾案ハ極刑ヲ科スル點ニ於キマシテモ、又政府ヲシテ此勅令ヲ發布セシメルニ至ッタ道程ニ見マシテモ、近來ノ最モ重大ナル法案デアリ、最モ深刻ノモノデアルト考ヘマス次第デアリマス、實ニ三千年來我ガ祖先ガ肝血ヲ地ニ投ジテ養ヒ來タ所ノ我ガ美シイ所ノ大和魂ヲ腐蝕セシメ、丁度白蟻ガ大殿堂ノ基礎ヲ腐蝕セシムル如ク腐蝕セシメ、延イテハ我ガ民族ノ中心生命デアリ道ノ起原デアリ眞善美ノ權化トモ云フベキ國體、殊ニ世界文化ノ華デアルトマデニ私共ハ信ジテ居ル所ノ我ガ國體ヲ破壞セムトスル所ノ今古未會有ノ組織的大規模ノ思想運動ヲ阻止シ處斷セムトスル法律ノ改正デアルカラデアリマス、而シテ我ガ國情ヲ大觀シマシタナラバ、内ニハ幾多ノ社會的缺陷ガアルト云フコトデアリマス、三度内閣カラ御下グヲ御願ヒ申上ゲタト云フコトヲ承ツテ居リマス、此一事ハ日本國民トシテ感激ノ湧ナクシテハ拜承ハ出來ナイ事柄デアルト考ヘマス、内閣總理大臣ニ於カレ時容易ニ御裁可ガ下ラナカツタト云フコトデアリマス、三度内閣カラ御下グヲテモ固ヨリ深思熟考遊バサレタ結果ト信ジテ居リマスルガ、何故ニ當時四月五月ニ瓦ツタ所ノ議會ヲモ少シ延長遊バサレナカッタノデアラウカ、確カ衆議院ニ上程サレタノガ四月二十八日ト承ツテ居リマス、爾來停會二度モ續キマシテ、真ニ審議ヲスル時期ト云フモノハ僅ニ二三日ヲ剩スノミデアッタ、斯ノ如キ短時日ニ於テ、此重要法案ヲ論議シ盡サレルコトノ出來ナイコトハ明カナコトデアリマシタ、政府ハ何故ニ其時ニ會期ヲ延長遊バサレナカッタノデアリマセウカ、尙ホ延長サレルコトノ出來ナイ理由ガアッタナラバ、六月……此間ノ前文相ノ水野氏ノ言明サレル所ニ依リマスト、六月二日カ三日ニ其事ガ閣閣ノ現狀如何ト云フコトハ考ヘマセヌ譯ニ參リマセヌ、言フテ見マスルト、潛航式塹壕戰トモ申シマスカ、或ハ毒瓦斯ノ戰ト申スヤウナ、目ニ見エナイ所ノ戰ガ始マツテ居ルト見ナケレバナラナイ、即チ内治ニ於テモ外交ニ於テモ公明ナル内閣デナケレバナラヌノデアリマスカラ、此間ニ長イ……十分ニ議會

ヲ開クベキダケノ餘裕ガアツタコトト考へマス、サウシテ何故ニ私共ニ此重大

ナ法案ヲ慎重審議スル所ノ機會ヲ御與へ下サラナカッタノデアリマセウカ、此

事ニ付テハ今委員長カラ御報告モアリマシタシ、原司法大臣八十箇條ノ條件
ヲ擧ゲテ説明シテ居ラレマス、私ハ一モ此事ニ付テハ満足ヲ感ジマセヌケレ
ドモ、暫ク今日ハ是ハ時間ノ關係上、同ジ事ヲ伺フヤウナコトニナリマスル
カラ此事ハ止メマシテ、此一事ダケヲ總理大臣ニ伺ヒタイ、ソレハ斯カル國
民ノ生命ニモ關スル所ノ重大法案ノ改正ハ、勅令ニ依ル方ガ御宜シイノデア
リマセウカ、或ハ法律ニ依ラレタ方が可ナリト感ゼラレルカ、勅令ガ可ナリ
ヤ法律ガ可ナリヤト云フコトダケニ對シテ、總理大臣ノ御明答ヲ煩サントス
ルモノデアリマス

〔國務大臣男爵田中義一君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵田中義一君) 只今井上男爵ノ御尋ニ對シテ御答ヲ致スノデ
アリマス、議會ガ開會中、デアリマスレバ無論法律ニ依ラナクテハナラヌコト
デアリマス、議會閉會中、デアリマスルガ故ニ、法律ニ代ルニ緊急勅令ヲ以テ
セラレタ所以、デアリマス

○男爵井上清純君 此緊急勅令ニ承認ヲ與ヘルコトニナリマシタナラバ、同
じ内容デ以テ、形式ハ法律デヤル御考ハナイノデアリマセウカ、モウ一言御
辯明ヲ待ツノデアリマス

〔國務大臣男爵田中義一君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵田中義一君) 此御承諾ヲ得レバ、則チソレガ法律トナルノ
デアリマス

○男爵井上清純君 斯カル國民ノ精神ニ關係スル重大問題ヲ、法律一點ヅク
デ以テ御考ヘニナルコトハ、我ミノ尊敬スル内閣總理大臣トシテ、私ノ取ラ
ナイ所デアリマス、今ヤ思想ノ戰ハ、先程申上グルヤウニ非常ニ深刻ニ進ン
ナイ所デアリマス、此際ニ於テ上司ノ執ラレル所ノ態度ト云フモノハ、國民全般ニ
及ボス所ノ影響甚大ナルモノガアルト考へマス、ドウカ此事ハ今御即答ナサ
ヌデモ宜シウゴザイマスカラ、モウ少シ御考ヲ爲サレテ、御相談ヲ爲サレ
テ、承諾後ニ此形式ヲ法律ニ御直シニナル方ガ宜カラウト思フ、何故カト云
フ、永遠ニ此法律ノ上ニ勅令ナニガシト云フモノガ遺ルカラデアリマス、
嫌ナ問題ガ殘ルカラデアリマス、斯ウ云フ一投足ノ勞ト云フモノハ何モ避ケ
ル必要ハナカラウト考へマス、更ニ總理大臣ノ御勘考ヲ煩シ私ノ質問ヲ打切

ラントスルモノデアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 花井卓藏君

○花井卓藏君 簡單デゴザイマスカラ此席デ……

○議長(公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマス

○花井卓藏君 委員長ノ報告ヲ承リマシテ、若シ私ノ質問セントスル事項ガ
委員會デ現レテ居ツタコトデゴザリマスルナラバ、ソレニ依テ了解ヲセント
考ヘテ居ツタノデゴザイマスルガ、御報告中ニゴザイマセヌカラ三點伺ヒタイ
ノデアリマス、第一緊急勅令ヲ以テ法律ヲ改正シタル事例アリヤ、第二緊急

勅令ニ對スル私ノ最モ喜ブベキ一ノ實例ガアル、即チ明治三十八年、或ハ三
十九年デアタッカ存ジマセヌガ何レカデアリマス、只今井上男爵ノ御引用ニ
ナツタノモ其一ツノ例デアリマス、二ツノ緊急勅令ガ出マシテ、其一ハ俘虜刑
罰ニ關スル件、是ガ所謂死刑ノ附イテ居ル方ノ緊急勅令デス、今一ツハ外國ニ
於テ流通スル貨幣云々ニ關スル件、是ハ法律ノ名デアリマス、是ガ衆議院ニ現
レマシタ際議會ハ、承諾ハ與ヘマシタ、併ナガラ現ニ議會ガ開カレテ居ルノデ
アルカラ、直ニ法律ヲ制定スベキ權能ハアルノデゴザリマスルカラ、衆議院ハ
同様ナル法律案ヲ出シマシタ、而シテ我ミハ一方ニ於テ緊急勅令ニ承諾ヲ與
ヘテ政府ノ責任ヲ解除シ、一方ニ於テ立法府ノ權能ヲ發揮シテ法律ヲ提出イ
タシマシタ、而シテ緊急勅令ヲ此法律ヲ以テ廢止シタト云フ實例ガアルノデ
アリマス、此道ガ歩ミタイノデアリマス、併ナガラ治安維持法ニ關シテハ、尙
ホ別段ニ調査考量ヲ要スル事項モアルデアリマセウ、又刑法關係ニ於テ之ヲ
刑法中ニ併セテ編ムベキヤ否ヤト云フコトニ付キマシテモ調査考量ヲ要スル
事項ガアルデアリマセウ、ソレ故ニ政府ハ同時ニ此案ヲ提出セラレナイコト
デアラウト思フノデアリマス、私モ亦此道ヲ歩ミタイノデゴザイマスルガ、
茲ニ尙ホ研究ヲ要スベキ點ガ残ツテ居リマスカラ、此道ヲ歩ムコトヲ避ケタノ
デアリマス、併ナガラ歸スベキ所ニハ歸セネバナラヌ、立法ノ常道ニ基イテ
完全ニ法律トシテ力ノアルモノヲ作ルベキガ當然デアルノデアリマス、政府
ハ此案ノ承諾ヲ得タル後ニ於テ、之ヲ或機會ニ、併ナガラ出來ル限り速ニ、
立法ノ常道タル法律トシテ議會ニ提出スル意思ノアルモノデアラウト私ハ信
ズルノデアリマスルガ、現ニ刑法改正ノ議ナドモアルノデアリマスルカラシ
テ、將來ノ爲ニ……將來ノ爲デハナイ参考ノ爲ニ之ヲ承ッテ置キタイノデア
リマス、私ハ此案ニハ勿論承諾ヲ與ヘルノデアリマス、唯只今ノ二ツノ點ニ

付キマシテ深ク我ニガ緊急勅令ノ取扱ノ上ニ於テ考ヘヌケレバナラヌ點ト心得マスカラ、此點ヲ御尋ネスル次第デアリマス、第三點ハ此緊急勅令ノ事後承諾ヲ求メラレル理由書デアリマス、此理由書ガ甚ダ我意ヲ得テ居ルノデス、私ハ當院ニ於キマシテモ、緊急勅令ニ關スル責任觀念ト云フモノガ如何ニモ曖昧デアルト云フコトヲ痛感シタコトガアルノデアルカ、或ハ此二ツノモノヲ兼ネタルモノデアルカ、從來内閣ノ取り來リタル所ノモノハ、法律效力持續主義ニ決メテ居ツタノデアリマスルガ、殆ド例ノ如クニ掲ゲラレテ居ツタノデアリマスルガ、此度ノハ文章ノ上ニハッキリ現レテハアリマセヌガ、部分的ニ責任解除ヲ求ムル趣旨デアルカノ如クニモ感ゼラレルノデアリマス、此點ノ趣意ヲ承リタイノデアリマス、私ハ憲法第八條ノ要求スル要件ハ備ヘテ居ル緊急勅令ト信ジマスカラ、勿論承諾ヲ與フル一人デアリマス、唯此三ツノ問題ハ此場合ニ於テ解決シテ置キタイト思ヒマスルカラシテ、願クハ内閣總理大臣ナリ小川鐵道大臣、又司法大臣何レモ國務大臣デアリマスカラ、互ニ責任ヲ負ハレテ居ルノデアリマスカラ、ドナタデモ宜シノデアリマス、尙ホ添ヘテ申シテ置キマスガ、曾テ衆議院ニ於テ法律トシテ俘虜刑罰ニ關スル件、外國ニ於テ流通スル貨幣云々ニ關スル件ハ、私ガ提案シタノデアリマスガ、小川鐵道大臣ハ最モ熱心ナル贊成者デ、明カニ署名セラレテアルト思ヒマス、或ハ私ト同時ニ提出者ニナツテ居ラレタカト云フコトヲ臘氣ナガラ覺エテ居リマス、同君ノ御意見ナドハ私ハ大イニ参考ニナルコトデアルト思ヒマス

○大島健一君 只今花井君ノ御質問ノ中ニ含マレマシタル件ハ委員會ニ於テモ反復サレタルコトデアリマス、サリナガラ前申シマシタ如ク、此法律ハ懲罰規定、ソレニ添フ僅カナ文句ガ改正ノ意味ニナリマスノト、緊急勅令ヲ以テシタト云フコトノ時、狀況ニ對スル適否如何、此問題デアリマシタカラ、主モニソレニ觸レタルコトヲ以テ御答ヲ致シテ置キマシタガ、委員會ニ於テハ今御質問ニナリマシタ第一、第二ノ點ハ委員諸君カラ質問ガアリマシタカラセス、出シタコトアリヤ否ヤデアリマス、其例ガアツタカドウカト云フコトハ、是ハ質問ガアリマシタガ、例ノ有無ガ必シモ此問題ノ可否ヲ定ムベキモノデナイト見マシタカラ、私ハ茲デ御報告ハシナカツタノデゴザイマス、折角委員諸君カラハ其質問ガアツタノデゴザイマスカラ、ソレヲ私ハ申述ベテ置ク迄デアリマス、ソレカラ次ニ此法律ハ刑法ニ這入ルモノナリヤ否ヤ、其中ニハ多分此花井君ノ御質問ニナツタ緊急勅令トシテハ茲ニ承諾ヲ與ヘルケレドモ、其後ノ政府ノ處置ヲ望マレタル質問モアツタカモ知ラスト私ハ思フノデアリマス、併シ此刑法ノ他日改正ノアル際ニハ此法律ハ刑法ノ中ニ入レラレルモノデアラウ、斯ウ云フ見込ト云フコトデ宜シウゴザ、イマセウ、司法大臣カラハ話ガアリマシタ、デ私ハ之ヲ大正十一年頃作ル時分カラサウ云フ考ヲ有ッテ居リマシタカラ、ソレハ何レ他日ナサルベキコトデアラウ、然ルベキコトデアラウト考ヘテ、其以上私モ質問ヲ致サズ、委員カラモ質問ガゴザイマセヌケレドモ、私略シマシタノハ此問題ヲ決メルニ直接ニ影響ガナイト云フノデ私ハ略シタノデゴザイマスカラシテ、ソレダケラ申シテ置キマス、ソレ以上ハ然レテ居ツタノデアリマスカラシテ、ソレダケラ申シテ置キマス、ソレ以上ハ然ルベク當局ヘ御問ヒヲ願ヒマス

○大島健一君 宜シウゴザイマスカ

○大島健一君 宜シウゴザイマスカ

○大島健一君 委員長ノ報告ノコトニ付テ言ヒ及バレマシタカラ一言委員長ノ儘デハ困リマス

○議長(公爵德川家達君) サウ致シマスト大島君ハドウ云フコトデスカ、委員長トシテ、委員長ノ報告……

○大島健一君 委員長ノ報告ノコトニ付テ言ヒ及バレマシタカラ一言委員長ハ申シテ置ク義務ガアルト思ツテ居リマス

○議長(公爵德川家達君) 御登壇ヲ願ヒマス

〔國務大臣原嘉道君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵德川家達君) 只今大島君ニ發言ヲ許シマシタカラ其後トデ願ヒマセウ

〔大島健一君演壇ニ登ル〕

○大島健一君 只今花井君ノ御質問ノ中ニ含マレマシタル件ハ委員會ニ於テモ反復サレタルコトデアリマス、サリナガラ前申シマシタ如ク、此法律ハ懲罰規定、ソレニ添フ僅カナ文句ガ改正ノ意味ニナリマスノト、緊急勅令ヲ以テシタト云フコトノ時、狀況ニ對スル適否如何、此問題デアリマシタカラ、主モニソレニ觸レタルコトヲ以テ御答ヲ致シテ置キマシタガ、委員會ニ於テハ今御質問ニナリマシタ第一、第二ノ點ハ委員諸君カラ質問ガアリマシタカラセス、出シタコトアリヤ否ヤデアリマス、其例ガアツタカドウカト云フコトハ、是ハ質問ガアリマシタガ、例ノ有無ガ必シモ此問題ノ可否ヲ定ムベキモノデナイト見マシタカラ、私ハ茲デ御報告ハシナカツタノデゴザイマス、折角委員諸君カラハ其質問ガアツタノデゴザイマスカラ、ソレヲ私ハ申述ベテ置ク迄デアリマス、ソレカラ次ニ此法律ハ刑法ニ這入ルモノナリヤ否ヤ、其中ニハ多分此花井君ノ御質問ニナツタ緊急勅令トシテハ茲ニ承諾ヲ與ヘルケレドモ、其後ノ政府ノ處置ヲ望マレタル質問モアツタカモ知ラスト私ハ思フノデアリマス、併シ此刑法ノ他日改正ノアル際ニハ此法律ハ刑法ノ中ニ入レラレルモノデアラウ、斯ウ云フ見込ト云フコトデ宜シウゴザ、イマセウ、司法大臣カラハ話ガアリマシタ、デ私ハ之ヲ大正十一年頃作ル時分カラサウ云フ考ヲ有ッテ居リマシタカラ、ソレハ何レ他日ナサルベキコトデアラウ、然ルベキコトデアラウト考ヘテ、其以上私モ質問ヲ致サズ、委員カラモ質問ガゴザイマセヌケレドモ、私略シマシタノハ此問題ヲ決メルニ直接ニ影響ガナイト云フノデ私ハ略シタノデゴザイマスカラシテ、ソレダケラ申シテ置キマス、ソレ以上ハ然レテ居ツタノデアリマスカラシテ、ソレダケラ申シテ置キマス、ソレ以上ハ然ルベク當局ヘ御問ヒヲ願ヒマス

○議長(公爵德川家達君) 今原國務大臣ガ特ニ答辯ヲサレル所デゴザイマスカラ、其後トデ願ヒタイ、原國務大臣

〔花井卓藏君發言ノ許可ヲ求ム〕

〔國務大臣原嘉道君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(原嘉道君) 花井君ノ御質問ノ第一緊急勅令ヲ以テ法律ヲ改正シタル事例アリヤト云フ御問ニ對シマシテハ、明治三十一年勅令百七十號、同ク三十二年勅令第三百七十七號、同ク三十七年勅令第二百十二號、是ガ何レモノ緊急勅令ヲ以テ法律ヲ改正シタル事例デアルサウデアリマス、第二ノ御質問ノ緊急勅令ノ内容ヲ速ニ法律ニ變更スル意アリヤト云フ問ニ對シマシテハ、只今委員長カラ御答モアリマシタ通リ花井君ガ現ニ御關係ニナッテ居ル刑法ノ改正ガ既ニ著手セラレテ居ルノデアリマシテ、近キ將來ニ必ズ此成案ヲ得ルコトト信ジテ居リマス、此機會ニハ必ズ治安維持法ノ内容モ刑法ノ内容トナツテ現レルデアラウト云フコトヲ考ヘテ居リマス、若シ刑法改正ガ非常ニ遅レマスルヤウデアリマシタナラバ、花井君ノ只今ノ御主張ニ基キマシテ更ニ考慮スルコトニ致シタイト考ヘマス、第三ノ緊急勅令ニ對シテ議會ノ承諾ヲ求ムルノハ、單ニ將來ニ效力ヲ存續セシムル爲ノミデアルカ、或ハ政府ガ緊急勅令ヲ發布シタ責任解除ノ意味ヲモ含ムヤト云フ御尋デアリマシタガ、之ニ對シマシテハ責任解除ト云フ言葉ガ當ルカ否カハ知リマセヌガ、政府ニ於キマシテハ緊急勅令發布ノ必要ガアツタト云フ事由ガ、矢張リ帝國議會ノ承諾ヲ求ムル理由ト相成ルモノト考ヘテ居リマスカ

○花井卓藏君 此處デ宜シウゴザイマス

○議長(公爵德川家達君) 宜シウゴザイマス

○花井卓藏君 司法大臣ノ答辯ノ前ニ私ガ立チマシタ所以ハ大島委員長ノ報告ノ補充ニ對シテ、尙ほ質問ヲシタイカラデアッタノデアリマス、併ナガラ是ハ省キマス、只今原司法大臣ノ答辯ニ依リマシテ、實ハ初メテ承知ヲ致シタノデアリマスガ、成程明治三十八年ノ際ニハ大ナル緊急勅令モ出テ居リマスルカラ、小サイモノデ或ハアッタカモ知レマセヌガ、ソレハ一體ドンナモノデアリマセウカ、ソレヲ一ツ伺ヒタイ、如何ナル……如何ナル名稱ノモノデアル程度ノモノデアルカト云フコトヲ承知シタイ、私ノ御尋ネシタノハ……、御尋ヲスル趣旨ハ緊急勅令ヲ以テ、此度提案セラレタルガ如キ法律ヲ改正シタル實例アリヤ、斯ウ云フ間デアリマス、故ニ其點ニ對スル御答ハ、三ツ勅令ヲ御示シニナリマシタモノノ名稱、内容等ヲ詳細ニ御説明ヲ願ヒタイノデアリマス

〔國務大臣原嘉道君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(原嘉道君) 先刻ノ花井君ノ御問ハ緊急勅令ヲ以テ法律ヲ改正シタル事例アリヤト云フコトデアッタ考ヘマシタノデ、緊急勅令ヲ以テ法律ヲ改正シタ事例ヲ申上ゲタノデアリマスルガ、只今ノ御質問ハ更ニ刑罰法規ガ法律デ定メテアル場合ニ、緊急勅令ヲ以テ改正シタ事例ガドンナモノデアルカ、斯ウ云フ御問デアルノデアリマス、ソレハ明治三十一年ノ勅令第百七十號モ、同ク三十二年ノ勅令第三百七十七號モ共ニ選舉ノ罰則ニ關スルモノデアリマシテ、何レモ從前ヨリ刑ヲ重クシテ居ルノデアリマス、併シ是ハ中モ内容ガ長イノデアリマスカラ、今直ニ茲ニ申上グルノハ少シ時間ヲ費スヤウニ存ジマスノデ御必要ナラバ御手許ニ差出シテモ宜シトイ思ヒマス

○花井卓藏君 ソレデ安心イタシマシタ、只今御引例ニナリマシタ勅令ナラバ、私ガ實際其案ニ關係シタコトヲ覺エテ居リマス、併シ是ハ例ニハナラナイ、是ハ例ニハナラナイ、是ハ衆議院ニ於テ満場一致ヲ以テ承諾ヲ與ヘザルト言ツテモ宜イノデアリマスカラ、例アリヤ否ヤト云フ問ノ答トシテハ、例ハアル、併ナガラ帝國議會ニ於テ満場一致否決セラレタルモノデアルト云フコトガ附加セラレヌケレバナラヌモノデアル、ソレヲ参考ニ申上ゲテ置キマス、然ラバ即チ結局例ハ無イノデアリマス、先ヅ有效ニハ無イトシテハ、例ハアル、併ナガラ帝國議會ニ於テ満場一致否決セラレタルモノデアルト云フコトハ、一種ノ立法權ノ侵害ト云フコトニナレバ、ベク速ニ實現セラレヌケレバナラヌト云フ結論ニナル、此點ヲ何卒政府當局トシテハ能ク御考ヲ願ヒマシテ治安維持法中ノ修正トシテモ無論出來ルダラウト思ヒマスガ、併ナガラ治安維持法ヲ刑法ニ取ルト云フコトニナレバ、矢張リ複雜ノ問題ガ出テ來ルカモ知レマセヌ、何ニ致シマシテモ變則立法ニ承諾ヲ與ヘラレタカラト云ツテ、ソレヲ常道立法ノ如ク心得テ法律トシテ力ヲ永久ニ持續セシムルト云フコトハ、一種ノ立法權ノ侵害ト云フコトニナルノリマスカラ、ドウゾ第二ノ答辯ニ對スルコトヲ責任的ニ今ノ内閣トシテハ稍アリマスカラ、折角理由書ヲ讀ンデ見マシテモ、歷代ノ内閣ニ比シテハ稍進境ヲ示シテ責任解除主義ノヤウニ書イテアル點ニ私ハ満足シテ居ルノデアリマスカラ、ドウゾ第二ノ答辯ニ對スルコトヲ責任的ニ今ノ内閣トシテハ頭ノ中ニ強ク入レラレムコトヲ願ヒマス、是ダケデアリマス

○伯爵二荒芳徳君 此席カラ申上ゲテ宜シウゴザイマス

○議長(公爵德川家達君) 簡單ナラ宜シウゴザイマス

○伯爵二荒芳徳君 相當簡單デアリマス

○議長（公爵徳川家達君） 宜シウゴザイマス

○伯爵二荒芳徳君 私ハ此勅令ノ本議場ニ上ボリマシタコトニ付キマシテ、實ニ沈痛ナ感ジヲ以テ伺ツタノデアリマス、此議會ノ傍頭ニ、私ハ總理大臣ニ善ノ標準如何ト云フコトヲ御伺ヒシタノデアリマス、是ニ對シマシテ、總理大臣ハ正シク善ク導クト云フ仰セデアリマシタ、私ノ伺ヒタイト思ヒマシタノハ、現代ノ青年ガ何ガ善デアルカ、何ガ惡デアルカト云フコトノ判断ニ迷ヒツ、アルト云フコトヲ強ク御反省ニナリタイト存ジテ申上ゲタノデアリマス、固ヨリ此中外無比ノ國體ニ對シテ、誤レル考ヲ持ツ者ハ國法ニ依ッテ處斷スルコトハ適當デアルノデアリマスケレドモ、斯ノ如キ道行ヲ彼等ガ取リツツアルト云フコトニ付テハ、私ハ有ラユル方面ニ現代ノ日本ガ缺陷ヲ持ッテ居ルト云フコトヲ信ジテ疑ハナイノデアリマス、又教育ノ方針ト雖モ、今マデ明治時代カラ執ツテ來マシタ所ノ教育方針ト云フモノハ、謂ハバ最モ物質的ニ偏シテ居ル所ノ教育デアッテ、其種子ガ益々近頃其實ヲ結ビツ、アルノデハナイカト迄思ハレル、實ニ憂慮ニ堪ヘヌノデアリマス、承リマスレバ共產大學ガ露西亞ニ出來テ居ル、日本ハ此日本ノ國柄ヲ十分ニ闡明スル所ノ一ツノ學問、或ハ之ヲ道德科學トモ申シテ宜シイカトモ存ジマスガ、サウ云フヤウナ日本ノ國ノ本質ヲ哲學的ニモ見極メルヤウナ御施設ヲ、斯カル法律ヲ要スル日本ニ於テ御考慮ニナツテ居ラヌデアリマセウカ、又此危險ナル思想ト云フモノハ法律デ之ヲ禁止スルト云フコトハ甚ダ難イコトデアッテ、其根本ヲ正ス、即チ「大義ヲ明カニシテ人心ヲ正サバ皇道奚ゾ興起セザルヲ患ヘム」ト云フコトヲ申シタ、藤田東湖ノ言葉ヲ思ヒ出スノデアリマス、日本ノ國柄ヲ研究スル例ヘバ皇學、或ハ道德科學ト云フヤウナモノヲ研究スル一科學カ若クハ一課目ヲ大學等ニ御置キニナルト云フヤウナ御考ハナイノデアリマセウカ、ソレヲ伺ヒタインデアリマス

〔國務大臣勝田主計君演壇ニ登ル〕

○國務大臣（勝田主計君） 只今二荒伯爵ノ御尋ニ對シマシテ便宜上私ヨリ簡單ニ御答ヲ致シタイト思フノデアリマス、二荒伯爵ノ我國ノ國體、或ハ此國民精神ノ真髓ニ關スル研究ノ最モ重大ニシテ且ツ必要デアルト云フ御考ハ、政府ト致シマシテモ全ク御同感デアリマス、而シテ之ニ對シマシテ然ラバ如何ナル設備ヲシテ居ルカ、或ハ爲サムトシツ、アルカト云フコトニ付キマシテハ、今日ノ程度ニ於キマシテハ甚ダマダ貧弱デハアリマスルガ、御承知ノ

如クニ今回當院ノ御協賛ヲ經マシタ豫算ノ中ニモ精神科學ニ對シマシテ補助費ヲ七万五千圓バカリ要求イタシテ居リマス、是等ガ即チ左様ナコトノ研究ニ補助シ之ヲ獎勵スルト云フ一ノ手段デアリマス、又其外大學ニ道德學、或ハ東洋ノ哲學等ノ講座モ置クコトニ付テ四年度豫算ニハ要求ヲ致シテ居リマシタノデアリマス、是等ニ依リマシテ先ヅ御心配ニナツテ居ル如キ我國固有ノ國體精神、道德、斯様ナモノヲ徹底的ニ研究ヲ致シタイ、尙ホ將來ニ於キマシテハ是等ノ方針ハ益々擴大シ、益々深ク研究ヲ怠ラヌ、斯様ナ精神ヲ持ッテ居リマスカラ、是ダケヲ御答ヘ申上ゲマス

○伯爵二荒芳徳君 只今ノ文部大臣ノ御答辯ハ能ク分リマシタ、唯所謂此思想ニ疑ヲ懷ク者ハ今ノ青年ノ中ノ最モ眞面目ナ者ニ私ハ多イト云フコトヲ實見ヲ致シテ居ルノデアリマス、即チ私ハ多少青年ニ接スル幾多ノ機會ヲ持テ居ルノデアリマスガ、彼等ガ今日ノ時勢ヲ見テ、其煩悶ノ結果、我ニノ想ヒ及バザル考ヘニ向ヒツ、アルト云フコトハ、是ハ此議場ニ於テ私ハ公言シ得ルト思フノデアリマス、斯ノ如キ因ヲ蒔イタモノ、又斯ノ如キ結果ヲ持チ來シツ、アルト云フモノハ、我ニハ能ク之ヲ見テ、而シテ其對策ト云フヨリハ寧ロ根本ヲ匡正シナケレバナラヌト信ズルノデアリマス、私ハ此一言ヲ以チマシテ質問ヲ打切リマス

○議長（公爵徳川家達君） 是ニテ質疑ノ通告者ハ終リマシタ、是ヨリ討論ニ移リマス、通告ニ依リマシテ志水小一郎君ニ發言ヲ許シマス、同君ノ登壇ヲ望ミマス

〔志水小一郎君演壇ニ登ル〕

○志水小一郎君 本員ハ此法律案ニ贊成ヲ致ス者デアリマス、即チ緊急勅令ニ事後承諾ヲ與フベシトスル者デアリマス、本件ニ付キ贊否ヲ決スルニハ先づ共產黨ナルモノノ性質ノ如何ヲ究メ、次ニ我國ニ在ル所ノ共產黨ノ現狀及其將來ニ於テ豫想セラル、所ノモノ如何ヲ究メナクテハナラヌト思フノデアリマス、何故ナレバ、緊急勅令ノ必要不必要ハニ共產黨ナルモノノ害惡ノ程度、其現狀及將來ニ於テ豫想シ得ラル、所ノ危險ノ程度如何ニ依ルト思フカラデアリマス、而シテ治安維持法ノ改正ハ議會ノ……前議會ノ會期中ニ行フベキデハナカッタカトカ、會期中ニ行フヲ得ナカッタナラバ、會期ヲ延期シテマデモ行フベキモノデハナカッタカトカ、又ハ緊急勅令ヲ以テ治安維持法ノ如キ法律ヲ改正スベキモノデハナイトカ云ハムガ如キ議論ガ盛ンニアルノデ

アリマスガ、之ニ付テハ政府ノ答辯ガ一々アルノデアリマスガ、悉ク理由ガアツテ之ヲ否認スル譯ニモ參ルマイト本員ハ思フノデアリマス、ソレカラ緊急勅令ヲ以テ是等ノ重大ナル事件ヲ定ムベキモノデハナイトカ、法律ヲ變改スベキモノデハナイトカ云フ議論ガアリマスケレドモ、此議論ニ對シテハ本員ハ甚ダ迷フノデアリマス、ソレハ憲法第八條ノ解釋ニ依ルノデアリマス、憲法第八條ニハ「公共ノ安全ヲ保持」スル爲ノ必要ト云フコトガアリマス、此「公共ノ安全ヲ保持」スル爲ノ必要ト云フコトハ、法律ノ物差シヲ以テ之ヲ測ラムトスルノハ中も難儀デアリマス、本員ハ要スルニ時ノ内閣ガ責任ヲ以テ決メルヨリ外ハナカラウト思フノデアリマス、ソレカラ今申上ゲマシタ種々ノ反対論ニ對シテハ、或ハ現内閣ニ若干ノ粗念トカ、不注意トカハ有ッタカモ知レマセヌノデアリマス、共産黨ト云フモノノ恐ルベキモノタルコトハ今始マッタコト、デハナイ、何モ此度ノ檢舉ニ依ツテ此事ヲ發明シタ譯デヤナイト云フヤウナ議論モアリマシタガ、假ニ一步ヲ讓ッテ政府ニ若干ノ粗念等ガアッタ致シマシテモ、最早其事ハ過去ノ事實デアリマス、其過去ノ事實ヲ非難シ、ソレヲ利用シテ緊急勅令ノ承諾ヲ拒ムト云フ譯ニハ參ルマイト本員ハ思フノデアリマス、サスレバ共産黨ナルモノノ性質如何ト云フコトヲ司法當局ニ依ツテ得タル所ノ材料ニ依ツテ懇ロニ調ベテ見マスト、共産黨ナルモノハ頗ル危險ナルモノデアルノデアリマス、即チ民衆ノ革命的手段ニ依ツテ、我ガ國體ヲ變更シ、君主制ヲ撤廢シ、無產階級ノ獨裁政府ヲ樹立シテ之ニ換ヘル、且ツ私有財產制ヲ否認シテ、總テノ生產機關ト云フモノハ社會ノ共有物トスル、所謂共產主義ノ實現ヲ期待シテ居ルノデアリマス、此目的ノ下ニ彼等ノ所謂「スローガン」ナルモノハドウ云フコトデアルカト云フト、君主制ノ撤廢、宮廷、寺院、地主等ノ土地ノ無償沒收、ソレカラ「ソヴィエット」政府ノ防衛、植民地ノ完全ナル獨立、議會ノ解敗……解散デハナイデス、議會ノ打破デアリマス彼等ノ目的ハ……、ソレ等ヲ綱領トシテ確定シテ居ルノデアリマス、其他所謂帝國主義ノ戰爭ヲ彼等ハ否認シテ居ルノデアル、從テ軍隊ニ惡宣傳ヲ致シマシテ、軍隊ノ攪亂、軍隊ノ崩壊ヲ期シテ居ルノデアリマス、是等ノ行動ハ我ガ帝國ノ存立ト相容レナインデアリマス、故ニ之ヲ犯罪ト致シマシタナラバ、是ヨリ重大、重劇ノ犯罪ガアル譯ハナイノデアリマス、サウシテ共同ノ企畫タルヤ、一部ノ主義者ガ自己ノ理想ヲ敢テ決行セムトスルガ如キモノトハ大分趣ヲ異ニシテ居ルノデアリマス、即チ其黨員ガ舉ツテ集團的ニ

自己ノ信條ヲ行ハムト欲スルノデアリマス、故ニ氣脈ハ日本全國ニ通ジテ居ルノミナラズ、廣ク海外ニ通ジテ居ルノデアリマス、而シテ黨ニハソレゾレ機關ガアルノデアリマス、關東地方委員會モアレバ、關西地方委員會モアリマス、其他大阪トカ、名古屋トカ云フ各地委員會ナルモノモアリマス、ソレカラモット小サイ各地區委員會ナルモノモアリマス、ソレカラ公私ノ工場、造船所等ニハ所謂細胞組織ガアルノデアリマス、黨勢擴張、黨員ノ獲得等ニ任ズル彼等ノ所謂「オルガナイザー」ナルモノモアルノデアリマス、其他黨員ノ養成機關モアレバ、宣傳機關モアル、宣傳機關新聞紙モアルノデアリマス、其組織ハ整合トシテ系統一貫、脈絡疏通シテ居ルノデアリマス、又黨ニハ所謂「フラクション」ナルモノガアリマス、即チ分派デアリマシテ、其分派ニハ左翼勞働組合、農民組合、水平社、無產青年同盟、青年社會學聯盟等ニ於ケル共產黨員ヲ以テ之ヲ組織シテ居ルノデアリマス、サウシテ是等ヲ以テ社會黨ノ黨勢ヲ擴大シツ、アルノデアリマス、而シテ露國莫斯科ニハ第三「インターナショナル」、本部ナルモノガアリマシテ、我國ノ共產黨ハ即チ其支部デアリマシテ、指揮命令、悉ク此第三「インターナショナル」本部ニ受ケテ居ルノデアリマス、而シテ此第三「インターナショナル」本部ハ世界革命ヲ目的トシテ居リマスルカラシテ、我國ノ共產黨ハ即チ世界革命ノ一部ヲ分擔シテ居ル譯デアリマス、所謂共產黨タルモノ、險惡ナル狀態ハ概要申上ゲタ通リデアリマスガ、其我國ニ在ルモノ、現狀モ亦其危險斯ノ如クデアリマスガ故ニ、其犯者ヲ待ツニ極刑、即チ死刑ヲ以テスルノハ固ヨリ當然ノコトデアリマス、而シテ茲ニ一言ヲ要シマスルノハ、斯クシテ國體變更ヲ目的トスル所ノ此共產黨ニ極刑、即チ死刑ヲ科シマスル所以ノモノハ、凡ソ人間トシテ極刑ヲ免レテ此種ノ犯罪ヲ敢テスルコトガ出來ナイト云フ觀念ヲ懷カシムルノガ目的デアリマス、凡テ死刑ヲ科シマスル所以ノモノハ、凡ソ人間トシテ極刑ヲ免レテ此種ノ犯罪若クハ五年以上ノ懲役、若クハ禁錮トナッテ居ルノデアリマス、要スルニ死刑霜烈日ノ如ク毫モ假借セズシテ、擧ゲテ之ヲ屠リ盡サムトスルガ目的デハナイノデアリマス、故ニ其刑罰モ死刑ノ一點張リデハナクシテ、死刑又ハ無期徒刑ヲ科シマスル所以ノモノハ、凡ソ人間トシテ極刑ヲ免レテ此種ノ犯罪ソ此罪ヲ犯シマス者ハ犯情ノ如何ヲ問ハズ、犯人ノ個情ヲモ問ハズ、所謂秋行ハ威赫堤防ニアルト云フコトハ我國ノ軍法ノ立法例デ能ク分ルノデアリマス

ス、我ガ陸軍刑法ハ十一箇ノ罪名ヲ定メテ居ルノデアリマス、其十一箇ノ罪名ハ八十ノ法條ニ分載シテ、之ニ四十三箇ノ死刑ヲ擬シテ居ルノデアリマス、ベタ死刑デアリマス、軍法ノ罪ハベタ死刑デアリマス、所ガ數年ニ亘ツテ實

際死刑ニ處セラル、ト云フ者ハ一人或ハ二人ト言ハムガ如ク、極メテ稀ナモノデアルノデス、依テ以テ死刑ノ目的ハ分ル譯デアリマス、各國ノ軍事刑法

皆然リデアリマス、然ルニ嚴刑酷罰ハ犯罪ヲ撲滅スル所以デナイト云フコトハ能ク學者ノ申スコトデアリマスガ、此議論ヲ以テ本案ノ罪、即チ帝國ノ國體ヲ變更セムト欲スルガ如キ重劇ナル犯罪ニ死刑ヲ採用シタコトヲ以テ、失

當トスル議論ガ往々ニシテアルノデアリマス、是ハ要スルニ刑罰ト政策、刑罰ト教育ト言ハムガ如キモノヲ混同、ゴッチャニシテ居ル議論デアリマス、固ヨリ刑罰ノミヲ以テ犯罪ノ撲滅ヲ期スル譯ニハ參ラヌノデアリマス、矢張リ刑罰ノ外ニ社會政策トカ、教育トカ云フモノヲ併用スベキハ固ヨリノ話デアリマス、併ナガラソレ等ノ政策ヲ實行スルガ爲ニハ、矢張リ罪ト刑罰ト相當ル所ノ立法ハ是非必要デアルノデアリマス、刑事政策ヲ行ハムガ爲ニモ是非必要デアリマス、但シ此犯罪ノ性質即チ犯人ノ信條ヨリ來ル如キ犯罪ハ、如何ニ嚴刑酷罰ヲ以テスルモ、之ヲ撲滅スルニ足ラザルノミナラズ、却ツテ犯者ヲシテ激昂セシメ、益其決心ヲ堅クセシムルト云フコトニナルカモ知レマセヌ、サウ云フ例ガ幾ツモアルノデアリマス、併シ之ガ爲ニ刑罰ヲ躊躇シタリ、犯人ニ科スベキ刑罰ヲ減輕シタリスルヤウナコトハ、司法處分ノ性質トシテ斷ジテ許サヌノデアリマス、サウスレバドウスルカト云フノニ、此種ノ犯人ニハ犯人ノ決心ニ倍蓰スル所ノ決心ヲ以テ之ニ當ル、詰リ犯人ト鬪フノデアリマス、何方ガ勝ツカ鬪フノデアリマス、サウ云フ決心ヨリ外ニハナイノデアリマス、甚ダ簡單デアリマスケレドモ、本員ノ本法ニ贊成スル理由ハ是デ盡キテ居ル

○議長(公爵德川家達君) 是ニテ通告ハ終リマシタカラ、最早他ニ發言モナイト認メマスカラ採決ヲ致シマス、本案ニ承諾ヲ與フベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

〔起立者多數〕

○議長(公爵德川家達君) 過半數ト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 日程第十五、山口縣營軌道及筑後軌道株式會社所

屬軌道補償ノ爲公債發行ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和四年三月十二日

右特別委員長

公爵 一條 實 孝

貴族院議長公爵德川家達殿

○議長(公爵德川家達君) 特別委員長一條公爵ノ登壇ヲ望ミマス

〔公爵一條實孝君演壇ニ登ル〕

○公爵一條實孝君 山口縣營軌道及筑後軌道株式會社所屬軌道補償ノ爲公債發行ニ關スル法律案ノ特別委員會ノ經過並結果ヲ御報告イタシマス、本件ハ岩國德山間ノ省線建設中、山口縣營軌道ト並行スル麻里布岩國ノ間ノ省線ガ近ク開通ヲサレル豫定ノ爲ニ縣營軌道ガ到底經營シテ行クコトガ出來ナイ、之ニ對シ補償セムトスルコトガ其一ツデアリマス、今一ツハ筑後ノ久留米カラ大分間ノ省線建設線中、久留米吉井間ノ省線ガ昨年十二月ニ開通イタシマシテ、之ニ並行セル筑後軌道株式會社經營ノ、軌道ノ營業ノ繼續ガ出來ナイト、斯様ナ狀態ニナリマシタノデ、之ニ對シ補償ヲセムトスルモノデアリマス、而シテ前者ニ對シテハ交付公債六十六万三千餘圓、後者ニ對シマシテハ四百三十七万圓ヲ發行セムトスルモノデアリマス、特別委員會ハ四回ニ瓦リ慎重ニ審議イタシマシタノデアリマスルガ、質疑ノ重モナルモノハ地方鐵道法第三十六條ノ解釋ニ付テ、二三ノ委員ノ質問ガアリマシタ、之ニ對シテキト、此文句ノ解釋ハ、之ヲ繼續スルコト能ハザルコト、推定シタル場合ヲモ含ムト、斯様ナ明答ヲ與ヘラレタノデアリマス、又一二ノ委員カラ山口縣營軌道ノ補償見積價額ニ付テノ質疑ガゴザリマシタガ、政府ノ答ヘラレル所ニ依レバ、此軌道ハ大正十三年四月ニ山口縣ガ中外電氣株式會社カラ買收シタモノデアル、而シテ大正十二年ノ會社ノ營業費ハ、七万四千九百餘圓ナルニ對シ、縣營ニ移リマシテカラ、其翌年大正十三年ニナリマスルト、忽チ三万

九千五百餘圓、斯ウ云フ營業費ニナツテ居ル、斯様ニ非常ナ差ガアル、從ツテ

益金トシテハ十二年ノ會社時代ハ、僅ニ二千七百八十七圓デアリマシタモノガ、縣營ニ移ルヤ三万六千六百餘圓ト云フ數字ヲ示シテ居ルノデアリマス、

デ之ニ付テ政府デ十分ニ御調ベニナツタノデアリマスルガ、實ハ會社ハ清算ガ濟ンデ居リマシテ、今日ハ詳細ナ書類ガナイノデアリマス、餘リ無イノデア

リマス、縣廳カラノ報告ヲ基礎トシテ、各委員ニ數字ヲ御示シニナツタヤウナ

次第アリマス、政府ノ斯様ナ營業費ノ差ノアルコトニ付テノ細ミノ御説明モアリマシタ、其他一委員ヨリハ地方鐵道法ノ改正法案ガ直キニ出ル、ソレニ依ツテ計算ヲスルト云フト、補償ノ額ガ幾ラカ變ツテ來ル、同ジ時期ノ議會

ニ提出サレテ、而モソレガ可決セラレタ曉ニ於テ、不權衡ナル補償、其他買收ノ取扱ガアルコトハ穩カデナイト、斯様ナ御話ガアリマシタノデアリマスルガ、政府ニ於テモ御同感ノ意味ヲ現サレタノデアリマス、討議ニ移リマシテカラ、一委員ヨリ山口縣營軌道ノ收支計算ニ付テハ、縣營時代ト會社時代

ノ計算トヲ比較スルニ、會社時代ハ利益金ガ非常ニ少ナカッタガ、縣營ニナツテ一躍十倍以上ノ利益金ヲ舉ゲタ勘定ニナツテ居ル、會社時代ノ計算ニ付テ

モ嚴格ニ調ベタナラバ、營業費トシテ、他ノ經費ヲ包含スルモノモアラウ、又縣營ニ移ツテカラノ營業費トシテモ、殊更ニ利益ヲ殖ヤス爲ニシタノデハナ

イカト云フ疑ヲ以テ見レバ見ラレルヤウナ點モアル、例ヘバ電力ノ料金ヲ「キロ」一錢何厘トシテ計算シテ居ル、而モ民間ニハソレ以上ノ高價デ賣ッテ居ル、斯様ナ點モアル、又軌道部ノ計算トシテモ、殆ド實費ニ當ルカ當ラヌカト云フヤウナ勘定ヲ立テ、居ル、是等ノ點ニ關シテハ十分……勿論鐵道省ニ於テ從來ノ例ニ依ツテ嚴重ニ御取調ニナルコトト思フガ、委員會ニ於テモ其意思ヲ附帶決議トシテ表シテ置キタイト、斯様ナ意見ガ出マシテ遂ニ委員會ニ於キマシテハ、次ニ申上グマスルヤウナ附帶決議附デ、全會一致本案ヲ可決イタシマシタル次第アリマス

附帶決議

山口縣營軌道ノ補償見積價格算出ノ基礎タル計數ニ疑義ノ存スルモノアリ

依テ政府ハ此補償ヲ爲スニ當リテ特ニ嚴正ナル調査ヲ遂ゲ其ノ價格ノ公正

ヲ期スベシ

之ヲ以テ報告ヲ終リマス

○議長（公爵德川家達君） 本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

〔松村義一君發言ノ許可ヲ求ム〕

○松村義一君 議事ノ進行ニ付テ一言申述べタイト思ヒマス

○議長（公爵德川家達君） 宜シウゴザイマス

○松村義一君 少クトモ表決ヲ致ス場合ニ於キマシテハ、法律上ノ要件ガ總

テ完備スルコトガ必要デアラウト思ヒマス、只今實際ドウデアルカ存ジマセヌガ、或ハ定足數ヲ缺イテハ居ラヌカト云フヤウナ虞ヲ持ツテ居リマス、念ノ

爲ニ人員ヲ御調査ノ上ニ、然ル後ニ議事ニ掛カラレムコトヲ希望イタシマス

○議長（公爵德川家達君） 只今ノ松村君ノ御注意モゴザイマスカラ、本日ハ

是デ延會ヲ致シマセウ、明日ノ議事日程ハ彙報ヲ以テ御通知ニ及ビマス、本

日ハ是ニテ散會

午後五時五十二分散會

昭和四年三月十九日